Canon

レーザビームプリンタ

Satera

LIPS V ソフトウェアガイド／本編

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。下記はオプションに添付されている取扱説明書も含んでいます。購入された製品、システム構成によっては、お手元にない取扱説明書（ご利用になれない機種）があります。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- プリンタを設置するには
- パソコンと接続するには
- オプション品を取り付けるには

設置ガイド

- トラブルの簡単な解決方法を知るには
- プリンタの簡単な使いかたを知るには

かんたん操作ガイド

- 基本的な使いかたを知るには
- 困ったときには

ユーザーズガイド

- プリンタドライバのインストール方法を知るには

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編

- プリンタドライバのインストール方法を知るには
- 印刷するには
- 添付ソフトウェアの使いかたを知るには

LIPS ソフトウェアガイド／本編（本書）

- ネットワークボードの取り付けかたを知るには
- TCP/IP ネットワーク（Windows）の設定方法を知るには

ネットワークボードが標準搭載されているプリンタの場合のみ

ネットワークガイド／スタート編

- いろいろなネットワークの設定方法を知るには

ネットワークガイド／本編

- 操作パネルを使ってプリンタを設定するには

LIPS 機能ガイド

- Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには

リモート UI ガイド

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書

オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

本書の構成について

目次

第 1 章　ご使用の前に

第 2 章　Windows から印刷するには

第 3 章　Macintosh から印刷するには

第 4 章　DOS から印刷するには

第５章　プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

第 6 章　困ったときには

第 7 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

• プリンタ上のキー：[キー名称]

例：［オンライン］

• コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：［OK］
［追加］

• コンピュータ画面上のアイコン：<キーアイコン>＋（キー名称）

例：（印刷）

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

2 **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。**

Canon
LIPS V CD-ROM Setup
はじめに...
プリンタドライバインストール
NetSpot Job Monitor インストール
NetSpot Console インストール
NetSpot Device Installer
FontGallery/FontComposer
オンラインユーザ登録
ソフトウエア集 SmileWare.jp
設定
終了

操作時にクリックするボタン

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版：	Windows 95
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

商標について

Canon, Canonロゴ, LIPS, NetSpot, PageComposerは、キヤノン株式会社の商標です。

ColorGear, FontComposer, FontGallery, LASER SHOT は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Microsoft, MS-DOS, Windows, Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

PC-98 シリーズは、日本電気株式会社の商品名です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

AT, IBM は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

NetWare®、Novell は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。IPX/SPX、NDS、NDPS、Novell Client は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Apple, AppleTalk, Macintosh, TrueType, 漢字 Talk は、米国 Apple Computer Inc. の商標です。

Acrobat, Adobe は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

下記の書体は米国 Bitstream 社よりライセンスを受けています。

American Garamond Bold, American Garamond Bold Italic, American Garamond Italic, American Garamond Roman,

Bitstream Cataneo Bold, Bitstream Cataneo Bold Swash, Bitstream Cataneo Light, Bitstream Cataneo Light Swash, Bitstream Cataneo Regular, Bitstream Cataneo Regular Swash,

Bitstream Cooper Black, Bitstream Cooper Black Italic, Bitstream Cooper Black Outline,

Bitstream Roundhand Regular, Bitstream Roundhand Black, Bitstream Roundhand Bold,

Bodoni Bold, Bodoni Bold Italic, Bodoni Italic, Bodoni Roman

Century Oldstyle Bold, Century Oldstyle Italic, Century Oldstyle Roman,

Century Schoolbook Bold, Century Schoolbook Bold Italic, Century Schoolbook Italic, Century Schoolbook Roman,

Clarendon Black, Clarendon Bold, Clarendon Roman,

Cloister Black Openface, Cloister Black Regular,

Commercial PI Regular,

Commercial Script Regular,

Dutch 801 Extra Bold, Dutch 801 Extra Bold Italic, Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Regular,

Exotic 350 Demi-Bold, Exotic 350 Bold, Exotic 350 Light,

Goudy Oldstyle Extra Bold, Goudy Oldstyle Handtooled, Goudy Oldstyle Italic, Goudy Oldstyle Bold, Goudy Oldstyle Bold Italic, Goudy Oldstyle Roman,

Holiday PI

Poster Bodoni Italic, Poster Bodoni Roman,

Prima Sans Bold, Prima Sans BT, Prima Serif Bold, Prima Serif BT, Prima Mono Bold, Prima Mono BT,

Ribbon 131 Bold, Ribbon 131 Regular,

Serifa Black, Serifa Bold, Serifa Bold Condensed, Serifa Italic, Serifa Light, Serifa Light Italic, Serifa Thin, Serifa Thin Italic, Serifa Roman,

Snowcap Regular,

Staccato 222, Staccato 555,

Swiss 721 Black Extended, Swiss 721 Black Outline, Swiss 721 Black Rounded, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Condensed, Swiss 721 Bold Condensed Italic, Swiss 721 Bold Extended, Swiss 721 Bold Italic, Swiss 721 Bold Outline, Swiss 721 Bold Rounded, Swiss 721 Condensed, Swiss 721 Condensed Italic, Swiss 721 Extended, Swiss 721 Italic, Swiss 721 Light, Swiss 721 Light Condensed, Swiss 721 Light Condensed Italic, Swiss 721 Light Italic, Swiss 721 Thin, Swiss 721 Thin Italic, Swiss 721 Roman,

Symbol Proportional Regular,

Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Bold Italic, Zapf Humanist 601 Italic, Zapf Humanist 601 Roman, Zapf Humanist 601 Ultra, Zapf Humanist 601 Ultra Italic

下記の書体は米国 Bitstream 社の商標です。

Bitstream Cataneo, Dutch 801, Snowcap, Swiss 721

下記の書体は Kingsley-ATF Type 社の商標です。

Cloister Black, Century Oldstyle, Century Schoolbook, Goudy Oldstyle

下記の書体は Fundicion Tipografica 社の商標です。

Serifa

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

Windows 用プリンタドライバの主な設定項目

お使いの機種や OS によって、設定できる項目は異なります。詳しくは、ヘルプを参照してください。

[ページ設定] ページ

お気に入り	目的に応じたプリンタドライバの設定が登録されています。リストから項目を選択すると、一度にプリンタドライバの設定変更を行うことができます。お気に入り項目は、追加したり編集したりすることができます。
出力方法	印刷ジョブの処理方法を設定します。
原稿サイズ	アプリケーションソフトウェアで作成された原稿のサイズを設定します。
出力用紙サイズ	印刷する用紙のサイズを設定します。[原稿サイズ]と異なるときは、自動的に拡大または縮小されて印刷されます。
部数	印刷する部数を設定します。
印刷の向き	用紙の方向に対して印刷する向きを縦または横で設定します。
ページレイアウト	1枚の用紙に複数ページの原稿を印刷するか(Nページ印刷)、複数の用紙に1ページ分の原稿を印刷するか(ポスター印刷)を設定します。1ページの原稿を1枚の用紙に印刷するときは、倍率を指定できます。Nページ印刷を選択した場合は配置順を設定できます。
スタンプ	原稿に透かし文字(「COPY」や「社外秘」など)を重ね合わせて印刷します。[スタンプ編集] で独自にスタンプを登録／編集することができます。
設定確認	プリンタドライバで設定された項目内容を[設定確認]ダイアログボックスで確認できます。
NetSpot Job Monitorを表示する	インストールしているNetSpot Job Monitorを起動します。
ユーザ定義用紙	[ユーザ定義用紙]ダイアログボックスで独自の用紙サイズを設定しておくことができます。
ページオプション	印刷時にページ枠や日付、ユーザ名、ページ番号を印刷するかどうかなどを設定します。また、オーバレイ印字を行うかどうかを設定します。

[仕上げ] ページ

お気に入り	[ページ設定] ページの項を参照してください。
出力方法	印刷ジョブの処理方法を設定します。
印刷方法	両面ユニットが装着されている場合、片面印刷、両面印刷、製本印刷のいずれかの印刷方法を選択できます。製本印刷では、[製本詳細] で製本の方法などを設定できます。
トリマーを使って用紙を断裁する	中とじ印刷時に、用紙がずれて出力される場合があります。このようなときに、用紙の端を断裁して、整えてから出力することができます。
サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる	サイズや向きが異なるデータが混在するときに、排紙方法を設定します。
とじ方向	片面印刷または両面印刷の場合、とじ方向を長辺とじ(右または左)、短辺とじ(上または下)から選択できます。[とじしろ] で、とじしろの幅を指定できます。
排紙方法	排紙方法を選択します。
部単位で印刷する	複数部数印刷時に部単位ごとに排紙します。
排紙先／排紙設定	排紙先を設定します。
NetSpot Job Monitorを表示する	インストールしているNetSpot Job Monitorを起動します。
設定確認	[ページ設定] ページの項を参照してください。
仕上げ詳細	仕上げに関する詳細な設定を行います。

[お気に入りの追加] ダイアログボックス

名称	追加するお気に入りの名称を入力します。
アイコン	追加するお気に入りのアイコンを選択します。
コメント	追加するお気に入りのコメントを入力します。
設定確認	現在設定している項目の一覧が表示されます。

[お気に入りの編集] ダイアログボックス

追加したお気に入りを編集します。お気に入りの削除や、お気に入り一覧に表示する順序の変更、名称、アイコン、コメントの変更が行えます。また、お気に入りをファイルに保存したり、保存してあるお気に入りを読み込むことができます。

[ユーザ定義用紙] ダイアログボックス

用紙一覧	定型用紙と登録しているユーザ定義用紙の名称とサイズが表示されます。
ユーザ定義用紙名	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。
単位	サイズ単位にミリメートルかインチのどちらを採用するかを選択します。
用紙サイズ	サイズ一覧で選択したサイズの高さと幅の寸法を入力します。
削除	ユーザ定義用紙を削除します。
登録	ユーザ定義用紙を登録します。

[ページオプション] ダイアログボックス

[ページ修飾]ページ	ページ枠	ページ枠を印刷する場合に、リストから印刷する枠の種類を選択します。印刷しないときは[枠なし]を選択します。
	日付を印刷	印刷時の日付を印刷するかどうかと印刷する位置を設定します。
	ユーザ名を印刷	ユーザ名を印刷するかどうかと印刷する位置を設定します。
	ページ番号を印刷	ページ番号をつけて印刷するかどうかと印刷する位置を設定します。
[オーバレイ]ページ	処理方法	オーバレイ機能を使って印刷を行うかどうかを設定します。フォームファイルを作成するかも本項目で設定します。
	ファイル名	フォームファイルを作成するときに、フォームファイルのファイル名を選択します。[ファイル参照]で既存のファイルを選択したり、新規にフォームファイルを作成することができます。
	ファイル情報	選択したフォームファイルの情報が表示されます。
	タイトル	フォームファイルを作成するときにファイルのタイトルを入力します。
	サブタイトル	フォームファイルを作成するときにファイルのサブタイトルを入力します。

[製本詳細] ダイアログボックス

製本印刷の方法	製本印刷をどのように行うか設定します。
開き方向	左開きか右開きかを選択します。
製本とじしろを指定する	とじしろをつけるかどうかを設定します。つける場合、ミリ単位でとじしろの幅を指定します。

[仕上げ詳細] ダイアログボックス

細線補正	細い線を補正して、線を太く印刷します。
イメージモード時キャリブレーションを行う	イメージモードで印刷するときに、キャリブレーションを行います。
パネルに表示する名称	印刷中にプリンタのパネルに表示する文字列を入力します。
用紙の左上を原点として印字する	用紙の左上余白0mmを原点として印字します（通常は5mm）。
印字領域を広げて印刷する	余白を0mmにして、印字可能な領域を広げます。
トレイ用紙サイズのチェックを行う	印刷データの用紙サイズと給紙トレイの用紙サイズが異なる場合にメッセージを表示させるときに設定します。
印刷の向きを180度回転する	印刷を180度回転させて出力します。
はがき印刷	はがきを印刷するときの印刷方法を選択します。
部数印字を行う	複数部数の印刷時に、各原稿に対して部数ごとに部数番号を透かして印刷します。
フェースアップ時に排紙順序を逆にする	フェースアップ排紙を行う場合に、ページ順序を合わせるため排紙順序を逆にして出力します。
デバイスにダウンロードされた外字を使う	外字 (Shift-JIS：F040 ～ F9FC) の印刷方法を設定します。
処理オプション	排紙などの仕上げ関連において思いどおりに出力できない場合は、このボタンをクリックして［処理オプション］ダイアログボックスで設定します。

[給紙]ページ

お気に入り	［ページ設定］ページの項を参照してください。
ジョブの処理方法	印刷ジョブの処理方法を設定します。
用紙の指定方法	給紙するときに、用紙を給紙部で指定するか用紙タイプで指定するかを設定します。
給紙方法	ページごとに給紙を設定します。
用紙名称	リモートUIで設定した用紙の愛称で給紙先を選択します。
用紙タイプ	印刷用紙の種類を選択します。
設定確認	［ページ設定］ページの項を参照してください。
インサーターを使って表紙をつける	オプションのインサーターから給紙された用紙を表紙として挿入します。
使用するOHPの種類	使用するOHP機器に適したモードで印字処理を行います。
NetSpot Job Monitorを表示する	インストールしているNetSpot Job Monitorを起動します。

[印刷品質]ページ

お気に入り	［ページ設定］ページの項を参照してください。
出力方法	印刷ジョブの処理方法を設定します。
印刷目的	原稿の種類に合わせた印刷設定を選択します。［設定/詳細］で印刷品質の詳細を設定できます。
印刷品質	印刷する原稿の品質を選択します。独自で原稿の品質を設定する場合は、［ユーザ設定］を選択したあとに［設定］をクリックします。
設定/詳細	印字についての詳細な設定を行います。
色/グレーの設定を行う	カラー/グレースケールの階調の調整を行って印刷するときに設定します。［色/グレー設定］で明度やコントラストの調整や補正を設定できます。
色/グレー調整サンプルプリント	［色/グレー設定］ダイアログボックスの色/グレー調整シートに表示される「明度/コントラスト」のサンプルイメージを印刷するときに設定します。
設定確認	［ページ設定］ページの項を参照してください。
NetSpot Job Monitorを表示する	インストールしているNetSpot Job Monitorを起動します。

[デバイスの設定]ページ

給紙オプション	プリンタに装着されている給紙オプションを設定します。
排紙オプション	プリンタに装着されている排紙オプションを設定します。
両面ユニット	両面ユニットを使用するかどうかを設定します。
両面モデル	両面モデルの機種をお使いの場合に設定します。
LIPS拡張メモリ	プリンタにメモリを増設した場合、増設したメモリの容量を選択します。
内部スプール処理	印刷データをコンピュータ側でスプールさせるかどうかを設定します。
部門管理機能を使う	部門管理機能を使用する場合に設定します。
パスワードを許可する	[ID/パスワードの設定]ダイアログボックスで[パスワード]の設定をしたいときにチェックします。
デバイス機能	デバイスの機能バージョンを設定します。
フォント設定	原稿中のTrueTypeフォントの扱いかたを設定します。
給紙方法と用紙の割り当て	プリンタに装着されているカセットや手差しトレイに収納されている用紙のサイズと向きを設定します。
デバイス情報取得	NetSpot Job Monitorを介してデバイス情報が自動的に取得されて、プリンタドライバの設定値に反映されます。

[お気に入り]ページ

お気に入り一覧	目的に応じたプリンタドライバの設定が登録されています。リストから項目を選択すると、一度にプリンタドライバの設定変更を行うことができます。お気に入り項目は、追加したり編集したりすることができます。
新規追加	お気に入りを新規に追加します。
編集	追加したお気に入りを編集します。
削除	追加したお気に入りを削除します。
ファイル読み込み	ファイルに保存したお気に入り項目を読み込みます。
ファイル保存	追加したお気に入りをファイルに保存します。
ドキュメントプロパティダイアログボックスでの許可	ドキュメントからプリンタの設定を行うとき、お気に入りの選択や編集を許可するかどうかを設定します。

[お気に入りの追加/編集]ダイアログボックス

お気に入りの表示	名称	追加するお気に入りの名称を入力します。
	アイコン	追加するお気に入りのアイコンを選択します。
	コメント	追加するお気に入りのコメントを入力します。
ページ設定	［ページ設定］ページの項を参照してください。	
仕上げ	［仕上げ］ページの項を参照してください。	
給紙	［給紙］ページの項を参照してください。	
印刷品質	［印刷品質］ページの項を参照してください。	

[設定] ダイアログボックス

グラフィックモード	印刷データをLIPS IV コントロールコードのデータに変換して印刷するか（LIPSモード）、ビットマップデータ（イメージモード）で印刷するかを選択します。
階調	中間調のデータを印刷するときの階調を設定します。
カラー/モノクロ中間調	中間調を印刷するときのディザパターンを選択します。
ホスト展開	グラフィックをよりきれいに印刷するときに設定します。ただし、グラフィックデータがアプリケーションソフトウェアからのプリンタドライバで処理されるため、アプリケーションソフトウェアの解放に時間がかかります。
解像度	印刷の解像度をクイック（300dpi）、ファイン（600dpi）、スーパーファイン（1200dpi）のいずれかに設定します。
高精細モード	ホスト展開を選択したときにグラフィックデータをより美しく印刷させるときに設定します。
TrueType フォントをプリンタフォントとして置き換える	原稿にあるTrueType フォントをプリンタが持つフォントに置き換えて印刷します。TypeWing 機能を使うTrueType フォントの印刷時間を短縮して印刷するときに設定します。
イメージデータを補正する	低解像度のイメージデータをなめらかに印刷します。
トナー節約モード	トナーを節約して印刷する機能を使うかどうかを設定します。
処理オプション	印字関連において思いどおりに出力できない場合は、このボタンをクリックして［処理オプション］ダイアログボックスで設定します。

[色設定] ダイアログボックス

［色調整］ページ	調整後の画像	サムネイルや明るさ／コントラストで設定した値を反映したサンプル画像が表示されます。
	元の画像	調整前のサンプル画像が表示されます。
	サムネイル	枠内には、調整後のサイズ画像が表示されます。画像の枠の周囲にある［(各色)を強く］をクリックすると、色みの設定が変更されます。
	明るさ/コントラスト	原稿（オリジナル）の明度やコントラストを調整して印刷するときに設定します。いずれかのプレビューサンプルをクリックして調整します。
	調整の対象	調整する対象をイメージ、グラフィックス、テキストから選択します。
［マッチング］ページ	マッチングモード	マッチング方法について設定します。
	イメージ	写真などのイメージを元の原稿やモニタに表示された状態に近づけた印刷にしたいときにマッチングを設定します。
	グラフィックス	図形などのグラフィックスを元の原稿やモニタに表示された状態に近づけた印刷にしたいときにマッチングを設定します。
	テキスト	文字を元の原稿やモニタに表示された状態に近づけた印刷にしたいときにマッチングを設定します。
	キヤノファインを使う	カラー原稿を補正してきれいに印刷します。
	ガンマ補正	印刷結果の明るさをガンマ補正して調整することができます。

[フォント設定] ダイアログボックス

[フォント置き換えテーブル]ページ	コンピュータシステムにインストールされているTrueTypeフォントのリストが表示されます。それぞれについて、印刷時にプリンタにダウンロードするのか、プリンタに内蔵されている特定のフォントに置き換えるのかを設定します。
[オプションフォント]ページ	プリンタにオプションフォントが追加されているとき、オプションフォントを登録することができます。

[給紙方法と用紙の割り当て] ダイアログボックス

カセットや手差しトレイの給紙元ごとに、収納されている用紙のサイズと向きを設定します。

1

CHAPTER

ご使用の前に

プリンタを使用する前にインストールする必要があるソフトウェアについて説明しています。

本書の対応機種

本書は、次の製品に対応しています。

• LBP3800/3700

印刷する前に必要な作業

プリンタの設置が完了したら、次は印刷に必要なソフトウェアのインストールを行う必要があります。

お使いの環境に合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows をお使いの場合

■ プリンタドライバをインストールする（→第２章：Windows から印刷するには）

プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。お使いの環境によっては、Canon Driver Information Assist Service のインストールも必要となります。

メモ　お使いの環境によっては、インストールするプリンタドライバの種類を選択できます。

■ その他のソフトウェアをインストールする（→第５章：プリンタのユーティリティ ソフトウェアを使用するには）

デバイスまたは使用環境に応じて、印刷状況閲覧ソフトウェア「NetSpot Job Monitor」、デバイスのプロトコル初期設定用ソフトウェア「NetSpot Device Installer」、デバイス管理ソフトウェア「NetSpot Console」、TrueType フォントソフトウェア「FontGallery」をインストールしてください。

Macintosh をお使いの場合

■ プリンタドライバをインストールする（→第３章：Macintosh から印刷するには）

プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。プリンタに発生したエラーやプリンタに関する情報を取得するためのソフトウェア「プリントモニタ」もインストールされます。

■ その他のソフトウェアをインストールする（→第５章：プリンタのユーティリティ ソフトウェアを使用するには）

TrueType フォントソフトウェア「FontGallery」をインストールします。

Mac OS X をお使いの場合は、デバイスのプロトコル初期設定用ソフトウェア「NetSpot Device Installer」をご利用になれます。

DOS をお使いの場合

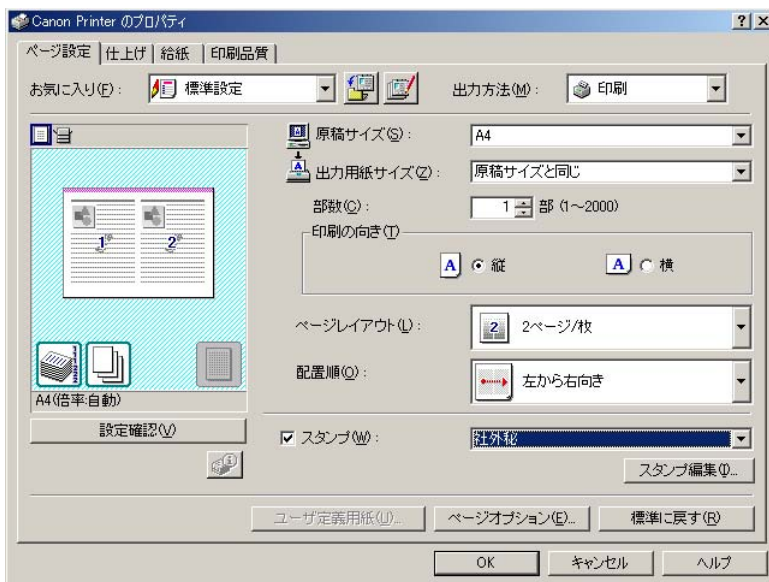
■ アプリケーションソフトウェアからの設定（→第４章：DOS から印刷するには）

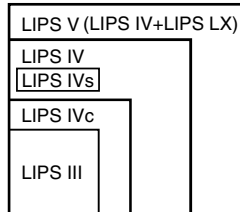
プリンタドライバをインストールする必要はありません。アプリケーションソフトウェアから設定を行います。

ソフトウェアの紹介

ここでは本製品に関連するソフトウェアを紹介しています。

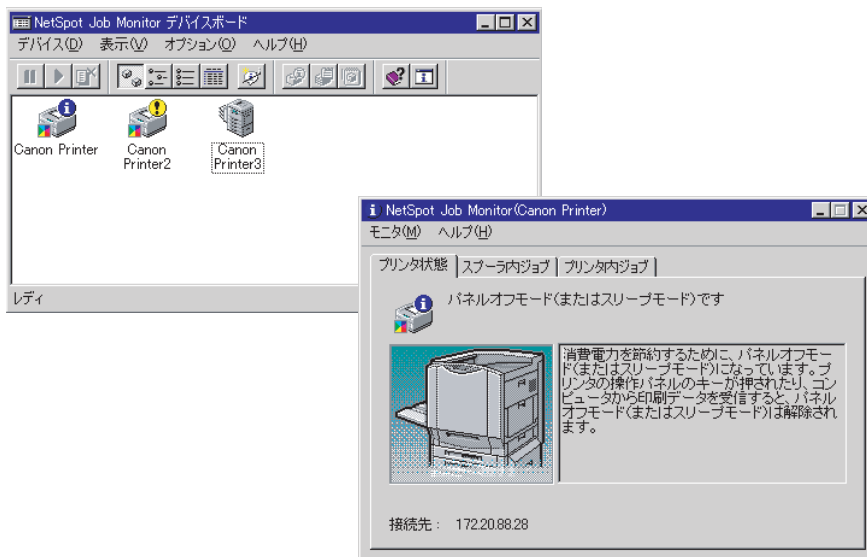
LIPS V プリンタドライバ

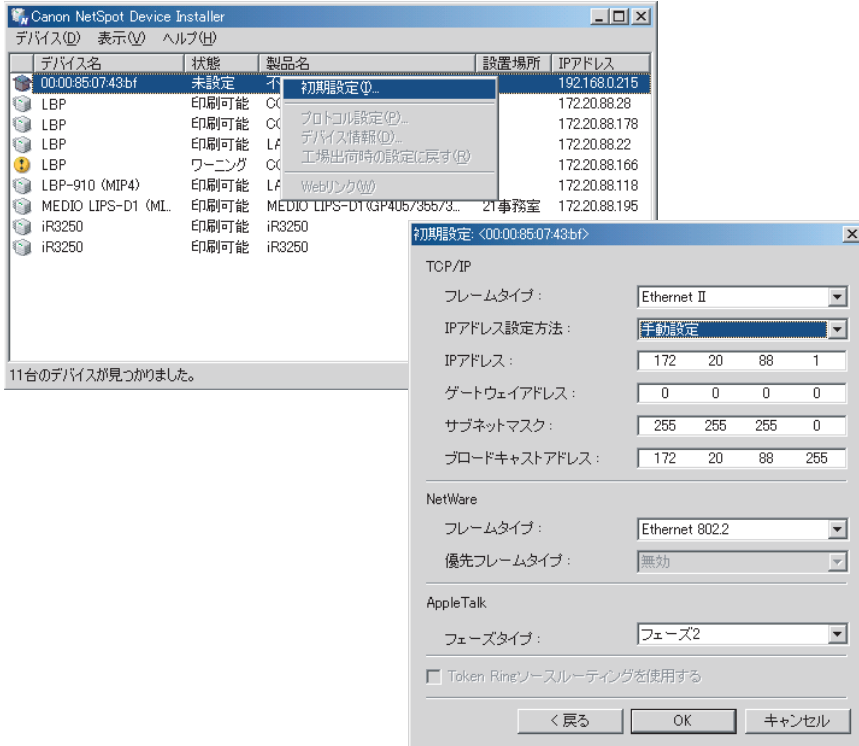
アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なプリンタドライバソフトウェアです。アプリケーションソフトウェアの印刷データをLIPSプリンタ用のデータに変換して、プリンタへ送ります。印刷データの変換以外にも、印刷データをスプールする機能や印刷条件を設定する機能を持っており、拡大・縮小やとじしろ、グレーの設定など、さまざまな印刷の仕上がりを設定することができます。本ソフトウェアは付属のCD-ROMに収録されています。

LIPS V プリンタドライバは、LIPS IV から進化した、キヤノン独自の新しいプリンティングシステムです。LIPS V は、LIPS IV と LIPS LX から構成され、お使いの OS に最適なプリンタドライバを提供します。Windows 95/98/Me/NT4.0、Macintosh には LIPS IV、Windows 2000/XP/Server 2003 には LIPS LX がインストールされます。

LIPS LX は、印刷データの処理をパソコンとプリンタで負荷分散することによって、最適な速度で出力することを可能にします。従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリでの動作を実現します。

Canon LPR2

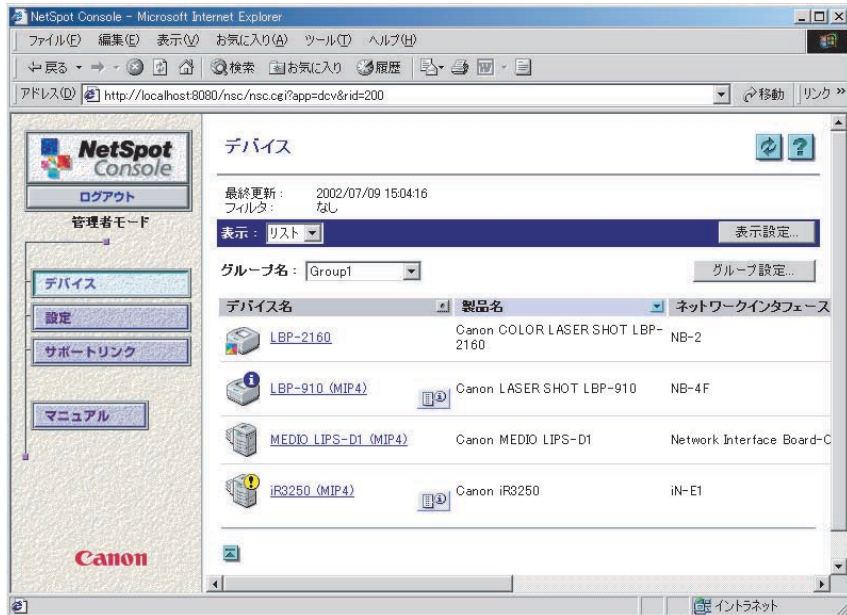
Canon LPR2 は、TCP/IP ネットワーク上のプリンタに印刷するためのソフトウェアです。本ソフトウェアは、LPR、RAW、IPP に対応しています。また、本ソフトウェアに登録されているプリンタのステータスや印刷ジョブの処理状況を確認することができます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。インストール方法、設定方法は CD-ROM に収録されている「Canon LPR2 ユーザーズガイド 」(PDF 取扱説明書) を参照してください。詳しい使用方法は、オンラインヘルプを参照してください。

NetSpot Job Monitor

プリンタの状態を表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトウェアです。プリンタポートに接続されたプリンタだけでなく、ネットワーク経由で接続されているプリンタの状態もパソコン画面上に表示できます。また、印刷待ちデータの一時停止・再開・削除などが行えます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。インストール方法は「NetSpot Job Monitor をインストールする」（→ P.5-2）を参照してください。

NetSpot Device Installer

ネットワークに接続されたキヤノン製デバイスのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトウェアです。NetSpot Device Installerは、コンピュータへのインストールが不要で、簡単にデバイスの初期設定を行うことができます。本ソフトウェアは付属のCD-ROMに収録されています。インストール方法は「NetSpot Device Installerを使用する」（→ P.5-12）を参照してください。

NetSpot Console

NetSpot Console は、お手持ちの Web ブラウザからネットワークに接続されているさまざまなデバイスに対してネットワーク管理やデバイス管理を行うためのソフトウェアです。

Web ブラウザで NetSpot Console のアドレスを指定して NetSpot Console にアクセスすると、NetSpot Console に対応しているデバイスの一覧が表示されます。また、デバイスの実際のレイアウトに合わせたデバイスマップを表示することもできます。一覧、あるいはマップの中から管理するデバイスを選択すると、デバイスの詳細情報が画面に表示され、各プロトコルの設定、デバイスの現在の状態表示、印刷ジョブの操作などを行うことができます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。インストール方法は「NetSpot Console を使用する」（→ P.5-21）を参照してください。

NetSpot Accountant

NetSpot Accountantは、社内や部門内からのプリンタの印刷履歴を収集・管理するためのソフトウェアです。

ジョブアカウントを使用すると、誰が、いつ、どのプリンタに、何ページ印刷したかなどの情報や、その費用などを調べることができ、印刷枚数の集計管理、プリンタの最適な配置、部門ごとへの費用の割り振りなどを行うことができます。

NetSpot Accountantは、別売のアプリケーションソフトウェアとなっております。詳しい情報は、お近くのキヤノン製品取扱店におたずねください。

Device Status Extension

プリンタを共有しているときは、お手持ちの Web ブラウザから共有プリンタの情報を表示することや印刷ジョブの操作などを行うことができます。Device Status Extension をインストールすることで、Device Status Extension に対応しているプリンタのプリンタ情報を表示する画面を、キヤノンが提供する画面に切り替えることができます。さらに、NetSpot Console をお使いの場合は、Device Status Extension の画面から NetSpot Console を起動して、プリンタの設定なども行えます。本ソフトウェアは、付属の CD-ROM に収録されています。インストール方法、使用方法は［DSE］フォルダの Readme ファイルを参照してください。

FontGallery

FontGallery には、和文書体、かな書体、欧文書体が収められています。これらのフォントをお使いいただくことで、より多彩な文字表現が可能になります。また、欧文書体には、ユーロフォントも含まれていますので、アクセント記号や特殊な記号を表現することもできます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。

リモート UI

リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザを使ってプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。Web ブラウザからネットワーク経由でプリンタにアクセスして、プリンタの状況の確認やジョブの操作、各種設定などができます。リモート UI の使用方法については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

Windows から印刷するには

Windows にプリンタドライバをインストールする手順、印刷する方法、および本プリンタの機能について説明しています。

印刷するときに必要な作業

Windows から印刷するときに必要な作業は､次のとおりです。

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ **プリンタドライバをインストールする（→ P.2-5）**
プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。お使いの環境によっては、Canon Driver Information Assist Service のインストールも必要となります。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ **印刷設定を行う**
プリンタの用紙サイズ、原稿サイズ、印刷部数などをプリンタドライバで設定します。これらの設定が適切でないと、期待した結果が得られない場合があります。

■ **印刷する**
アプリケーションソフトウェアから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトウェアごとに異なりますので、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ プリンタドライバ

プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。

- OS
  - · Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
  - · Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0 日本語版
  - · Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - · Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
  - · Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- コンピュータ
  - · 上記 OS が動作するコンピュータ
- メモリ
  - · 上記 OS が動作するために必要なメモリ

重要
- 日本語以外の OS には対応していません。
- Windows NT 4.0 でドライバをインストールする場合には、必要な Service Pack をインストールしてください。

インストールの方法	必要な Service Pack
インストーラを使用するとき	Service Pack 6 以降
Windows の［プリンタ］ダイアログボックスを使用するとき	Service Pack 3 以降
代替インストールを行うとき	Service Pack 5 以降

■ USB関連ドライバ

USB環境をお使いの場合、以下のシステムでUSBクラスドライバ関連ファイルをご利用になれます。

- OS
  - · Microsoft Windows 98/Me日本語版
  - · Microsoft Windows 2000 Server/Professional日本語版
  - · Microsoft Windows XP Professional/Home Edition日本語版
  - · Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- コンピュータ
  - · 上記OSが動作するコンピュータ
- メモリ
  - · 上記OSが動作するために必要なメモリ

Windows 98プリインストールモデルのみに対応しています。Windows 95/3.1からWindows 98へアップグレードした環境では使用できません。

プリンタドライバをインストールする

プリンタを使用するには、そのプリンタに適したプリンタドライバが必要です。
ここでは、プリンタドライバのインストール手順について説明しています。

お使いのプリンタの接続環境に合ったインストール方法を選択してください。

■ ネットワーク上のプリンタを自動探索する場合

ネットワーク上（TCP/IP のみ）にある自動検索されたプリンタのリストから、プリンタを選択するだけで簡単にインストールできます。Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合は P.2-6、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は P.2-37 を参照してください。

■ USB 環境をお使いの場合

USB 接続しているプリンタをお使いの場合は、本項目の手順を参照してください。Windows 98/Me の場合は P.2-15、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は P.2-45 を参照してください。

■ USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合

LPT などのローカル接続（USB 接続を除く）やネットワーク環境をお使いの場合は、本項目の手順を参照してください。Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合は P.2-20、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は P.2-51 を参照してください。

■ プリントサーバ環境をお使いの場合

プリントサーバでプリンタを管理しているネットワーク環境の場合は、本項目の手順を参照してください。プリントサーバの共有設定や代替インストール方法、クライアント側のインストール方法を説明します。Windows 95/98/Me/NT 4.0の場合はP.2-30、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は P.2-61 を参照してください。

重要 本書では、インストーラでの手順を記載しております。Windows の［プリンタ］ダイアログボックス（Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタと FAX］ダイアログボックス）からプリンタドライバをインストールする場合は、ファイル指定のウィザードで必ず以下のファイルを指定してください。また、その場合インストール後は、必ずコンピュータを再起動してください。また、Windows NT 4.0 の［プリンタ］ダイアログボックス（Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタと FAX］ダイアログボックス）からのインストール時には、Service Pack 3 以降をインストールしてください。ただし、代替ドライバのインストール時は、Service Pack 5 以降をインストールしてください。以下のファイル以外のファイルを指定した場合、Microsoft 製のプリンタドライバがインストールされる場合があります。

- Windows 95/98/Me 用ファイル：
  CD-ROM ドライブ ¥LIPSV¥LIPS4¥WIN9X_ME
- Windows NT 4.0 用ファイル：
  CD-ROM ドライブ ¥LIPSV¥LIPS4¥WINNT40
- Windows 2000/XP/Server 2003 用ファイル：
  CD-ROM ドライブ ¥LIPSV¥LIPSLX¥WIN2K_XP（LIPS LX プリンタドライバ）
  CD-ROM ドライブ ¥LIPSV¥LIPS4¥WIN2K_XP（LIPS IV プリンタドライバ）

Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合

Windows 95/98/Me/NT 4.0 をお使いの場合は、以下の手順でプリンタドライバのインストールを行います。

ネットワーク上のプリンタを自動探索する場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合 ）

ネットワークプロトコルとして TCP/IP をお使いの場合は、本手順でプリンタドライバをインストールします。ネットワーク上にあるプリンタを自動検索して、プリンタを選択するだけで容易にインストールできます。

重要 本インストール方法は、TCP/IP ネットワーク環境（ネットワークプロトコル）でのみインストールできます。お使いのネットワーク環境がわからない場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 プリンタを正しく接続したあと、プリンタの電源が入っていることと、プリンタのオンラインランプが点灯していることを確認します。

重要
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- プリンタの電源が入っていないときや、オフラインのときにインストールすると、正常にインストールできないことがあります。
- プラグアンドプレイの自動インストールにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして本手順でインストールを行ってください。
- Windows NT 4.0 をお使いの場合、起動した際に、必ず Administratorsのメンバーとしてログオンしてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットして、CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。

ウィザードが表示されます。

メモ　CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

メモ　お使いの環境によっては、インストーラの起動時にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

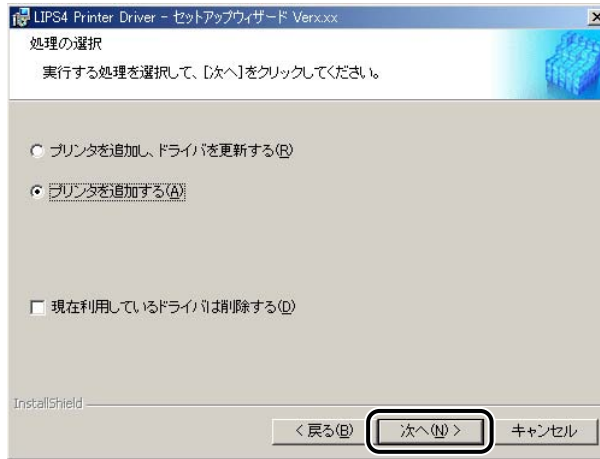
5 ［ネットワーク上のポートを探索してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

6 処理の選択画面で、［次へ］をクリックします。

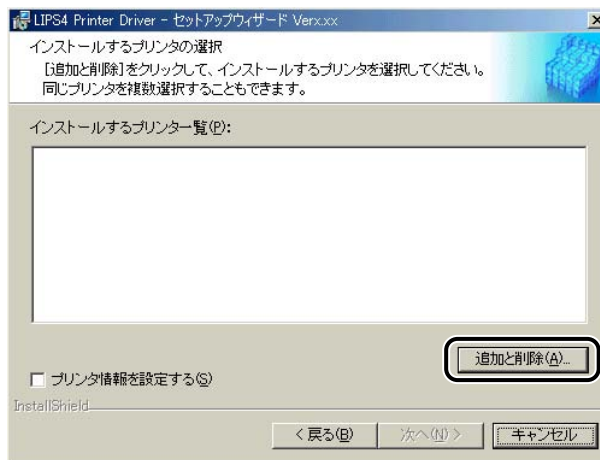
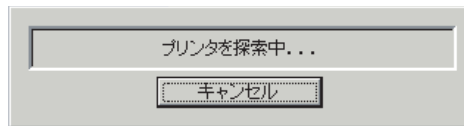
共有プリンタ環境で、デバイス情報取得およびキャリブレーションを使用するには、プリントサーバ（共有プリンタのサーバ側）でインストールを行う場合に［Canon Driver Information Assist Service］にチェックマークを付けます。Canon Driver Information Assist Service が既にインストールされている場合は、手順 7 に進みます。

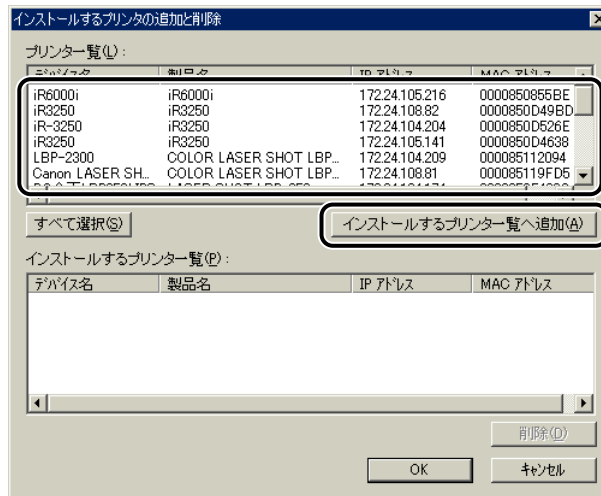
メモ　LIPS4 プリンタドライバは自動でインストールされるため、［LIPS4 プリンタドライバ］を選択することはできません。

2
Windowsから印刷するには

7 Windows NT 4.0 をお使いの場合は、インストール方法を選択したあと、［次へ］をクリックします。Windows 95/98/Me をお使いの場合や初めてプリンタドライバをインストールする場合は、手順 8 に進みます。

インストール方法の種類

［プリンタを追加し、ドライバを更新する］：	新規にプリンタドライバを追加して、併せて既に登録されているプリンタドライバを更新します。
［プリンタを追加する］：	新規にプリンタドライバを追加します。
［現在利用しているドライバは削除する］：	既存のプリンタドライバをアンインストールして、新規にプリンタドライバを追加します。

8 ［追加と削除］をクリックします。

プリンタが探索されます。

［プリンター覧］に、探索されたプリンタが表示されます。

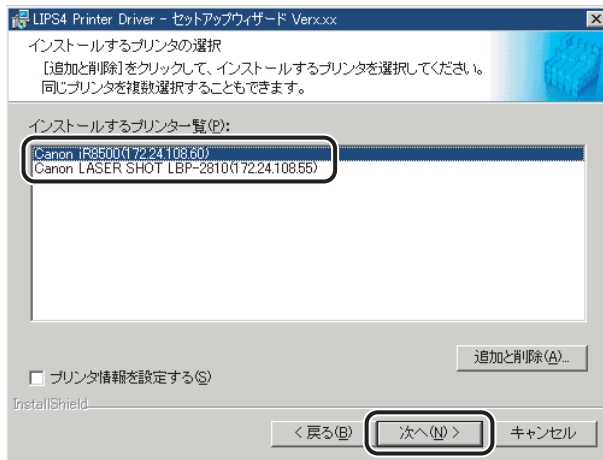
9 ［プリンター覧］からインストールするプリンタを選択したあと、［インストールするプリンター覧へ追加］をクリックします。

選択したプリンタが［インストールするプリンター覧］に表示されます。

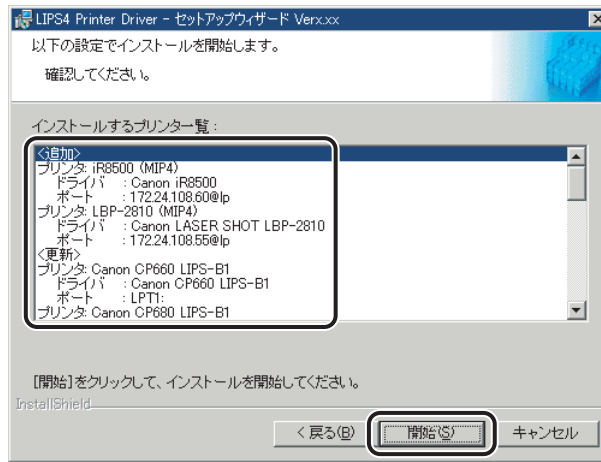
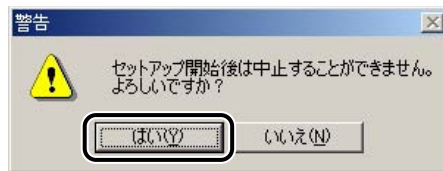
メモ プリンタが探索されない（［プリンター覧］にプリンタが表示されない）場合は、「USB接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0の場合）」（→ P.2-20）を参照してインストールしてください。

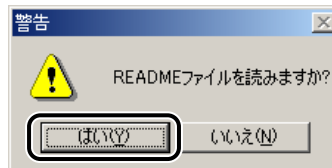
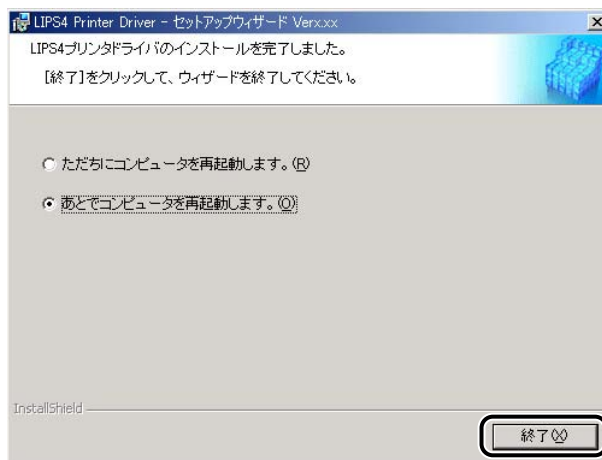
10 ［インストールするプリンタの追加と削除］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

ウィザードに戻って、［インストールするプリンタ一覧］が表示されます。

11 インストールするプリンタを確認したあと、［次へ］をクリックします。

メモ

プリンタ名を変更する場合や、通常使うプリンタとして設定する場合は［プリンタ情報を設定する］にチェックマークを付けます。また、Windows NT 4.0 でプリンタを共有設定する場合は、［次へ］をクリックして表示される画面で［プリンタを共有する］にチェックマークを付けます。さらに、［詳細設定］をクリックして、任意の共有名を入力することもできます。

12 ［インストールするプリンタ一覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

13 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

14 インストールが終了して「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

15 インストール完了の画面が表示されたら、[終了]をクリックします。

インストール終了後に、デバイス情報の取得が自動で行われます。

メモ

共有プリンタ環境でデバイス情報を取得するには、プリントサーバ(共有プリンタのサーバ側)へCanon Driver Information Assist Serviceのインストールが必要です。プリンタドライバの[デバイスの設定]ページにおいて、手動でデバイス情報(排紙オプションなど)の設定を行うこともできます。「印刷前のプリンタ情報設定」(→ P.2-87)を参照してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

USB 環境をお使いの場合（Windows 98/Me の場合）

USB 環境でのプリンタドライバのインストール手順について説明しています。次の手順で、ドライバをインストールしてください。

重要

- USB 接続時のみ、以下の手順でインストールしてください。USB に対応していない機種や OS では、USB 接続できません。
- 必ずインストール途中（手順 7）で、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続してください。インストール前に USB ケーブルの接続を行うと、正しくインストールできません。
- 既にインストールされている機種を追加する場合は、「USB　接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合）」（→ P.2-20）を参照してください。

1 コンピュータとプリンタのUSBケーブルが外されていることを確認します。

重要

- 手順 7 で、初めて USB ケーブルを接続します。
- プラグアンドプレイの自動インストールにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットして、CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。

ウィザードが表示されます。

メモ

CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

メモ

お使いの環境によっては、インストーラの起動時にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

5 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

6 ［USB接続でドライバをインストールする］にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。

7 ドライバをインストールします。

● 初めてプリンタドライバをインストールする場合

❏ メッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

❏ 次の画面が表示されたら、プリンタの電源を入れたあと、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。

インストールが自動的に開始されます。

● 既に USB 接続以外の LIPS プリンタドライバをインストールしている場合に、違う機種のプリンタをインストールするとき

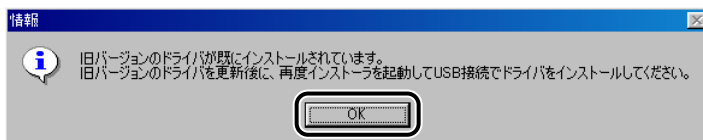
❏ メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしたあと、画面の指示に従ってインストールを続けます。

● 既に USB 接続以外の LIPS プリンタドライバをインストールしている場合に、同じ機種のプリンタをインストールするとき

❏ メッセージが表示されたら、[いいえ] をクリックして、インストールを中断します。

❏ 「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合)」(→ P.2-20）の手順に従ってインストールを行い、ポートの設定箇所で既存の USB ポートを選択します。

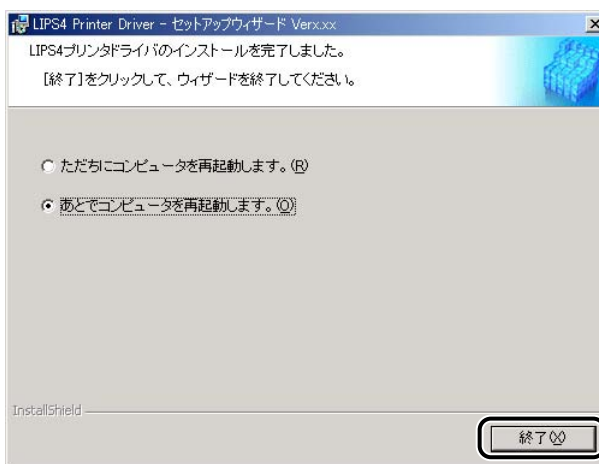
● 既に USB 接続の古いバージョンのプリンタドライバをインストールしている場合

❑ メッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

❑ 「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合(Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合)」(→ P.2-20)の手順 7(または手順 8) 以降に従って、既存のドライバをバージョンアップします。

❑ 再度、P.2-15 の手順 1 から USB 接続ドライバをインストールします。

メモ　USB 接続ドライバをインストールする前に、上記手順で既存の LIPS プリンタドライバをバージョンアップする必要があります。

8 インストール完了の画面が表示されたら、[終了]をクリックします。

メモ
- インストールが終了したら、「印刷前のプリンタ情報設定」(→ P.2-87)を参照してオプションや機種名などを設定してください。
- USB接続の環境でプリンタドライバが正しくインストールできない場合は、「USBクラスドライバをインストールできない場合は」(→ P.7-2)を参照してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合）

通常は、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

1 プリンタを正しく接続したあと、プリンタの電源が入っていることと、プリンタのオンラインランプが点灯していることを確認します。

重要
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- プリンタの電源が入っていないときや、オフラインのときにインストールすると、正常にインストールできないことがあります。
- プラグアンドプレイの自動インストールにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして本手順でインストールを行ってください。
- Windows NT 4.0 をお使いの場合、起動した際に、必ず Administratorsのメンバーとしてログオンしてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットして、CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。

ウィザードが表示されます。

メモ
CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

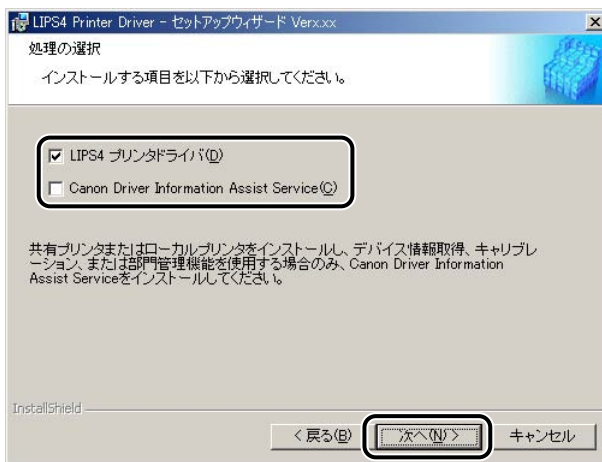
メモ　お使いの環境によっては、インストーラの起動時にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

5 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

6 ［USB接続でドライバをインストールする］のチェックマークが外されていることを確認したあと、［次へ］をクリックします。

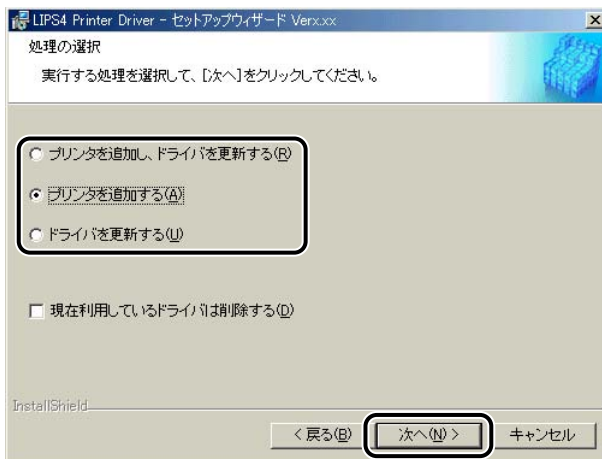
メモ

Windows 95/NT 4.0をお使いの場合、または既にUSB接続でプリンタドライバをインストールしている場合は、上図のウィザードが表示されないことがあります。そのときは、次の手順に進んでください。

7 処理の選択画面で、[LIPS4 プリンタドライバ] にチェックマークを付けたあと、[次へ] をクリックします。

重要　以下の環境でデバイス情報取得及びキャリブレーションを使用する場合は、[Canon Driver Information Assist Service] にチェックマークを付けます。

- Windows NT 4.0 でローカル接続環境
- 共有プリンタ環境（プリントサーバとしてインストールする場合）

メモ　ネットワーク環境でお使いの場合（共有プリンタのサーバ側は除く）は、Canon Driver Information Assist Service のインストールは必要ありません。

8 インストールの方法を選択したあと、[次へ] をクリックします。初めてプリンタドライバをインストールする場合は、手順 9 に進みます。

インストール方法の種類

［プリンタを追加し、ドライバを更新する］：	新規にプリンタドライバを追加して、併せて既に登録されているプリンタドライバを更新します。
［プリンタを追加する］：	新規にプリンタドライバを追加します。
［ドライバを更新する］：	既に登録されている既存のプリンタドライバを更新します。
［現在利用しているドライバは削除する］：	既存のプリンタドライバをアンインストールして、新規にプリンタドライバを追加します。

メモ　Windows 95/98/Me で［プリンタを追加する］を選択した場合は、既に登録されているプリンタドライバも自動的に更新されます。

9 ［追加と削除］をクリックします。

10 ［プリンター覧］からインストールするプリンタを選択したあと、［インストールするプリンター覧へ追加］をクリックします。

選択したプリンタが［インストールするプリンター覧］に表示されます。

11 ［インストールするプリンタの追加と削除］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

ウィザードに戻って、［インストールするプリンター覧］が表示されます。

12 インストールするプリンタを確認したあと、［次へ］をクリックします。

13 ポートを設定します。

メモ

- 複数のドライバが選択されている場合、上記の画面がドライバごとに表示されるため、プリンタによって異なるポートを選択できます。
- ポートの設定方法が分からない場合は、仮のポート（[標準のポート] － [LPT1] など）を選択したあと [次へ] をクリックして、画面の指示に従ってインストールを続けてください。ドライバのインストールが終了したら、正しいポートを設定してください。ポートの詳細な設定方法については、「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

● 標準のポートを設定する場合

❏ [ポートの設定] から [標準のポート] を選択したあと、[設定] をクリックします。

❏ リストから使用するプリンタポートを選択したあと、[OK] をクリックします。

❏ [次へ] をクリックします。

● ネットワークプリンタ用のポートを設定する場合

❏ [ポートの設定] から [ネットワーク] を選択したあと、[設定] をクリックします。

❑ 使用するネットワークプリンタを選択したあと、［OK］をクリックします。

❑ ［次へ］をクリックします。

● ポートを追加する場合

❑ ［ポートの設定］から［ポートの追加］を選択したあと、［設定］をクリックします。

❑ 追加するプリンタポートを選択したあと、［新しいポート］をクリックします。

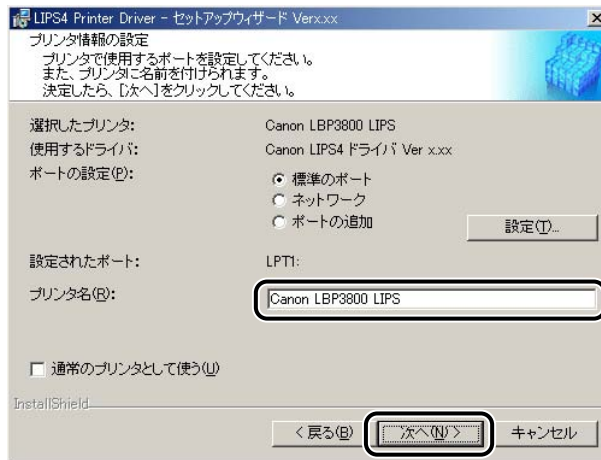
❑ 表示されているダイアログボックスで、追加するポートの設定を行います。

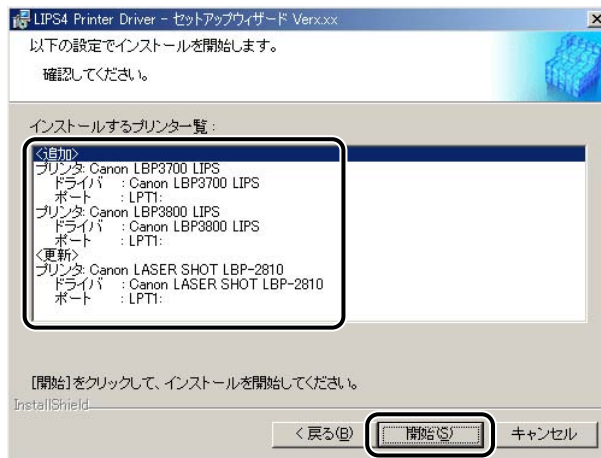
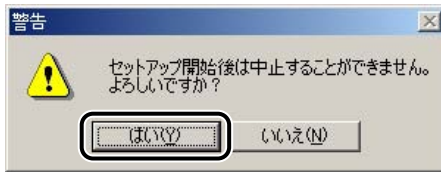
❑ ［次へ］をクリックします。

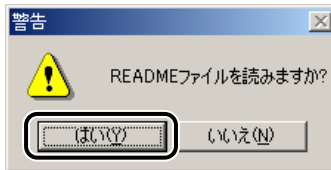
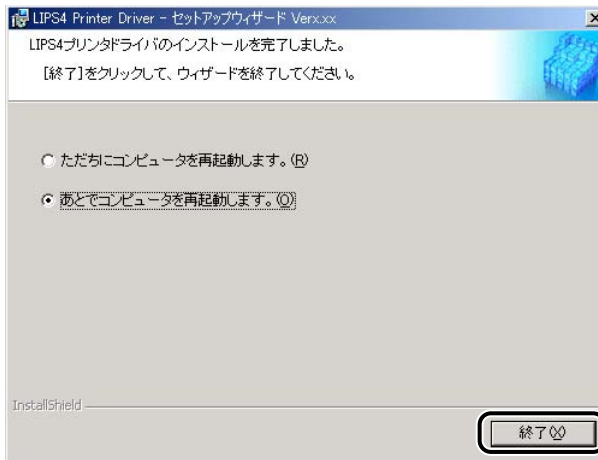
メモ

- 上記ダイアログボックスに表示されるポートは、お使いの OS によって異なります。
- Windows 95/98/Meで新規にLPRポートを追加する場合は、あらかじめCanon LPR2のインストールが必要です。CD-ROM の［Lprport］フォルダにある［Setup.exe］ファイルを起動して、インストールを行ってください。詳しくは、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。ただし、キヤノン製以外のネットワークボードをご使用の場合は、各メーカー付属の取扱説明書を参照してください。

14 ［プリンタ名］を入力したあと、［次へ］をクリックします。

メモ

- 通常使うプリンタとして設定するときは、［通常のプリンタとして使う］にチェックマークを付けます。
- Windows NT 4.0 でプリンタを共有設定する場合は、［プリンタを共有する］にチェックマークを付けます。さらに、［詳細設定］をクリックして、任意の共有名を入力することもできます。ただし、［ポートの設定］で［ネットワーク］を選択している場合は、［プリンタ名］、［プリンタを共有する］、［詳細設定］は設定できません。

15 ［インストールするプリンター覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

16 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

17 インストールが終了して「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

18 インストール完了の画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

メモ　インストールが終了したら、「印刷前のプリンタ情報設定」（→ P.2-87）を参照してオプションや機種名などを設定してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

プリントサーバ環境をお使いの場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合）

ネットワーク環境において、プリントサーバを利用することにより、効率よく印刷管理を行えます。プリントサーバでは、ドライバのインストール後に共有設定と代替ドライバのインストールが必要です。クライアント側では、代替インストールの機能により、ネットワーク経由でドライバを簡単にインストールすることができます。お使いの環境によって、以下のインストール手順に従ってください。

メモ　代替ドライバとは、共有設定したプリントサーバ上に他の OS 用のドライバもコピーしておき、クライアントが接続したときにドライバをネットワーク経由でインストールする Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 の機能です。

■ プリントサーバでの設定を行う場合

「プリントサーバでの設定（Windows NT 4.0）」（→ P. 2-30）の手順に従ってインストールを行います。

メモ　Windows 95/98/Me では、代替インストールはできません。Windows 95/98/Me でプリンタを共有設定する場合は、次の手順で行ってください。

1. Windows の［コントロールパネル］-［マイネットワーク］（または［ネットワークコンピュータ］）を選択します。
2. ［ネットワークの設定］ページの［ファイルとプリンタの共有］で、［プリンタを共有できるようにする］にチェックマークを付けます。
3. Windows の［スタート］メニューの［設定］-［プリンタ］を選択して、［プリンタ］ダイアログボックスを表示します。
4. お使いのプリンタ名のアイコンを選択して、［ファイル］メニューから［共有］を選択します。
5. ［共有する］にチェックマークを付けて、［共有名］などを設定します。
6. ［OK］をクリックします。

■ クライアントでの設定を行う場合

「クライアントでの設定」（→ P. 2-34）の手順に従ってインストールを行います。

メモ　プリントサーバ側で代替インストールされていない環境では、「プリントサーバでの設定（Windows NT 4.0）」（→ P.2-30）を参照してインストールを行ってください。

■プリントサーバでの設定（Windows NT 4.0）

1 インストーラを起動して、画面の指示に従います。

「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合）」（→ P.2-20）の手順 1 ～ 12 を参照してください。

2 ［プリンタを共有する］にチェックマークを付けたあと、［詳細設定］をクリックします。

［共有プリンタの詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［共有名］を入力したあと、インストールする代替ドライバの OS を選択します。

4 ［OK］をクリックします。

ウィザードに戻ります。

2

Windowsから印刷するには

5 [プリンタ名] を入力したあと、[次へ] をクリックします。

メモ　通常使うプリンタとして設定するときは、[通常のプリンタとして使う] にチェックマークを付けます。

6 [インストールするプリンタ一覧] を確認したあと、[開始] をクリックします。

7 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

8 インストールが終了して「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

9 インストール完了の画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

メモ　インストールが終了したら、「印刷前のプリンタ情報設定」（→ P.2-87）を参照してオプションなどを設定してください。

以上で共有設定と代替ドライバのインストールが終了しました。

■クライアントでの設定

1 [マイネットワーク]（または［ネットワークコンピュータ]）から、共有設定しているコンピュータ（プリントサーバ）を選択してダブルクリックします。

2 インストールするプリンタをダブルクリックします。

上図は、Windows Me をお使いの場合の画面例です。

メッセージが表示されます。

3 [はい] をクリックします。

上図は、Windows Me をお使いの場合の画面例です。

4 ウィザードの指示に従って代替インストールを行います。

5 インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。

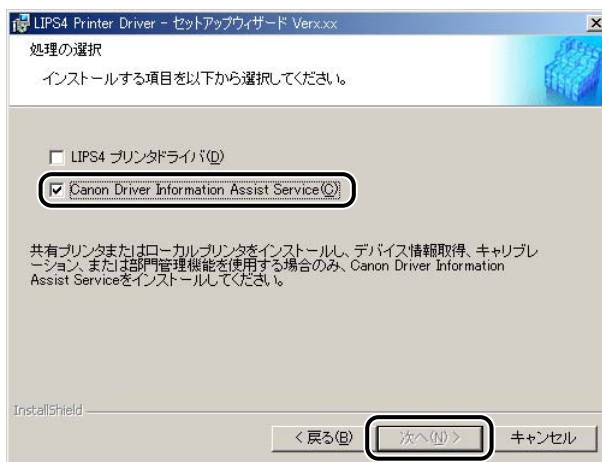
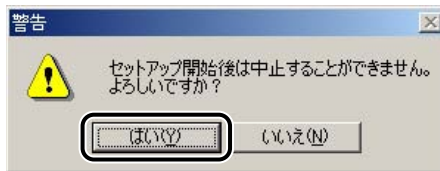
Canon Driver Information Assist Service をインストールする（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合）

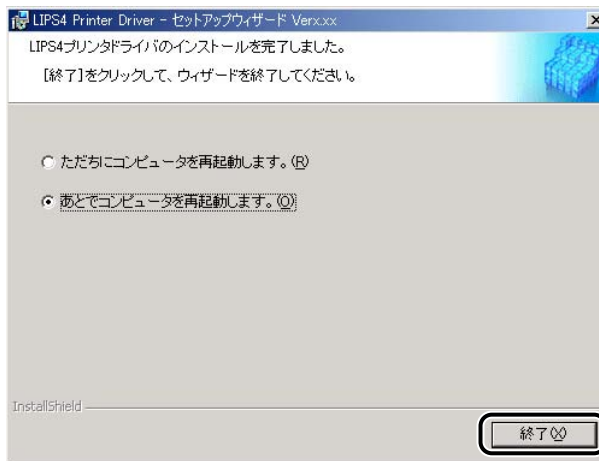
共有プリンタ環境のクライアント側、およびローカル接続で Terminal Service がインストールされている環境でデバイス情報取得およびキャリブレーションを使用する場合は、プリントサーバ（共有プリンタのサーバ側）へ Canon Driver Information Assist Service のインストールが必要です。本手順に従って Canon Driver Information Assist Service をインストールしてください。

メモ
- ネットワーク環境でお使いの場合（共有プリンタのサーバ側は除く）は、Canon Driver Information Assist Service のインストールは必要ありません。
- Canon Driver Information Assist Service のみをインストールするには、コンピュータに LIPS プリンタドライバがインストールされている必要があります。

1 インストーラを起動して、画面の指示に従います。

「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合）」（→ P.2-20）の手順 1 〜 6 を参照してください。

2 処理の選択画面で、[Canon Driver Information Assist Service] にチェックマークを付けたあと、[次へ] をクリックします。

3 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

4 インストール完了の画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

以上で Canon Driver Information Assist Service のインストールが終了しました。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合は、以下の手順でプリンタドライバのインストールを行ってください。

メモ
- LIPS LX プリンタドライバがインストールされます。通常は、LIPS LX プリンタドライバをご利用ください。
- LIPS LX プリンタドライバで使用できない機能（オーバレイやフォント置換）を使用したい場合のみ、LIPS IV プリンタドライバをインストールしてください。LIPS IV プリンタドライバは、[マイコンピュータ] − [CANON_LIPSV] を右クリックで開き、[LIPSV] − [LIPS4] フォルダの [SETUP.EXE] をダブルクリックしてインストールしてください。

ネットワーク上のプリンタを自動探索する場合（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）

ネットワークプロトコルとして TCP/IP をお使いの場合は、本手順でプリンタドライバをインストールします。ネットワーク上にあるプリンタを自動検索して、プリンタを選択するだけで容易にインストールできます。

重要
本インストール方法は、TCP/IP ネットワーク環境（ネットワークプロトコル）でのみインストールできます。お使いのネットワーク環境がわからない場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 プリンタを正しく接続したあと、プリンタの電源が入っていることと、プリンタのオンラインランプが点灯していることを確認します。

重要
- 起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- プリンタの電源が入っていないときや、オフラインのときにインストールすると、正常にインストールできないことがあります。
- プラグアンドプレイの自動インストールにより、ウィザードが表示された場合は、[キャンセル] をクリックして本手順でインストールを行ってください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットして、CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。

ウィザードが表示されます。

メモ　CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認して、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

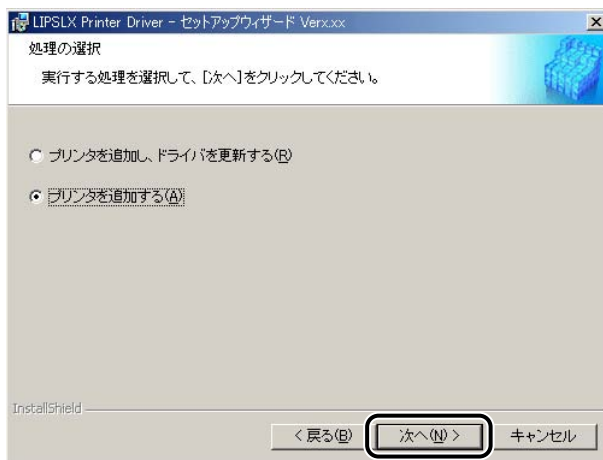
メモ　お使いの環境によっては、インストーラの起動時にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

5 [ネットワーク上のポートを探索してインストール] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

6 処理の選択画面で、［次へ］をクリックします。

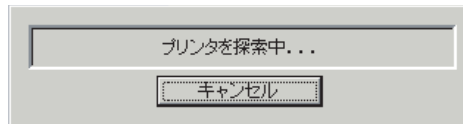
共有プリンタ環境で、デバイス情報取得およびキャリブレーションを使用するには、プリントサーバ（共有プリンタのサーバ側）でインストールを行う場合に［Canon Driver Information Assist Service］にチェックマークを付けます。Canon Driver Information Assist Service が既にインストールされている場合は、手順 7 に進みます。

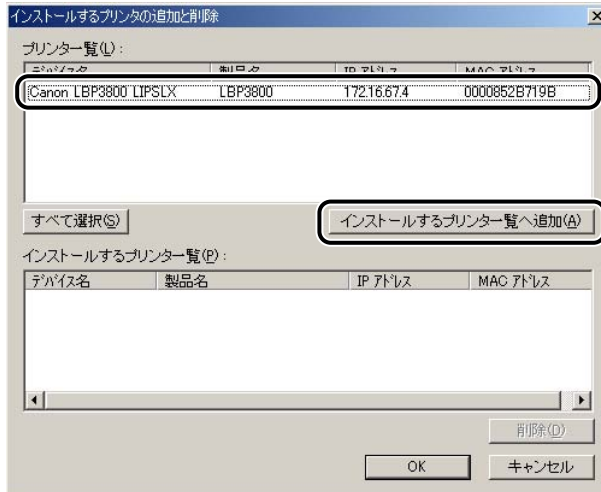
メモ　LIPS LX プリンタドライバは自動でインストールされるため、［LIPS LX プリンタドライバ］を選択することはできません。

7 インストール方法を選択したあと、［次へ］をクリックします。初めてプリンタドライバをインストールする場合は、手順 8 に進みます。

インストール方法の種類

［プリンタを追加し、ドライバを更新する］：	新規にプリンタドライバを追加して、併せて既に登録されているプリンタドライバを更新します。
［プリンタを追加する］：	新規にプリンタドライバを追加します。既に登録されているプリンタドライバは更新されません。

8 ［追加と削除］をクリックします。

プリンタが探索されます。

［プリンタ一覧］に、探索されたプリンタが表示されます。

9 ［プリンタ一覧］からインストールするプリンタを選択したあと、［インストールするプリンタ一覧へ追加］をクリックします。

選択したプリンタが［インストールするプリンタ一覧］に表示されます。

メモ プリンタが探索されない（［プリンタ一覧］にプリンタが表示されない）場合は、「USB接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 2000/XP/Server 2003の場合）」（→ P.2-51）を参照してインストールしてください。

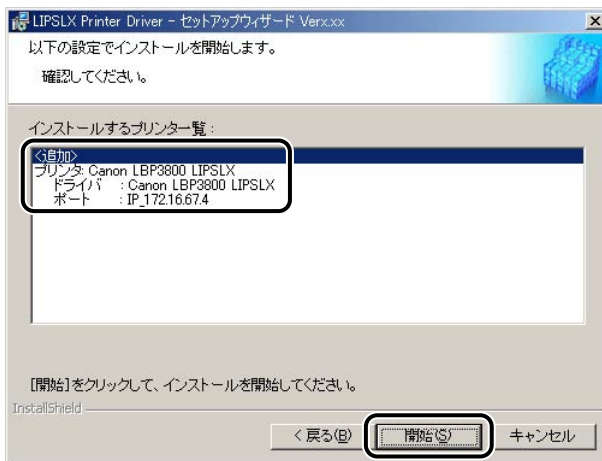
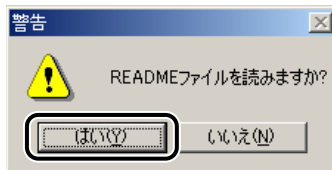
10 ［インストールするプリンタの追加と削除］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

ウィザードに戻って、［インストールするプリンタ一覧］が表示されます。

11 インストールするプリンタを確認したあと、［次へ］をクリックします。

メモ

プリンタ名を変更する場合や、通常使うプリンタとして設定する場合は［プリンタ情報を設定する］にチェックマークを付けます。また、プリンタを共有設定する場合は、［次へ］をクリックして表示される画面で［プリンタを共有する］にチェックマークを付けます。さらに、［詳細設定］をクリックして、任意の共有名を入力することもできます。

12 ［インストールするプリンター覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

13 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

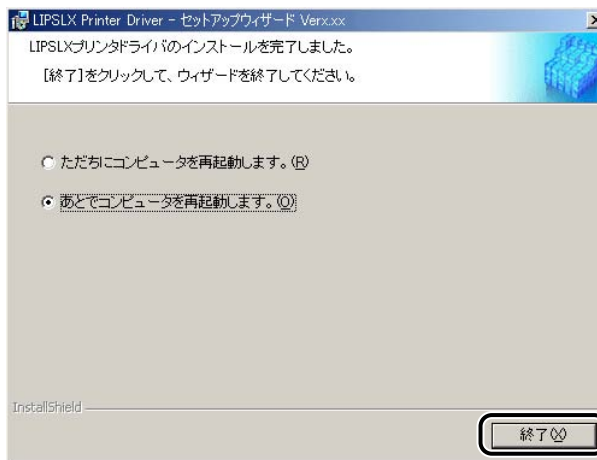
インストールが開始されます。

14 インストールが終了して「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

15 インストール完了の画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

インストール終了後に、デバイス情報の取得が自動で行われます。

共有プリンタ環境でデバイス情報を取得するには、プリントサーバ（共有プリンタのサーバ側）へ Canon Driver Information Assist Service のインストールが必要です。プリンタドライバの［デバイスの設定］ページにおいて、手動でデバイス情報（排紙オプションなど）の設定を行うこともできます。「印刷前のプリンタ情報設定」（→ P.2-87）を参照してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

USB 環境をお使いの場合（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）

USB 環境でのプリンタドライバのインストール手順について説明しています。次の手順で、ドライバをインストールしてください。

重要

- 起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- USB 接続時のみ、以下の手順でインストールしてください。他の OS や USB に対応していない機種では、USB 接続できません。
- 必ずインストール途中（手順 7）で、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続してください。インストール前に USB ケーブルの接続を行うと、正しくインストールできません。
- 既にインストールされている機種を追加する場合は、「USB　接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）」（→ P. 2-51）を参照してください。

1 コンピュータとプリンタのUSBケーブルが外されていることを確認します。

重要

- 手順 7 で、初めて USB ケーブルを接続します。
- プラグアンドプレイの自動インストールにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットして、CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。

ウィザードが表示されます。

メモ　CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認して、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

メモ　お使いの環境によっては、インストーラの起動時にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

5 [ポートを手動で設定してインストール] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

6 [USB接続でドライバをインストールする]にチェックマークを付けたあと、[次へ] をクリックします。

7 ドライバをインストールします。

● **初めてプリンタドライバをインストールする場合**

❏ メッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

❏ 次の画面が表示されたら、プリンタの電源を入れたあと、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。

インストールが自動的に開始されます。

● **既に USB 接続以外の LIPS LX プリンタドライバをインストールしている場合に、違う機種のプリンタをインストールするとき**

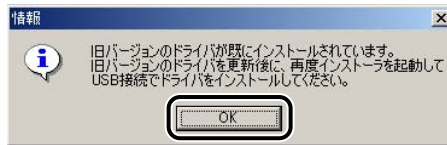
❑ メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしたあと、画面の指示に従ってインストールを続けます。

● **既に USB 接続以外の LIPS LX プリンタドライバをインストールしている場合に、同じ機種のプリンタをインストールするとき**

❑ メッセージが表示されたら、[いいえ] をクリックして、インストールを中断します。

❑「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合(Windows 2000/XP/Server 2003 の場合)」(→ P.2-51) の手順に従ってインストールを行い、ポートの設定箇所で既存の USB ポートを選択します。

● **既に USB 接続の古いバージョンのプリンタドライバをインストールしている場合**

❑ メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

❑「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合(Windows 2000/XP/Server 2003 の場合)」(→ P.2-51) の手順 7 (または手順 8) 以降に従って、既存のドライバをバージョンアップします。

❑ 再度、P.2-45 の手順 1 から USB 接続ドライバをインストールします。

メモ　USB 接続ドライバをインストールする前に、上記手順で既存の LIPS プリンタドライバをバージョンアップする必要があります。

8 インストール完了の画面が表示されたら、[終了]をクリックします。

メモ

- インストールが終了したら、「印刷前のプリンタ情報設定」(→ P.2-87)を参照してオプションや機種名などを設定してください。
- USB接続の環境でプリンタドライバが正しくインストールできない場合は、「USBクラスドライバをインストールできない場合は」(→ P.7-2)を参照してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）

通常は、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

1 **プリンタを正しく接続したあと、プリンタの電源が入っていることと、プリンタのオンラインランプが点灯していることを確認します。**

重要

- 起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- プリンタの電源が入っていないときや、オフラインのときにインストールすると、正常にインストールできないことがあります。
- プラグアンドプレイの自動インストールにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして本手順でインストールを行ってください。

2 **付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットして、CD-ROMメニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。**

ウィザードが表示されます。

メモ

CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

メモ

お使いの環境によっては、インストーラの起動時にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

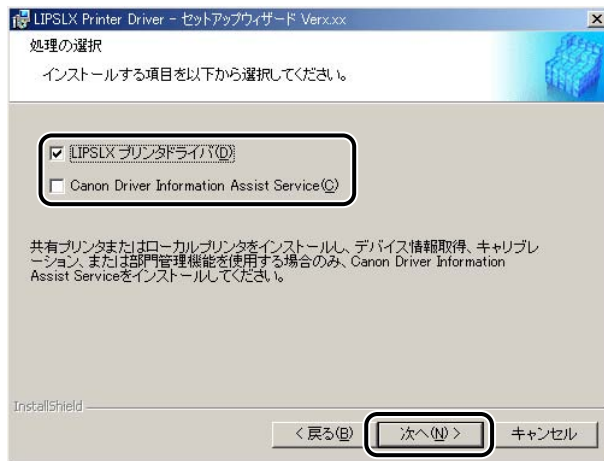
5 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

6 ［USB接続でドライバをインストールする］のチェックマークが外されていることを確認したあと、［次へ］をクリックします。

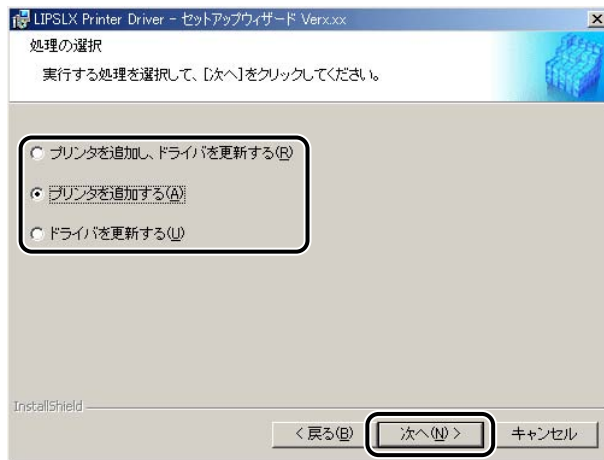
メモ 既に USB 接続でプリンタドライバをインストールしている場合は、上図のウィザードが表示されないことがあります。そのときは、次の手順に進んでください。

2

Windowsから印刷するには

7 処理の選択画面で、[LIPS LX プリンタドライバ] にチェックマークを付けたあと、[次へ] をクリックします。

重要　以下の環境でデバイス情報取得及びキャリブレーションを使用する場合は、[Canon Driver Information Assist Service] にチェックマークを付けます。
- ・ローカル接続で Terminal Service がインストールされている環境
- ・共有プリンタ環境（プリントサーバとしてインストールする場合）

メモ　ネットワーク環境でお使いの場合（共有プリンタのサーバ側は除く）は、Canon Driver Information Assist Service のインストールは必要ありません。

8 インストールの方法を選択したあと、[次へ] をクリックします。初めてプリンタドライバをインストールする場合は、手順 9 に進みます。

インストール方法の種類

［プリンタを追加し、ドライバを更新する］：	新規にプリンタドライバを追加して、併せて既に登録されているプリンタドライバを更新します。
［プリンタを追加する］：	新規にプリンタドライバを追加します。既に登録されているプリンタドライバは更新されません。
［ドライバを更新する］：	既に登録されている既存のプリンタドライバを更新します。

9 ［追加と削除］をクリックします。

10 ［プリンター覧］からインストールするプリンタを選択したあと、［インストールするプリンター覧へ追加］をクリックします。

選択したプリンタが［インストールするプリンター覧］に表示されます。

2

Windowsから印刷するには

11 ［インストールするプリンタの追加と削除］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

ウィザードに戻って、［インストールするプリンター覧］が表示されます。

12 インストールするプリンタを確認したあと、［次へ］をクリックします。

13 ポートを設定します。

メモ

- 複数のドライバが選択されている場合、上記の画面がドライバごとに表示されるため、プリンタによって異なるポートを選択できます。
- ポートの設定方法が分からない場合は、仮のポート（[標準のポート] − [LPT1] など）を選択したあと［次へ］をクリックして、画面の指示に従ってインストールを続けてください。ドライバのインストールが終了したら、正しいポートを設定してください。ポートの詳細な設定方法については、「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

● 標準のポートを設定する場合

❑ ［ポートの設定］から［標準のポート］を選択したあと、［設定］をクリックします。

❑ リストから使用するプリンタポートを選択したあと、［OK］をクリックします。

❑ ［次へ］をクリックします。

● ネットワークプリンタ用のポートを設定する場合

❑ ［ポートの設定］から［ネットワーク］を選択したあと、［設定］をクリックします。

❑ 使用するネットワークプリンタを選択したあと、［OK］をクリックします。

❑ ［次へ］をクリックします。

● ポートを追加する場合

❑ ［ポートの設定］から［ポートの追加］を選択したあと、［設定］をクリックします。

❑ 追加するプリンタポートを選択したあと、［新しいポート］をクリックします。

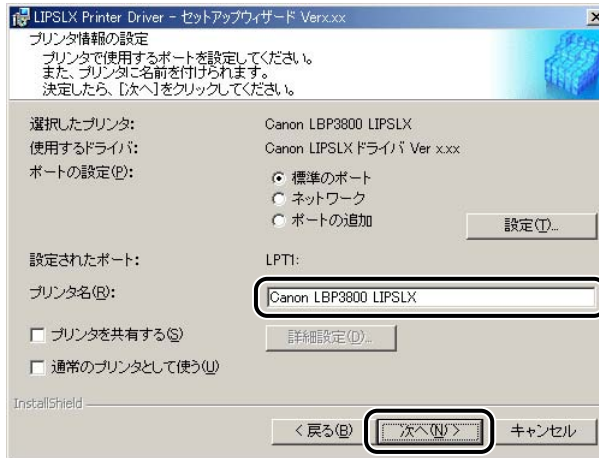
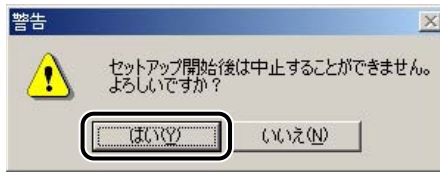
❑ 表示されているダイアログボックスで、追加するポートの設定を行います。

❑ ［次へ］をクリックします。

メモ

- 上記ダイアログボックスに表示されるポートは、お使いの OS によって異なります。
- 新規にLPRポートを追加する場合は、あらかじめCanon LPR2のインストールが必要です。CD-ROM の［Lprport］フォルダにある［Setup.exe］ファイルを起動して、インストールを行ってください。詳しくは、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。ただし、キヤノン製以外のネットワークボードをご使用の場合は、各メーカー付属の取扱説明書を参照してください。

14 ［プリンタ名］を入力したあと、［次へ］をクリックします。

メモ

- 通常使うプリンタとして設定するときは、［通常のプリンタとして使う］にチェックマークを付けます。
- プリンタを共有設定する場合は、［プリンタを共有する］にチェックマークを付けます。さらに、［詳細設定］をクリックして、任意の共有名を入力することもできます。ただし、［ポートの設定］で［ネットワーク］を選択している場合は、［プリンタ名］、［プリンタを共有する］、［詳細設定］は設定できません。

15 ［インストールするプリンタ一覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

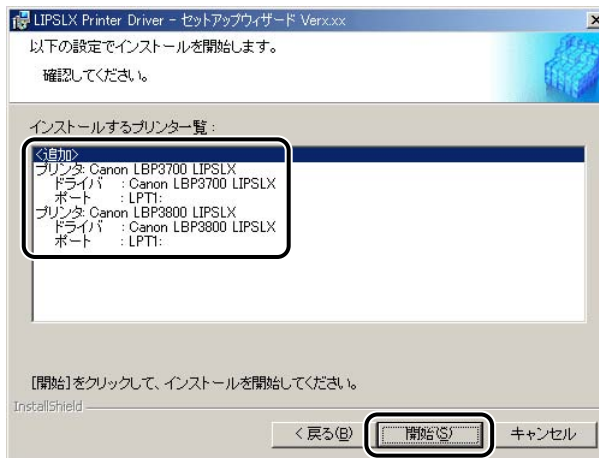
16 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

17 インストールが終了して「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

18 インストール完了の画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

メモ　インストールが終了したら、「印刷前のプリンタ情報設定」（→ P.2-87）を参照してオプションや機種名などを設定してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

プリントサーバ環境をお使いの場合（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）

ネットワーク環境において、プリントサーバを利用することにより、効率よく印刷管理を行えます。プリントサーバでは、ドライバのインストール後に共有設定と代替ドライバのインストールが必要です。クライアント側では、代替インストールの機能により、ネットワーク経由でドライバを簡単にインストールすることができます。お使いの環境によって、以下のインストール手順に従ってください。

メモ　代替ドライバとは、共有設定したプリントサーバ上に他の OS 用のドライバもコピーしておき、クライアントが接続したときにドライバをネットワーク経由でインストールする Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 の機能です。

■ プリントサーバでの設定を行う場合

「プリントサーバでの設定」（→ P. 2-61）の手順に従ってインストールを行います。

重要　クライアント側が Windows NT 4.0 をお使いの場合は、[マイコンピュータ] – [CANON_LIPS5] を右クリックで開き、[LIPSV] – [LIPS4]フォルダの [SETUP.EXE] をダブルクリックして、LIPS IV プリンタドライバをインストールしてください。

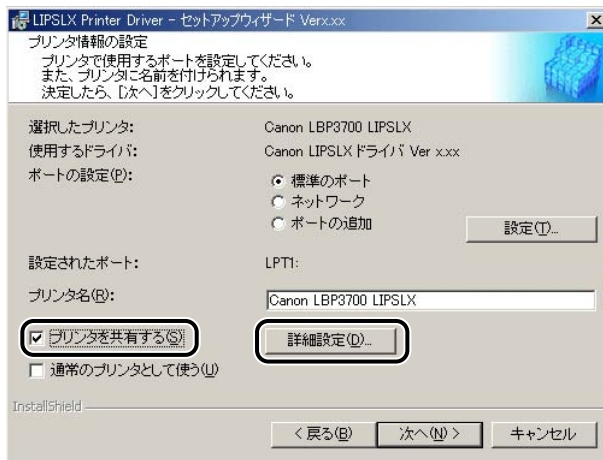
■ クライアントでの設定を行う場合

「クライアントでの設定」（→ P. 2-65）の手順に従ってインストールを行います。

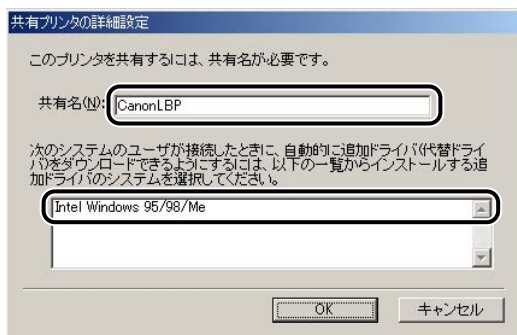
メモ　プリントサーバ側で代替インストールされていない環境では、「プリントサーバでの設定」（→ P.2-61）を参照してインストールを行ってください。

■プリントサーバでの設定

1 **インストーラを起動して、画面の指示に従います。**

「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）」（→ P.2-51）の手順 1 ～ 12 を参照してください。

2 ［プリンタを共有する］にチェックマークを付けたあと、［詳細設定］をクリックします。

［共有プリンタの詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［共有名］を入力したあと、インストールする代替ドライバのOSを選択します。

4 ［OK］をクリックします。

ウィザードに戻ります。

5 ［プリンタ名］を入力したあと、［次へ］をクリックします。

メモ　通常使うプリンタとして設定するときは、［通常のプリンタとして使う］にチェックマークを付けます。

6 ［インストールするプリンタ一覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

7 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

8 インストールが終了して「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

9 インストール完了の画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

メモ　インストールが終了したら、「印刷前のプリンタ情報設定」（→ P.2-87）を参照してオプションなどを設定してください。

以上で共有設定と代替ドライバのインストールが終了しました。

■クライアントでの設定

1 [マイネットワーク]（または［ネットワークコンピュータ]）から、共有設定しているコンピュータ（プリントサーバ）を選択してダブルクリックします。

2 インストールするプリンタをダブルクリックします。

上図は、Windows Me をお使いの場合の画面例です。

メッセージが表示されます。

3 [はい] をクリックします。

上図は、Windows Me をお使いの場合の画面例です。

4 ウィザードの指示に従って代替インストールを行います。

5 インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。

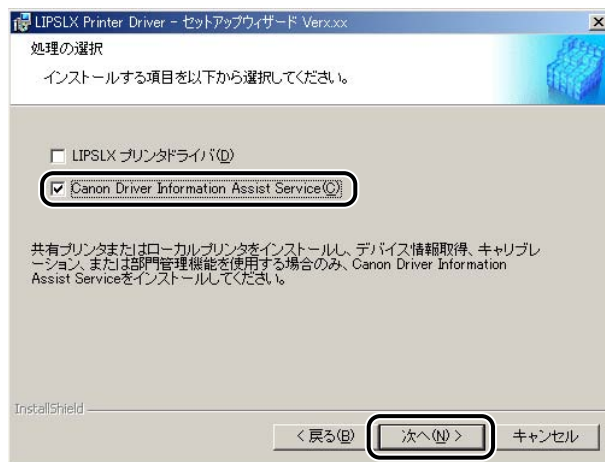
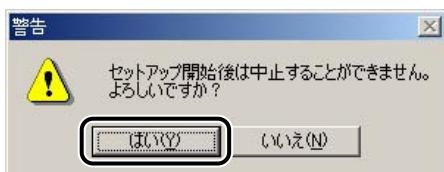
Canon Driver Information Assist Serviceをインストールする（Windows 2000/XP/Server 2003の場合）

共有プリンタ環境のクライアント側、およびローカル接続でTerminal Serviceがインストールされている環境でデバイス情報取得およびキャリブレーションを使用する場合は、プリントサーバ（共有プリンタのサーバ側）へCanon Driver Information Assist Serviceのインストールが必要です。本手順に従ってCanon Driver Information Assist Serviceをインストールしてください。

メモ
- ネットワーク環境でお使いの場合（共有プリンタのサーバ側は除く）は、Canon Driver Information Assist Serviceのインストールは必要ありません。
- Canon Driver Information Assist Serviceのみをインストールするには、コンピュータにLIPSプリンタドライバがインストールされている必要があります。

1 インストーラを起動して、画面の指示に従います。

「USB接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 2000/XP/Server 2003の場合）」（→P.2-51）の手順1～6を参照してください。

2 処理の選択画面で、[Canon Driver Information Assist Service]にチェックマークを付けたあと、[次へ]をクリックします。

3 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、[はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

4 インストール完了の画面が表示されたら、[終了］をクリックします。

以上で Canon Driver Information Assist Service のインストールが終了しました。

プリンタドライバを更新する

既に登録されている既存のプリンタドライバを更新する場合には、以下の手順に従ってください。

Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合

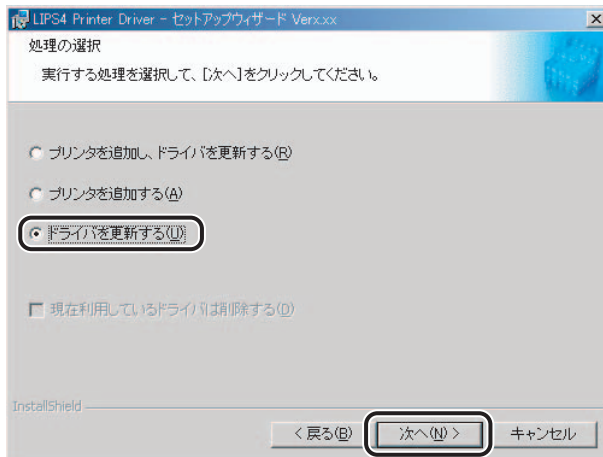
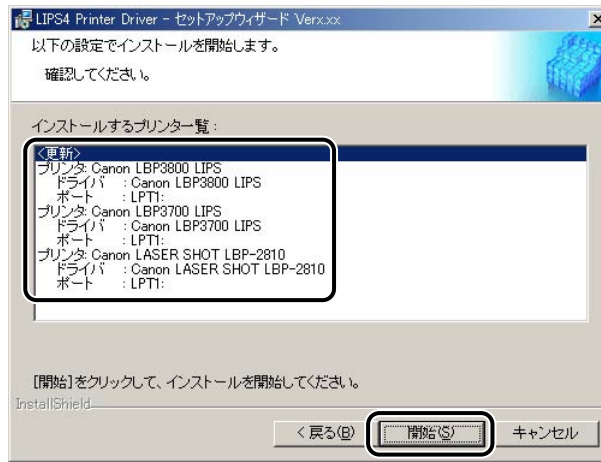
インストーラを使用したドライバの更新と、代替ドライバの更新について説明しています。

インストーラを使用した更新

インストーラを使用して既存のプリンタドライバを更新する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **インストーラを起動して、画面の指示に従います。**

「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合)」（→ P.2-20）の手順 1 ～ 7 を参照してください。

2 **［ドライバを更新する］を選択したあと、［次へ］をクリックします。**

3 ［インストールするプリンタ一覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

4 画面の指示に従って更新を完了させます。

「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合）」（→ P.2-20）の手順 16 ～ 18 を参照してください。

以上でプリンタドライバの更新が終了しました。

代替ドライバの更新（Windows NT 4.0）

プリントサーバに他の OS 用の代替ドライバをインストールしている場合、代替ドライバは、以下の手順で更新することができます。

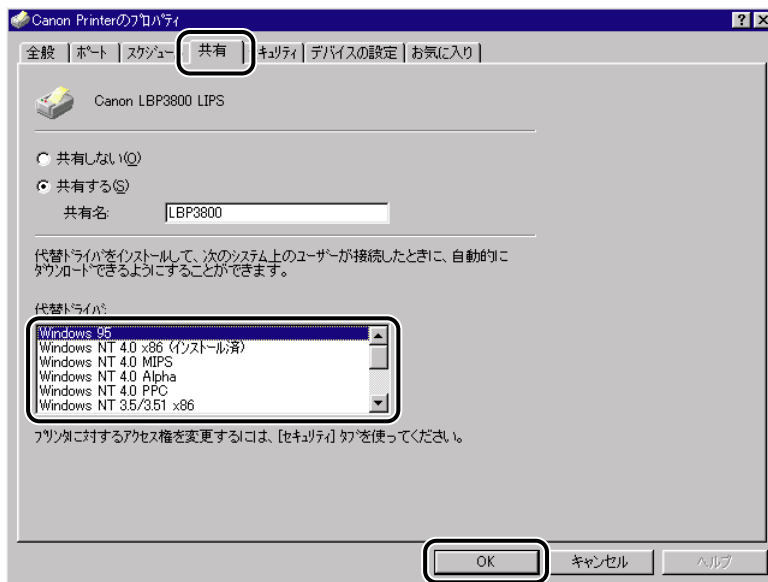
メモ　プリントサーバ上のドライバ（代替ドライバではない）の更新は、「インストーラを使用した更新」（→ P.2-68）の手順を参照してください。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］ダイアログボックスが表示されます。

2 お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

3 [共有] タブをクリックして、更新する OS 用の代替ドライバを選択したあと、[OK] をクリックします。

4 ディスク挿入のダイアログボックスで、次のフォルダを指定します。

OS 別ファイルと該当するフォルダ

Windows 95/98/Me 用ファイル： CD-ROM ドライブ ¥LIPS4¥WIN9X_ME

5 コピーが終了したら、プリンタプロパティダイアログボックスを閉じます。

重要

- プリントサーバ上で更新したドライバをクライアントから使用するには、現在使用しているドライバをアンインストールしたあと、再度インストールしてください。（→クライアントでの設定：P.2-34）
- Windows NT 4.0 以降の OS（Windows 2000/XP/Server 2003）用の代替ドライバは、標準では Windows NT 4.0 のサーバ上にインストールできません。

以上で代替ドライバの更新が終了しました。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

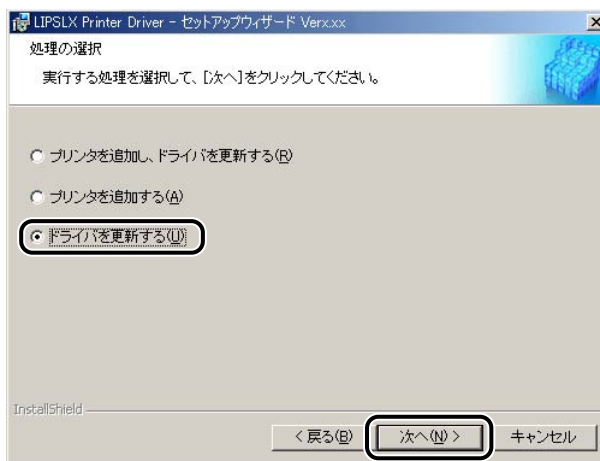
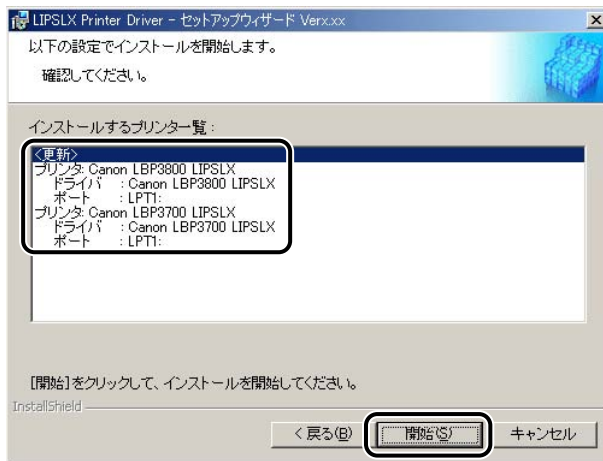
インストーラを使用したドライバの更新と、代替ドライバの更新について説明しています。

インストーラを使用した更新

インストーラを使用して既存のプリンタドライバを更新する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **インストーラを起動して、画面の指示に従います。**

「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）」（→ P.2-51）の手順 1 ～ 7 を参照してください。

2 **［ドライバを更新する］を選択したあと、［次へ］をクリックします。**

3 ［インストールするプリンター覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

4 画面の指示に従って更新を完了させます。

「USB 接続以外のローカル接続、ネットワーク環境の場合（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）」（→ P.2-51）の手順 16 ～ 18 を参照してください。

以上でプリンタドライバの更新が終了しました。

代替ドライバの更新

プリントサーバに他の OS 用の代替ドライバをインストールしている場合、代替ドライバは、以下の手順で更新することができます。

メモ　プリントサーバ上のドライバ（代替ドライバではない）の更新は、「インストーラを使用した更新」（→ P.2-71）の手順を参照してください。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］（Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタと FAX］）を選択します。

［プリンタ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］－［プリンタとFAX］、Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとハードウェア］－［プリンタと FAX］を選択してください。

2 お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、[ファイル]メニューから[サーバのプロパティ]を選択します。

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ　プリンタ名のアイコンを右クリックして[サーバのプロパティ]を選択しても、プリンタプロパティダイアログボックスを表示できます。

3 [ドライバ]タブをクリックして、更新するOS用の代替ドライバを選択したあと、[更新](Windows XPの場合は[置換]、Windows Server 2003の場合は[再インストール])を選択します。

4 ディスク挿入のダイアログボックスで、次のフォルダを指定します。

OS別ファイルと該当するフォルダ

Windows 95/98/Me 用ファイル： CD-ROM ドライブ ¥LIPSV¥LIPS4¥WIN9X_ME

5 コピーが終了したら、プリンタプロパティダイアログボックスを閉じます。

重要　プリントサーバ上で更新したドライバをクライアントから使用するには、現在使用しているドライバをアンインストールしたあと、再度インストールしてください。(→クライアントでの設定：P.2-65)

以上で代替ドライバの更新が終了しました。

プリンタドライバをアンインストールする

プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

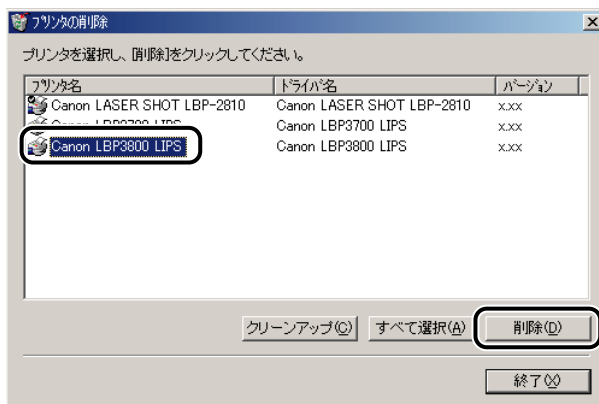
Windows 95/98/Me/NT 4.0 の場合

重要　プリンタドライバがAdministratorsの権限でWindows NT 4.0にインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログインしてからアンインストールしてください。

1 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

2 ［スタート］メニューから、［プログラム］－［Canon Printer Uninstaller］－［LIPS4 Printer Driver Uninstaller］を選択します。

アンインストーラが起動します。

3 アンインストールするプリンタ名を選択したあと、［削除］をクリックします。

プリンタドライバがアンインストールされます。

メモ　［クリーンアップ］をクリックすると、本ドライバに関連するファイルやレジストリ情報などがすべて削除されます。通常は、［削除］でアンインストールを行ってください。

Windows 2000/XP/Server 2003の場合

プリンタドライバが Administratorsの権限でWindows 2000/XP/Server 2003に インストールされている場合、Administrators以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administratorsの権限でログインしてからアンインストールしてください。

1 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

2 [スタート] メニューから、[プログラム] ー [Canon Printer Uninstaller] ー [Canon LIPS LX Printer Driver Uninstaller] を選択します。

アンインストーラが起動します。

3 アンインストールするプリンタ名を選択したあと、[削除] をクリックします。

プリンタドライバがアンインストールされます。

メモ

[クリーンアップ] をクリックすると、本ドライバに関連するファイルやレジストリ情報などがすべて削除されます。通常は、[削除] でアンインストールを行ってください。

プリンタドライバを表示する

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスの各ページで、いろいろなプリンタの設定を行うことができます。設定できる項目は、プロパティダイアログボックスの表示方法によって異なります。お使いの OS に合わせて、以下の手順に従ってプロパティダイアログボックスを表示してください。

ドライバのプロパティダイアログボックスは二種類あります。

■ ドキュメントプロパティダイアログボックス

印刷ジョブの設定を行う画面です。アプリケーションソフトウェアから表示した場合、その印刷ジョブのみに対する設定項目を指定できます。

Windows 95/98/Me の場合は P.2-78 を、Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は P.2-81 を参照してください。

Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 で［プリンタ］ダイアログボックスから表示した場合、すべての印刷ジョブに対するデフォルト値を設定できます。(→ P.2-83)

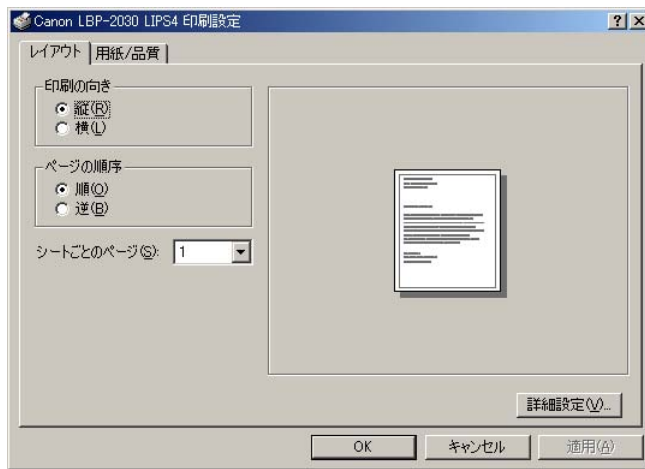
■ プリンタプロパティダイアログボックス

プリンタのオプションの機器の設定などを行う画面です。［プリンタ］ダイアログボックスから表示します。

Windows 95/98/Me ではすべての印刷ジョブに対するデフォルト値を設定できます。(→ P.2-80)

Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 では、よく使う機能をお気に入りとして登録することなどができます。(→ P.2-85)

重要

以下のような画面が表示される場合は、Microsoft 製のプリンタドライバがインストールされています。「プリンタドライバをインストールする」（→ P.2-5）の手順に従って、キヤノン製のプリンタドライバをインストールしてください。

Windows 95/98/Meの場合

アプリケーションソフトウェアからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示する

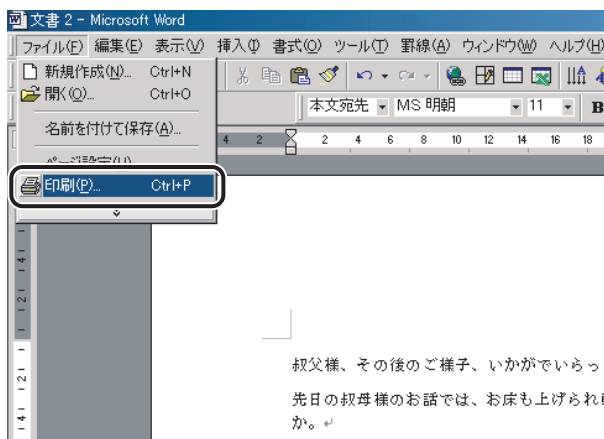
アプリケーションソフトウェアからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示した場合、その印刷ジョブのみに対して設定項目を指定できます。

1 **アプリケーションソフトウェアのメニューから、印刷コマンドを選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

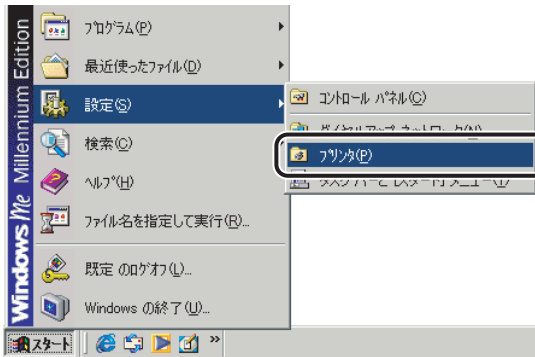
2 ドロップダウンリストボックスからお使いのプリンタを選択したあと、［プロパティ］をクリックします。

ドキュメントプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトウェアにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

［プリンタ］ダイアログボックスからプリンタプロパティダイアログボックスを表示する

［プリンタ］ダイアログボックスからプリンタプロパティダイアログボックスを表示した場合、プリンタのオプション機器などを設定したり、すべての印刷ジョブに対してのデフォルト値を指定したりすることができます。

メモ　プリンタのオプション機器を設定する［デバイスの設定］ページは、「［プリンタ］ダイアログボックスからプリンタプロパティダイアログボックスを表示する」（→ P.2-80）の手順でのみ表示可能です。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］ダイアログボックスが表示されます。

2 お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ　プリンタ名のアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択しても、プリンタプロパティダイアログボックスを表示できます。

Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 の場合

アプリケーションソフトウェアからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示する

アプリケーションソフトウェアからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示した場合、その印刷ジョブのみに対して設定項目を指定できます。

1 **アプリケーションソフトウェアのメニューから、印刷コマンドを選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2 ドロップダウンリストボックスからお使いのプリンタを選択したあと、［プロパティ］をクリックします。

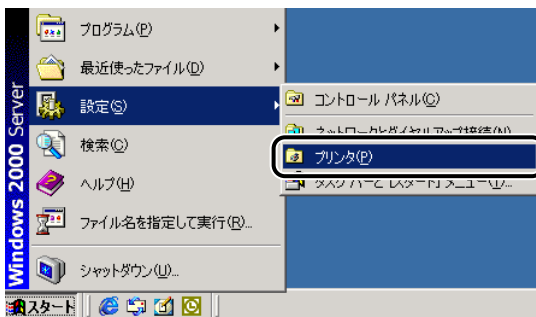
ドキュメントプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトウェアにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

[プリンタ] ダイアログボックスからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示する

[プリンタ] ダイアログボックスからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示した場合、すべての印刷ジョブに対してのデフォルト値を指定することができます。

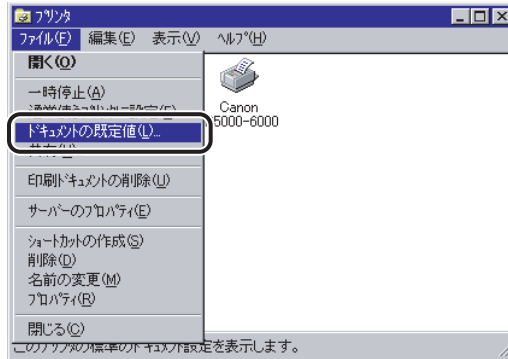
メモ　[プリンタ] ダイアログボックスの設定は、プリンタの [フルコントロールアクセス権] を持っている必要があります。[プリンタ] ダイアログボックスからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトウェアから表示してください。

1 **[スタート] メニューから [設定] − [プリンタ]（Windows XP/Server 2003 の場合は、[プリンタと FAX]）を選択します。**

[プリンタ] ダイアログボックスが表示されます。

メモ　Windows XP Professional/Server 2003の場合は、[スタート] − [プリンタとFAX]、Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] − [コントロールパネル] − [プリンタとハードウェア] − [プリンタと FAX] を選択してください。

2 お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、ドキュメントプロパティダイアログボックスを表示します。

● Windows NT 4.0

❑ ［ファイル］メニューから、［ドキュメントの既定値］を選択します。

ドキュメントプロパティダイアログボックスが表示されます。

● Windows 2000/XP/Server 2003

❑ ［ファイル］メニューから、［印刷設定］を選択します。

ドキュメントプロパティダイアログボックスが表示されます。

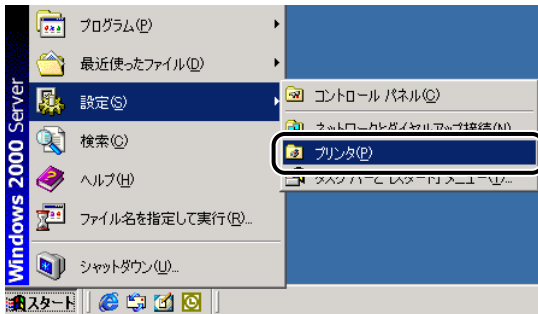
メモ　プリンタ名のアイコンを右クリックして、［ドキュメントの既定値］（Windows NT 4.0）、または［印刷設定］（Windows 2000/XP/Server 2003）を選択しても、ドキュメントプロパティダイアログボックスを表示できます。

[プリンタ] ダイアログボックスからプリンタプロパティダイアログボックスを表示する

[プリンタ] ダイアログボックスからプリンタプロパティダイアログボックスを表示した場合、プリンタのオプション機器の設定やよく使う機能をお気に入りとして登録することができます。

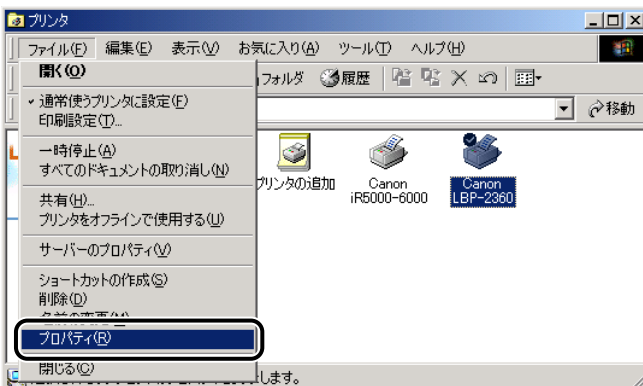
メモ

- [プリンタ] ダイアログボックスの設定は、プリンタの [フルコントロールアクセス権] を持っている必要があります。[プリンタ] ダイアログボックスからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトウェアから表示してください。
- プリンタのオプション機器を設定する [デバイスの設定] ページは、本手順でのみ表示可能です。

1 [スタート] メニューから [設定] － [プリンタ] (Windows XP の場合は、[プリンタと FAX]) を選択します。

[プリンタ] ダイアログボックスが表示されます。

メモ

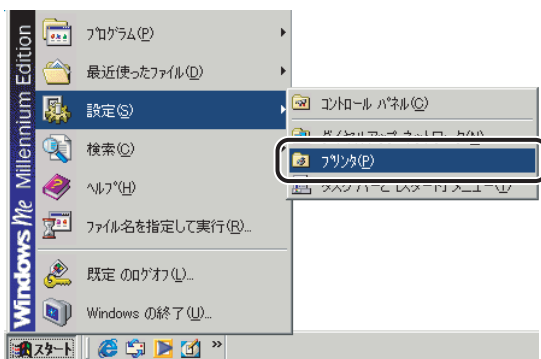
Windows XP Professional/Server 2003の場合は、[スタート] − [プリンタとFAX]、Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] − [コントロールパネル] − [プリンタとハードウェア] − [プリンタと FAX] を選択してください。

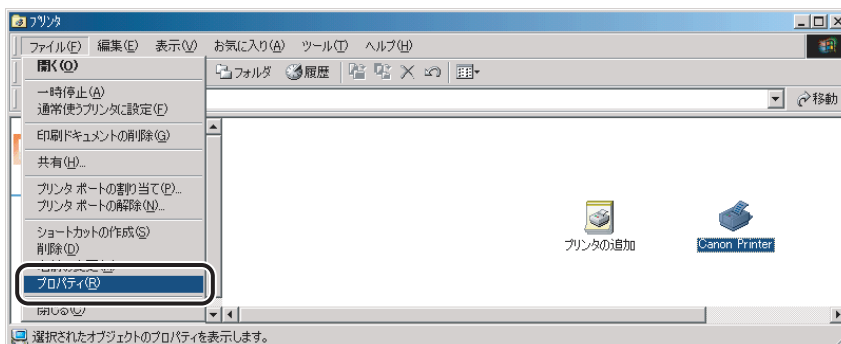
2 お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ　プリンタ名のアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択しても、プリンタプロパティダイアログボックスを表示できます。

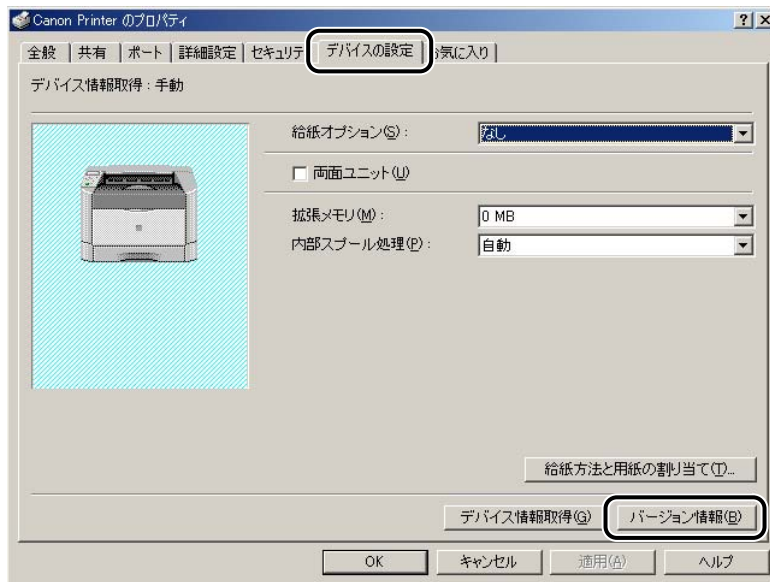
印刷前のプリンタ情報設定

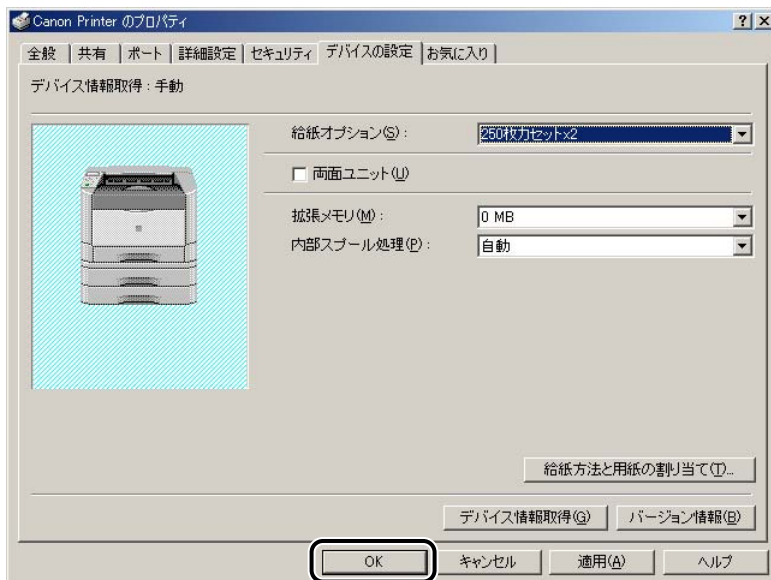
印刷前に、排紙オプションや給紙オプションなどのプリンタの環境を設定してください。オプションを装着するたびに、必ず設定してください。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。

メモ　Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] - [プリンタと FAX]、Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択してください。

2 お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

プリンタのプロパティが表示されます。

メモ　プリンタ名のアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択しても、プリンタのプロパティを表示できます。

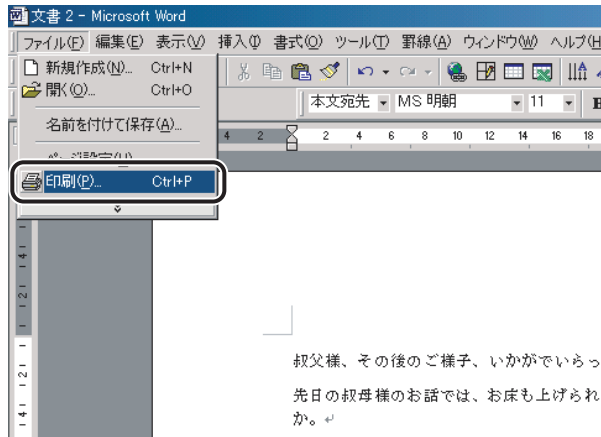
3 ［デバイスの設定］ページを表示して、［デバイス情報取得］をクリックします。

メモ　デバイス情報取得がエラーになった場合は、手動で設定してください。

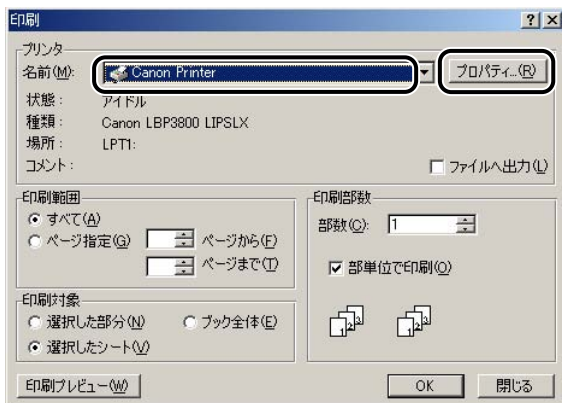
4 給紙オプションや排紙オプションなど、お使いの環境を確認したあと、［OK］をクリックします。

プリンタドライバを使って印刷する

原稿作成から印刷するまでの主な手順は、次のとおりです。

メモ　印刷の手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

1 Microsoft Word 2000 を起動して、原稿を作成します。

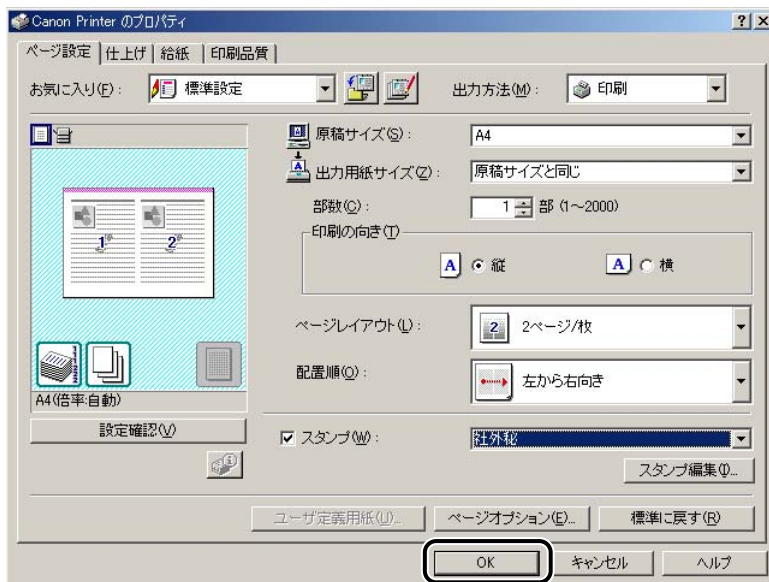
2 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［プリンタ名］にお使いのプリンタ名が表示されていることを確認したあと、［プロパティ］をクリックします。

正しいプリンタ名が表示されていない場合は、一覧からお使いのプリンタ名を選択します。

ドキュメントプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ

ここに表示されるプリンタ名は、［プリンタ］ダイアログボックス（Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタと FAX］ダイアログボックス）で変更することができます。
ドキュメントプロパティダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトウェアによって表示する手順が異なる場合があります。

4 ドキュメントプロパティダイアログボックスの各ページで印刷条件を設定したあと、[OK]をクリックします。

上図がプリンタドライバの設定画面です。

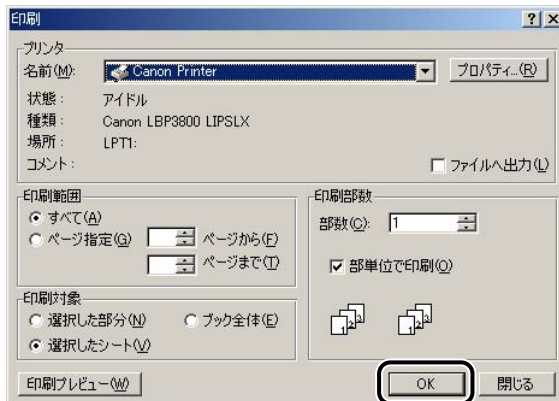
[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

重要 [ページ設定]ページと[給紙]ページの内容は、印刷するたびに確認することをおすすめします。

メモ 上図のようなダイアログボックスが表示されない場合は､Microsoft 製のプリンタドライバがインストールされています。「プリンタドライバをインストールする」(P.2-5)を参照して、キヤノン製のプリンタドライバをインストールしなおしてください。

5 ［印刷］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

印刷が始まります。

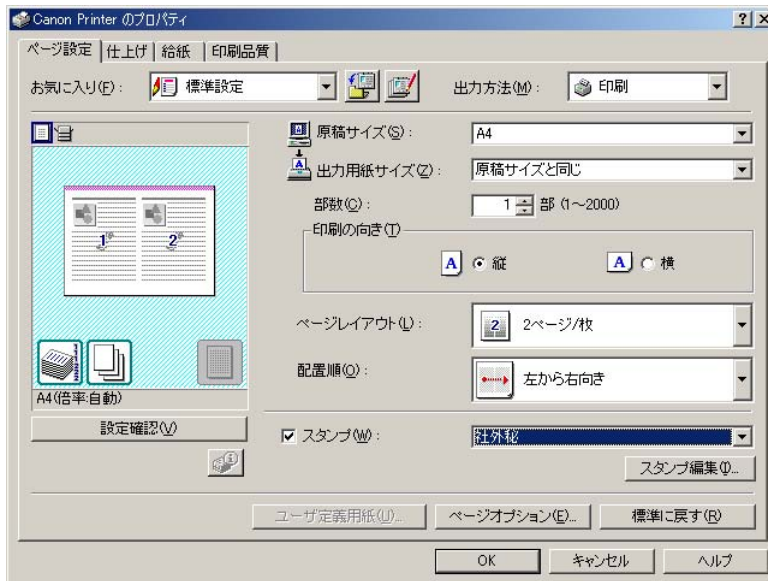
メモ

- 正常に印刷が終了しないときは、「第 6 章　困ったときには」を参照してください。
- 「いろいろな印刷機能を使用する」（→ P.2-94）では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

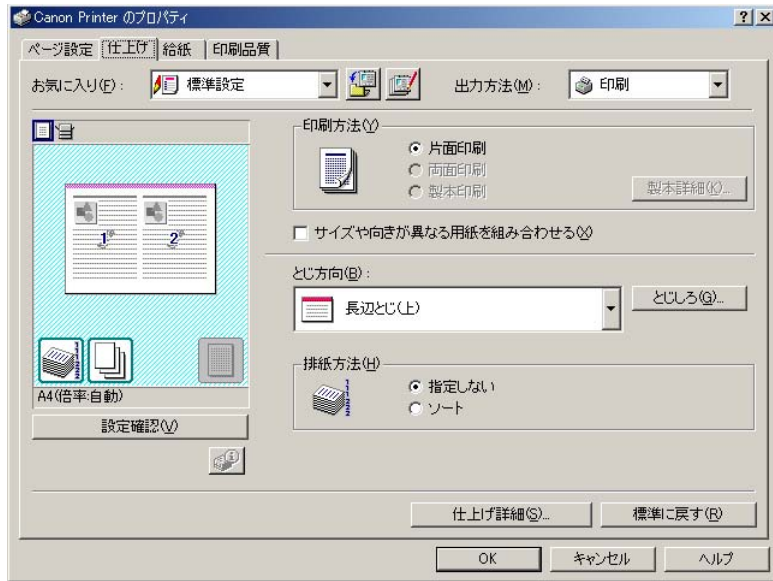
いろいろな印刷機能を使用する

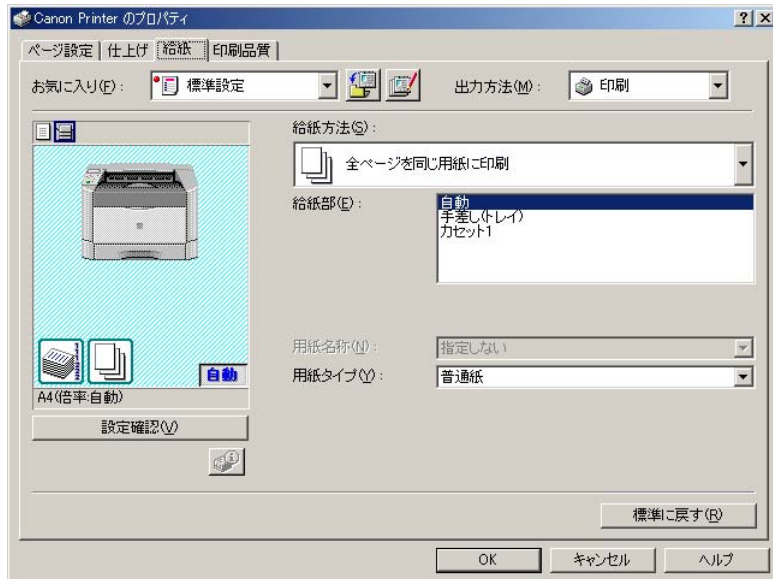
拡大・縮小印刷や、複数ページ分の原稿を 1 枚の用紙に印刷するなどの機能を使用することができます。これらの機能は、プリンタドライバから設定できます。

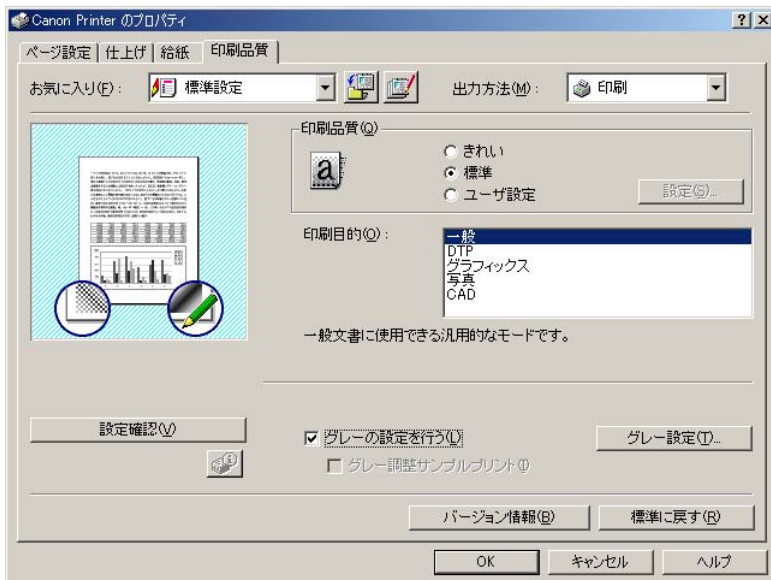
プリンタドライバの各ページの機能概要

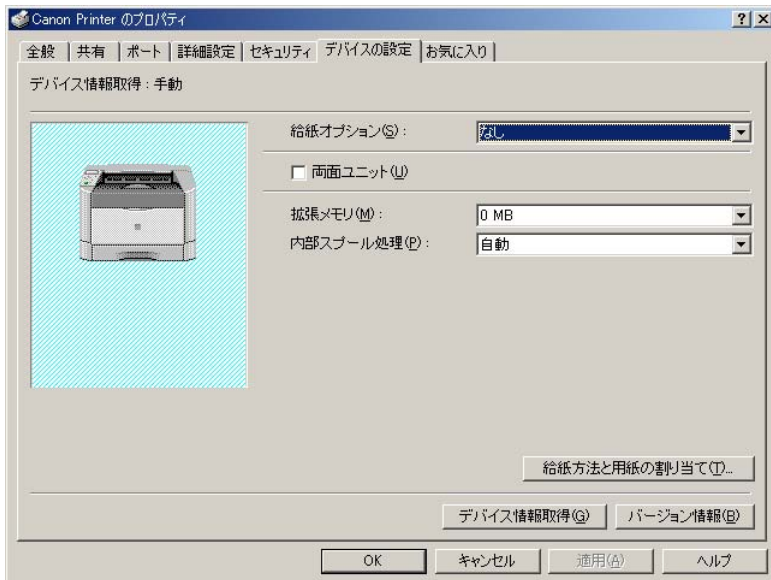
■ [ページ設定] ページ

原稿サイズや部数、印刷の向きなど、印刷ページに関する設定を行います。

■［仕上げ］ページ

印刷方法や排紙方法など、最終仕上げに関する設定を行います。印刷方法には、片面印刷や両面印刷などがあります。

■［給紙］ページ

給紙方法に関する設定を行います。

■［印刷品質］ページ

解像度やモノクロ中間調など、印刷品質に関する設定を行います。あらかじめ用意されている印刷目的を選択して、目的に合った印刷設定を簡単に行うこともできます。

■［デバイスの設定］ページ

プリンタのオプションの設定やフォントに関する設定を行います。

プリンタドライバの主な機能

プリンタドライバから利用できる主な機能は、次のようなものがあります。お使いのプリンタによって、利用できる機能は異なります。

機能	参照ページ	Windows 95/98/Me	Windows NT 4.0	Windows 2000/XP/ Server 2003
お気に入り印刷	2-98	○	○	○
拡大・縮小印刷	2-98	○	○	○
とじしろ印刷	2-99	○	○	○
オーバレイ印刷	2-99	○	○	×
スタンプ印刷	2-99	○	○	○
N ページ印刷	2-100	○	△	○
製本印刷	2-100	○	×	○
ジョブ結合	2-101	○	×	○
両面印刷	2-101	○	○	○

○は、本書で説明する機能をすべて実行できることを意味します。

△は、本書で説明する機能の一部を実行できることを意味します。

×は、本書で説明する機能の一部を実行できないことを意味します。

メモ

設定手順や上記の機能以外については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、プリンタドライバを表示して、［ヘルプ］をクリックしてください。（➞オンラインヘルプを表示する：P.2-102）

■ お気に入り印刷

よく利用する印刷設定を登録しておくことで、印刷のたびに行う設定操作を省略できます。ファイルに保存して、他のコンピュータでも使うことができます。あらかじめ以下の設定が用意されていますので、プリンタドライバの各ページ上部の［お気に入り］から選択してください。ただし、お使いのプリンタによって、選択できる項目が異なります。

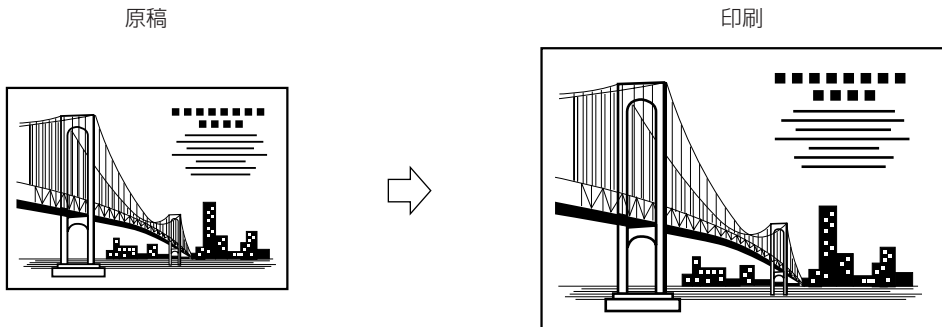
名称	主な設定内容
標準設定	各項目の設定値が初期状態の設定になり、一般の文書に適した印刷を実行します
ビットマップ展開	イメージモードで印刷します
2ページ/枚（片面）	用紙1枚に2ページずつ片面印刷します
2ページ/枚（両面）	用紙1枚に2ページずつ両面印刷します
両面	用紙の両面に印刷します
出力サイズA4固定	出力用紙をA4サイズのみに印刷します
社外秘	各ページに「社外秘」のスタンプをつけて印刷します
高階調	高精密に印刷するのに適したモードです

メモ　登録したお気に入りは、［お気に入り］リストの横にある［お気に入りの編集］－［ファイル保存］でファイルに保存することをおすすめします。プリンタ名称を変更する場合や、他のプリンタにインポートする場合に必要となることがあります。

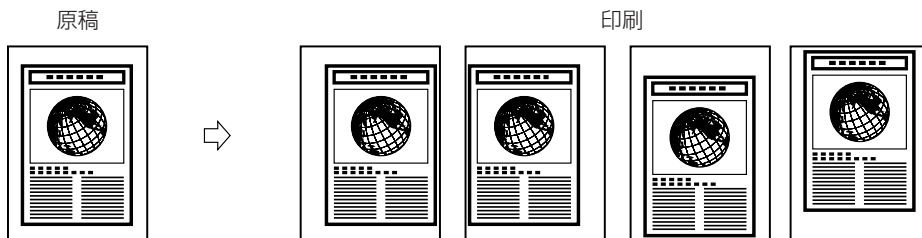
■ 拡大縮小印刷

A4サイズの原稿をB5サイズの用紙に縮小して印刷したり、逆にB5サイズの原稿をA4サイズの用紙に拡大して印刷します。
任意の倍率で拡大縮小することもできます。

原稿

印刷

■ とじしろ

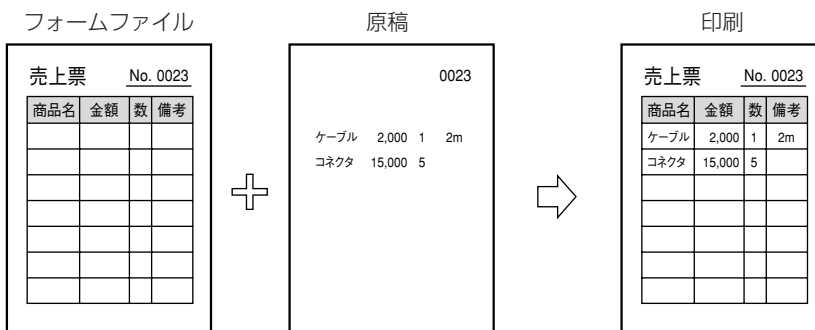
印刷原稿のとじしろを設定することができます。印刷物をとじたりするときに、とじしろをつけると便利です。

原稿　　　　印刷

■ オーバレイ印刷

各ページにあらかじめ作成したフォームファイル（下地）を作成しておき、印刷データに重ねて印刷することができます。給料明細など、特定のフォーマットに印刷するときに便利な機能です。

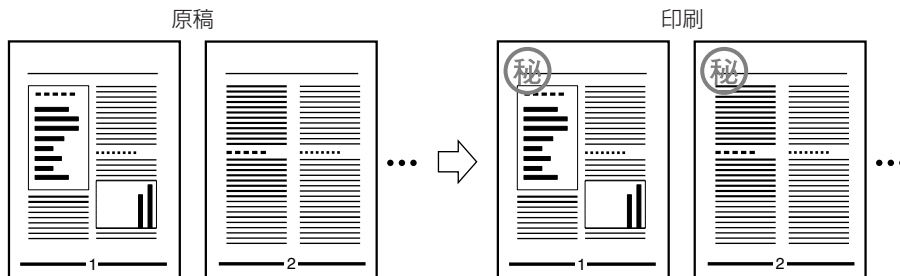
印刷

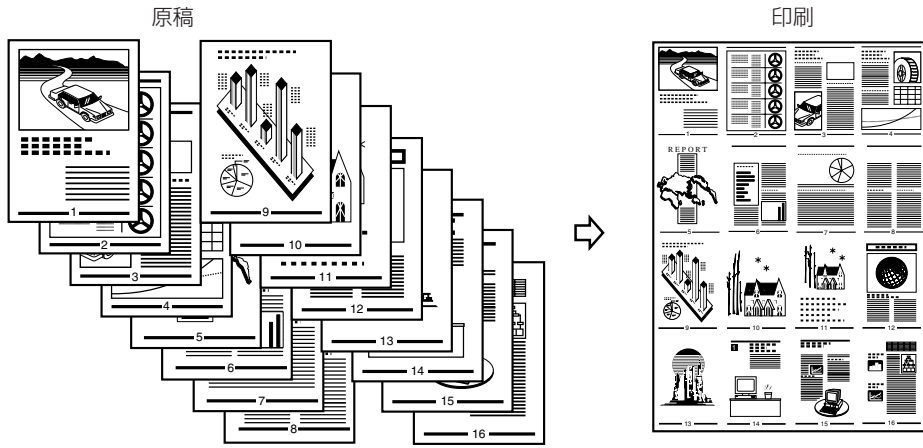
売上票　No. 0023

商品名	金額	数	備考
ケーブル	2,000	1	2m
コネクタ	15,000	5	

メモ　Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いで LIPS LX プリンタドライバをインストールした場合は、本機能は使用できません。

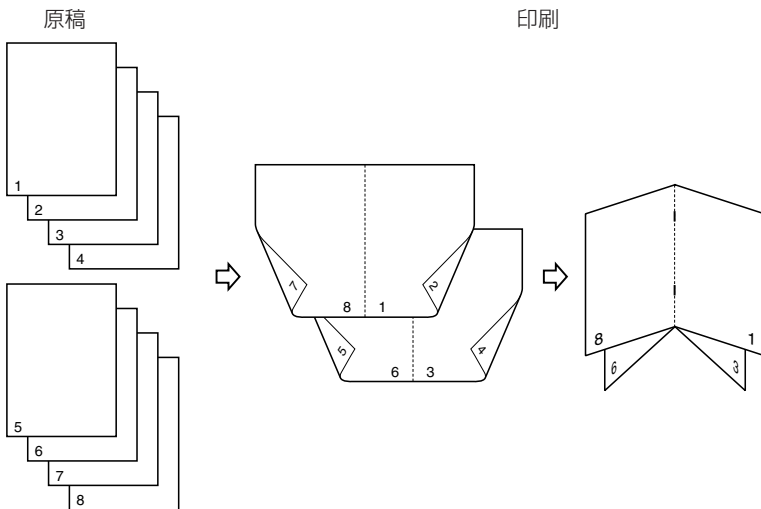
■ スタンプ印刷

印刷原稿の背景にスタンプを押したように出力します。「社外秘」や「コピー禁止」などが用意されています。オリジナルのスタンプ作成もできます。

原稿　　　　印刷

■ Nページ印刷

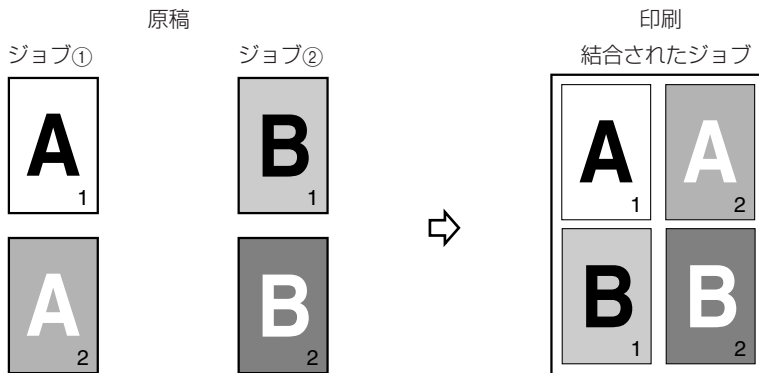
複数ページの原稿を並べ替えて、1 枚の用紙に印刷できます。最大 16 ページの原稿を 1 枚の用紙に印刷できます。

*Windows NT 4.0 では、2、4 ページ印刷のみ可能です。

■ 製本印刷

製本印刷では、ページ番号が順番どおりに並ぶように印刷順序が調整されるため、用紙を 2 つ折りにするだけで本を作ることができます。

* オプションの両面ユニットが必要です。

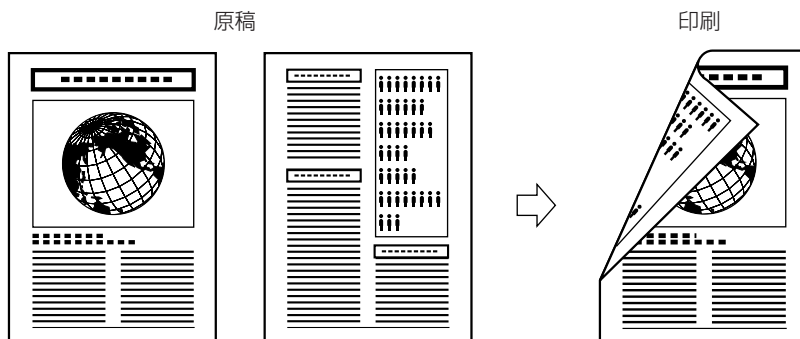
* Windows NT 4.0 では、本機能は使用できません。

■ ジョブ結合

別々のアプリケーションソフトウェアで作成した原稿を、1 つに結合することができます。また、結合したジョブの順序入れ替えや、結合したジョブに対するN ページ印刷などを行えます。

*上図は、2 つのジョブ（各2 ページ）を結合して、1 枚の用紙に印刷する例です。

*Windows NT 4.0 では、本機能は使用できません。

■ 両面印刷

2 ページ分の原稿を、1 枚の用紙の表と裏の両面に印刷することができます。

*オプションの両面ユニットが必要です。

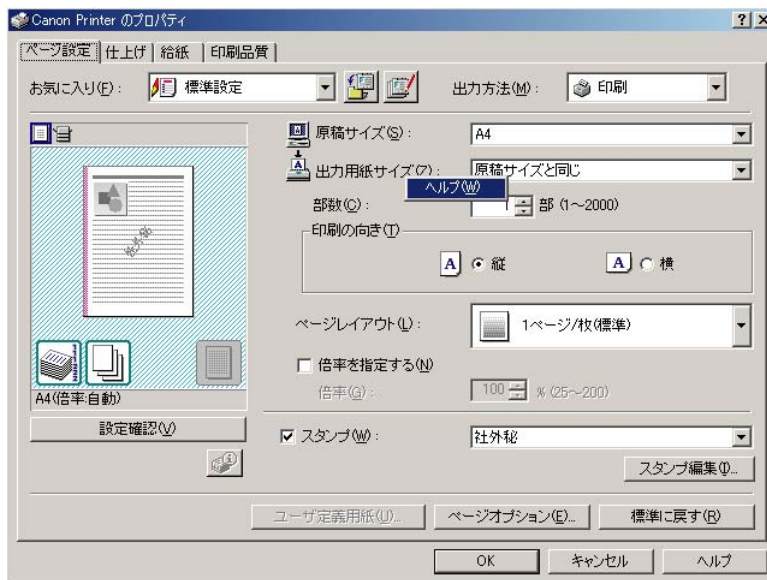
オンラインヘルプを表示する

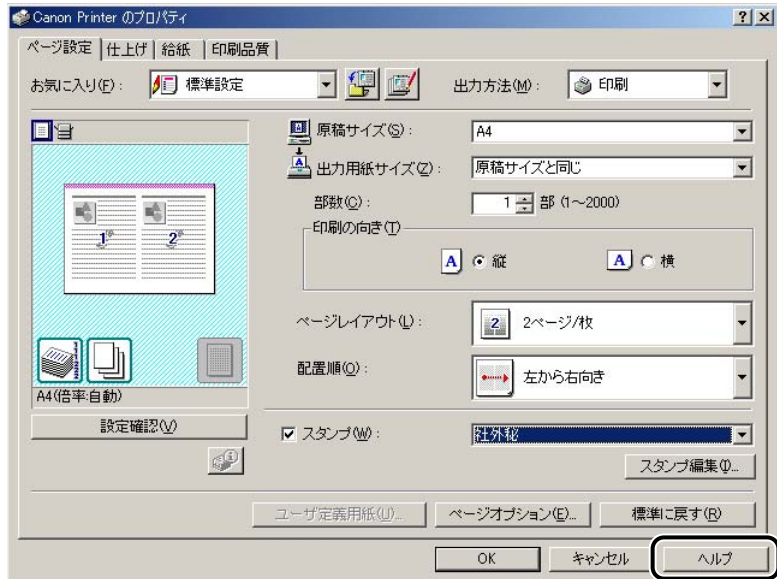
プリンタドライバの使用方法については、オンラインヘルプを参照してください。
オンラインヘルプは、次の手順で表示できます。

1 「プリンタドライバを表示する」（→ P.2-76）の手順に従って、プリンタドライバを表示します。

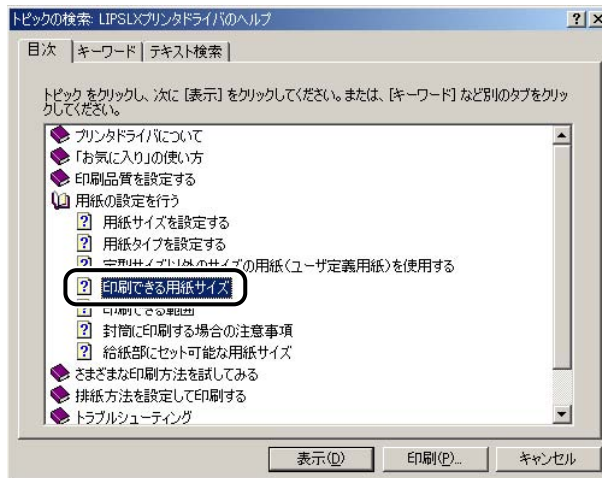
2 調べたい項目を表示します。

● 画面上の項目の機能を表示する場合

❑ 該当する項目を右クリックして、［ヘルプ］を選択します。

● 操作方法を表示する場合

❑ ［ヘルプ］をクリックします。

ヘルプファイルが表示されます。

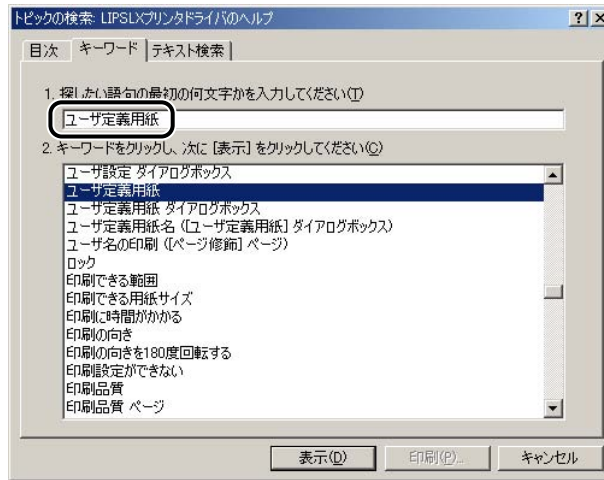
❑ ［目次］をクリックします。

❑ 知りたい項目のタイトルをダブルクリックします。

● キーワードで検索する場合

❑ ［ヘルプ］をクリックします。

ヘルプファイルが表示されます。

❑［キーワード］をクリックします。

❑ キーワードを入力して、関連するヘルプ項目のタイトルを表示します。

❑ 知りたい項目のタイトルをダブルクリックします。

メモ　お使いの OS によっては、［テキスト検索］で、自動的に作成された語句の一覧から検索することもできます。

Macintoshから印刷するには

3
CHAPTER

Macintoshにプリンタドライバをインストールする手順、および印刷する方法について説明しています。

印刷するときに必要な作業

Macintosh から印刷するときに必要な作業は、次のとおりです。

プリンタを設置したあとに行う作業

■ **プリンタドライバをインストールする**
プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで、印刷に関する設定を行います。プリンタに発生したエラーや、プリンタに関する情報を取得するためのソフトウェア「プリントモニタ」もインストールされます。

印刷のたびに行う作業

■ **印刷先を設定する**
アプリケーションソフトウェアから印刷する前に、印刷するプリンタを登録する必要があります。

■ **印刷する**
アプリケーションソフトウェアから、プリンタドライバを使用して印刷を行います。

必要なシステム環境

Macintosh 用プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

Mac OS 8/9 用プリンタドライバ

- OS
  - Mac OS 8.6/9/9.0.4/9.1/9.2.1/9.2.2/X（10.1.5/10.2/10.2.1/10.2.2/10.2.3/10.2.4/10.2.5/10.2.6/10.2.7/10.2.8/10.3/10.3.1：Classic 環境のみ）
- コンピュータ／メモリ
  - 上記 OS が動作する環境

重要
- Mac OS X の Classic 環境でお使いの場合、本プリンタドライバをご利用ください。
- 日本語以外の OS には対応していません。

Mac OS X 用プリンタドライバ

- OS
  - Mac OS X (10.1.5/10.2/10.2.1/10.2.2/10.2.3/10.2.4/10.2.5/10.2.6/10.2.7/10.2.8/10.3/10.3.1)
- コンピュータ／メモリ
  - 上記 OS が動作する環境

Mac OS X の Classic 環境でお使いの場合、Mac OS 8/9 用プリンタドライバをご利用ください。

プリンタドライバをインストールする

初めてプリンタを使用するときには、プリンタドライバのインストールが必要です。以下の手順に従って、インストールしてください。

Mac OS 8/9 用プリンタドライバの場合

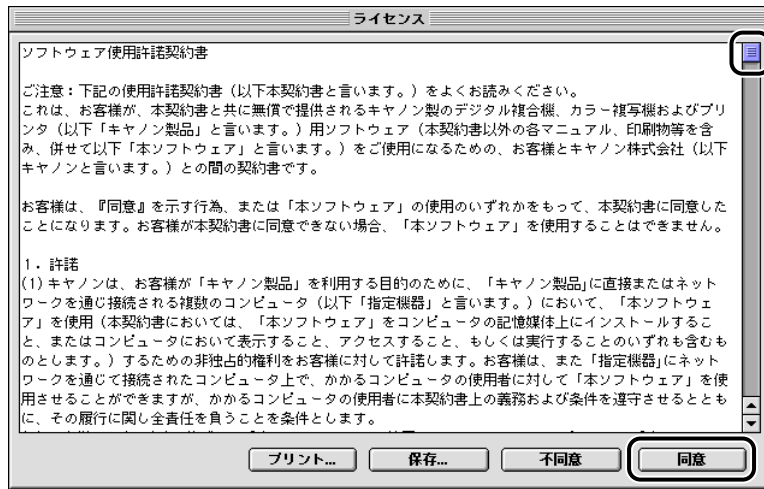
1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

重要　インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

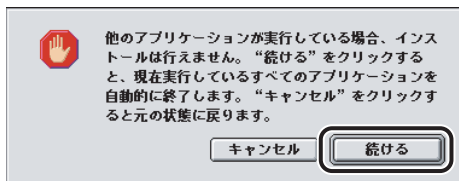
2 ［プリンタドライバ MacOS8_9］フォルダを開きます。

3 ［Installer］アイコンをダブルクリックします。

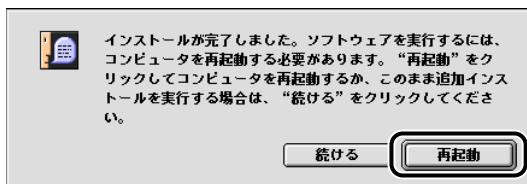
インストーラが起動します。

4 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、[同意] をクリックします。

5 [簡易インストール] が選択されていることを確認したあと、[インストール] をクリックします。

メモ　[カスタムインストール] ページを選択すると、インストールする項目を選択できます。

6 メッセージが表示されたら、[続ける］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ　プリンタのユーティリティソフトウェア「プリンタモニタ」も、同時にインストールされます。

7 インストールが完了してメッセージが表示されたら、[再起動］をクリックして、コンピュータを再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。引き続き、「印刷先を設定する」(→P.3-16）でプリンタを登録してください。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- インストール前に、古いバージョンのプリンタドライバをアンインストールしてください。（→ P.3-13）

2 ［プリンタドライバ MacOSX］フォルダを開きます。

3 ［Installer］アイコンをダブルクリックします。

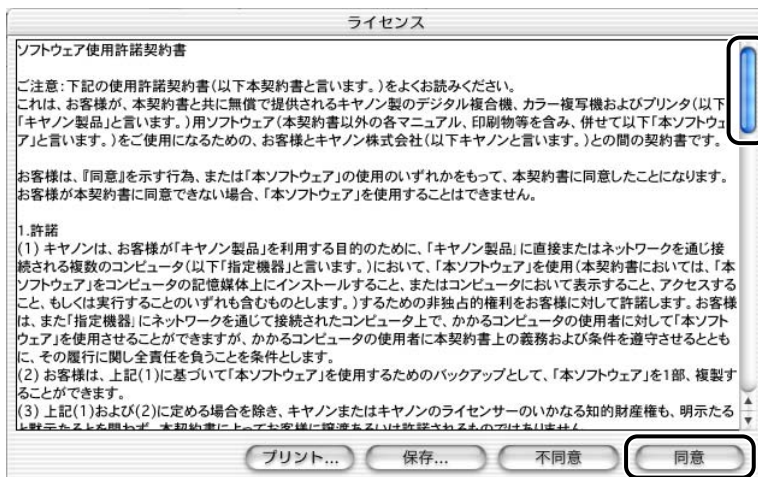
［認証］ダイアログが表示されます。

メモ

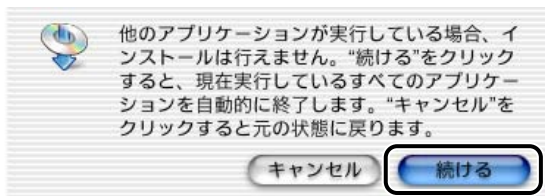
お使いの環境によっては、［認証］ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 5 へ進んでください。

4 管理者の名前とパスワードを入力したあと、［OK］をクリックします。

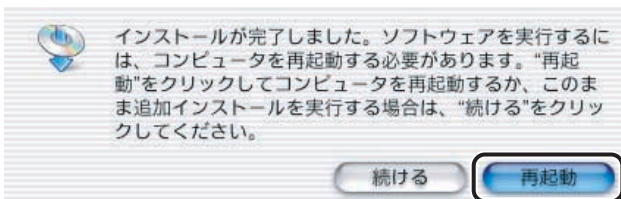
インストーラが起動して、使用許諾契約書が画面に表示されます。

5 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、［同意］をクリックします。

6 ［簡易インストール］が選択されていることを確認したあと、［インストール］をクリックします。

メモ　［カスタムインストール］ページを選択すると、インストールする項目を選択できます。

7 メッセージが表示されたら、[続ける]をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ　プリンタのユーティリティソフトウェア「プリンタモニタ」も、同時にインストールされます。

8 インストールが完了してメッセージが表示されたら、[再起動]をクリックして、コンピュータを再起動します。

コンピュータが再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。引き続き、「印刷先を設定する」(→P.3-16)でプリンタを登録してください。

プリンタドライバをアンインストールする

プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

Mac OS 8/9 用プリンタドライバの場合

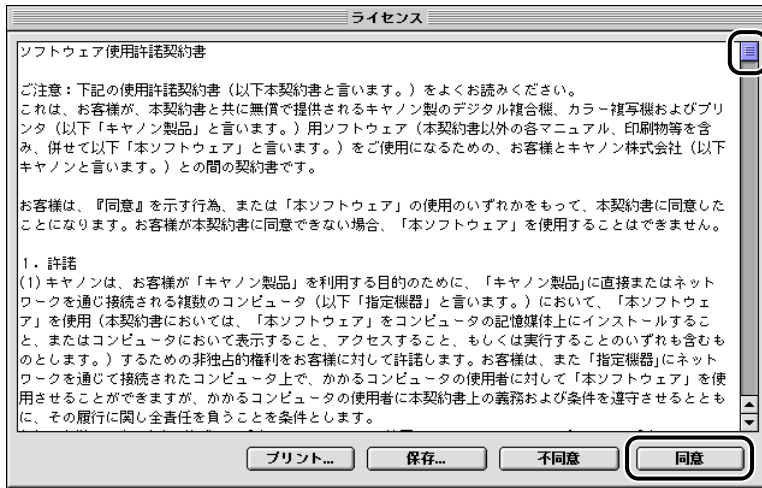
1 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

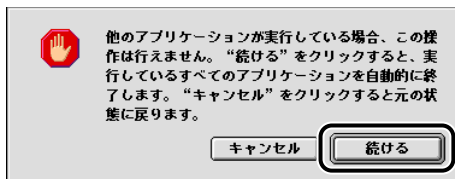
2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

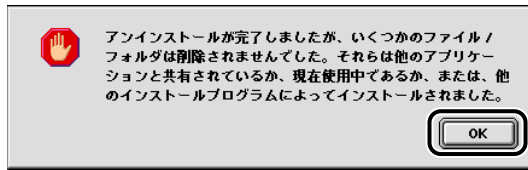
3 [プリンタドライバMacOS8_9] フォルダを開きます。

4 [Installer] アイコンをダブルクリックします。

インストーラが起動します。

5 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、[同意] をクリックします。

6 [アンインストール] を選択したあと、[アンインストール] をクリックします。

7 メッセージが表示されたら、[続ける] をクリックします。

アンインストールが開始されます。

8 アンインストールが完了してメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

［Installer］ダイアログに戻ります。

9 ［終了］をクリックします。

以上でプリンタドライバのアンインストールが終了しました。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

3 [プリンタドライバ MacOSX] フォルダを開きます。

4 [Installer] アイコンをダブルクリックします。

[認証] ダイアログが表示されます。

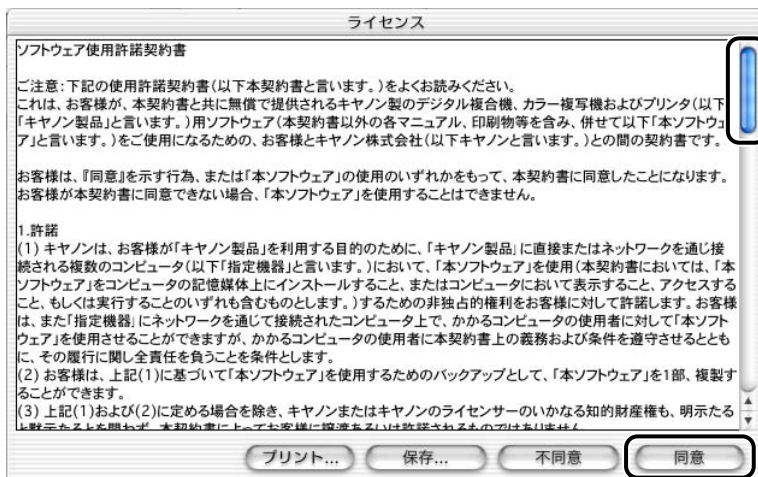
メモ　お使いの環境によっては、[認証] ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 6 へ進んでください。

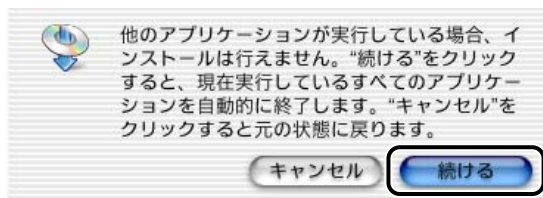
5 管理者の名前とパスワードを入力したあと、[OK] をクリックします。

インストーラが起動して、使用許諾契約書が画面に表示されます。

3

Macintoshから印刷するには

6 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、［同意］をクリックします。

7 ［アンインストール］を選択したあと、［アンインストール］をクリックします。

8 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

アンインストールが開始されます。

9 アンインストールが完了してメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

[Installer] ダイアログに戻ります。

10 [終了] をクリックします。

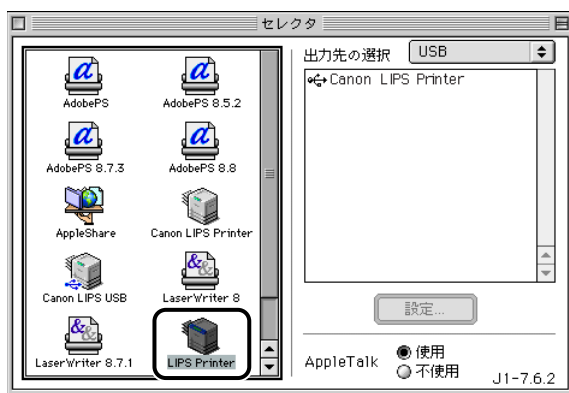
以上でプリンタドライバのアンインストールが終了しました。

印刷先を設定する

プリンタドライバをインストールしたら、印刷先を設定します。

Mac OS 8/9 用プリンタドライバの場合

1 Apple メニューから［セレクタ］を選択します。

2 ［LIPS Printer］アイコンを選択します。

［出力先の選択］に、本プリンタドライバで使用できるデバイスの一覧が表示されます。

- キヤノン製以外のプリンタドライバをインストールした場合は、アイコンの名称が異なります。セレクタにアイコンが表示されないときは、プリンタドライバを再度インストールしてください。
- ［出力先の選択］にプリンタ名が表示されないときは、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

3 ［出力先の選択］から使用するプリンタの接続形態（［AppleTalk］、［USB］のいずれか）とプリンタを選択します。

4 セレクタを閉じます。

設定が保存されます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 **お使いのハードディスクの［アプリケーション］（［Applications］）－［ユーティリティ］（［Utilities］）フォルダにある、［プリントセンター］（［Print Center］）アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS 10.3 以降をお使いの場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］（［Printer Setup Utility］）アイコンをダブルクリックしてください。

2 **［プリンタを追加］（［追加］）をクリックします。**

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 **リストから接続形態（［AppleTalk］、［USB］のいずれか）を選択します。**

4 **プリンタリストの一覧からお使いのプリンタを選択したあと、［追加］をクリックします。**

メモ

- ［種類］が［LIPS (v.x.xx)］のプリンタの中から選択してください。本ソフトウェアに対応していないプリンタは、選択しないでください。
- プリンタ名が表示されないときは、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

5 **［プリンタリスト］ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと閉じます。**

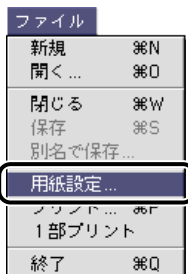
以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

プリンタドライバから印刷する

アプリケーションソフトウェアからは、以下の手順で印刷を行います。

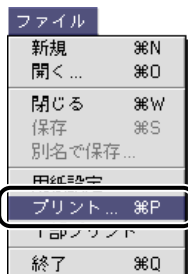
Mac OS 8/9 用プリンタドライバの場合

1 アプリケーションソフトウェアを起動します。

2 ［ファイル］メニューから［用紙設定］を選択します。

［用紙設定］ダイアログが表示されます。

3 原稿サイズ、印刷方向、倍率を設定します。

4 ［用紙設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

5 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリント］ダイアログは、お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、表示が若干異なります

6 ［プリンタ］のポップアップメニューから、プリンタ名を選択します。

ゾーンが設定されている AppleTalk 環境では、メニューに「プリンタ名：ゾーン名」が表示されます。

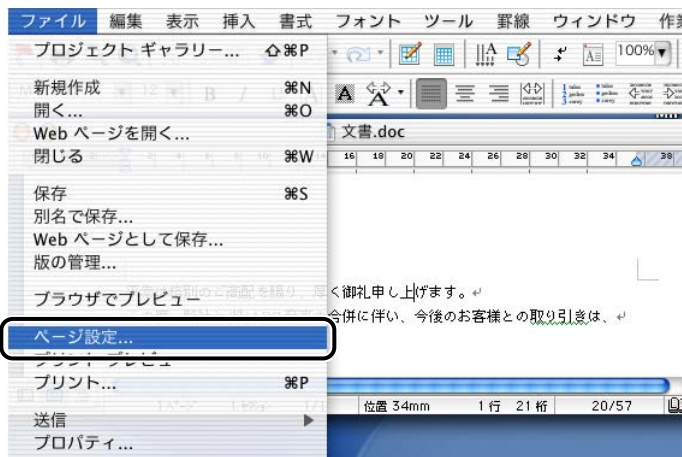
7 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

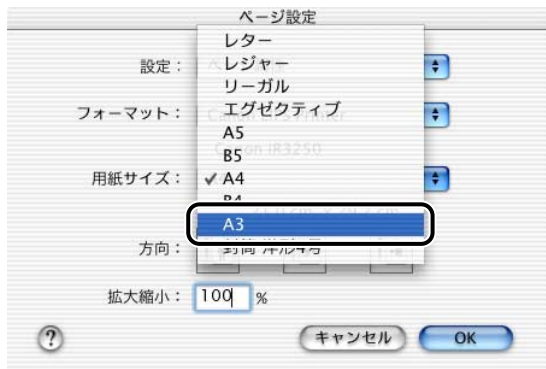
メモ　印刷を途中でキャンセルしたときは、次の印刷を行う前に必ずプリンタをリセットしてください。

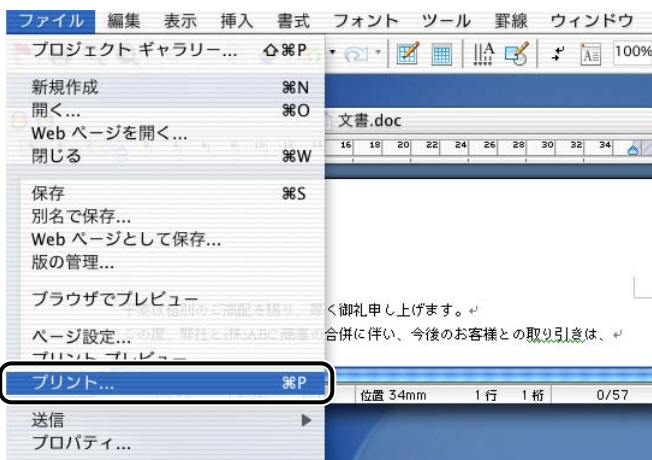
Mac OS X 用プリンタドライバの場合

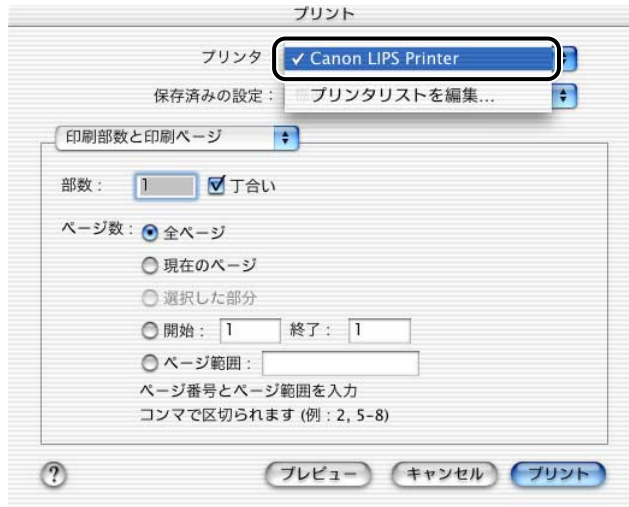
1 アプリケーションソフトウェアを起動して、印刷する原稿を表示します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

［ページ設定］ダイアログが表示されます。

3 ［設定］で［ページ属性］が選択されていることを確認して、［フォーマット］（または［対象プリンタ］）で印刷するプリンタを選択します。

4 用紙サイズ、拡大縮小率、用紙の向きを設定します。

5 ［ページ設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

7 ［プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。

8 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

メモ

- 手順 7 の［プリンタ］には、［プリントセンター］（［Print Center］）のプリンタリストに追加したプリンタが表示されます。お使いのプリンタが表示されない場合は、［プリンタリストを編集］を選択して、［プリントセンター］（［Print Center］）のプリンタリストでご使用のプリンタを追加してください。Mac OS 10.3 以降をお使いの場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］（［Printer Setup Utility］）のプリンタリストです。
- プリンタドライバの使用方法については、お使いのハードディスクの［ライブラリ］（［Library］）-［Printers］-［Canon］-［LIPS2］-［Manual］フォルダにある［オンラインマニュアル .pdf］を参照してください。

オンラインマニュアルを表示する

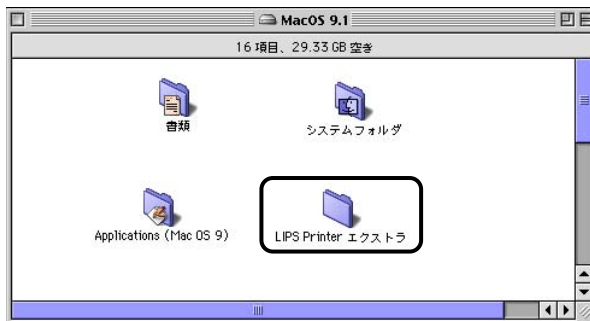
プリンタドライバの使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。

オンラインマニュアルは、次の手順で表示できます。

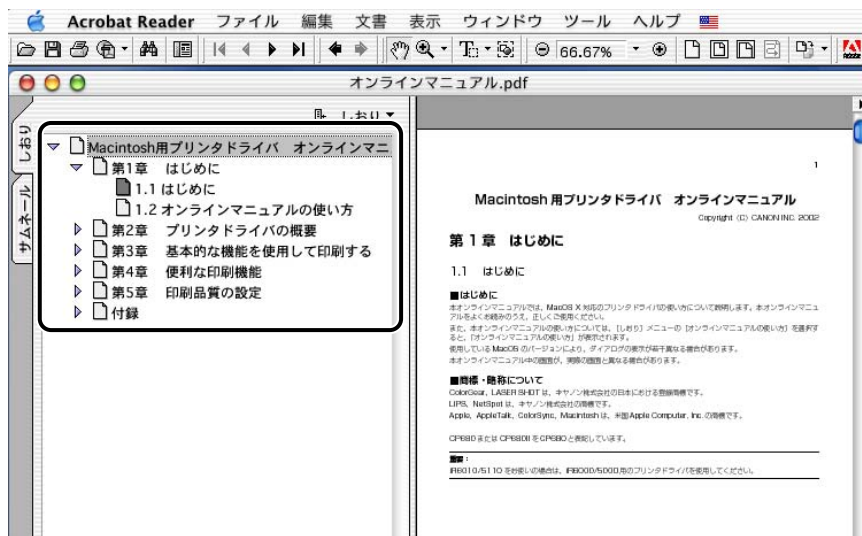
Mac OS 8/9 用のオンラインマニュアルと Mac OS X 用のオンラインマニュアルは、共通のオンラインマニュアルです。

Mac OS 8/9 用プリンタドライバの場合

1 デスクトップのハードディスクドライブを表示します。

2 [LIPS Printer エクストラ] フォルダをダブルクリックします。

3 [オンラインマニュアル .pdf] アイコンをダブルクリックします。

オンラインマニュアルが起動します。

4 ［しおり］メニューから参照するトピックを選択します。

選択したトピックに関する説明が、画面に表示されます。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

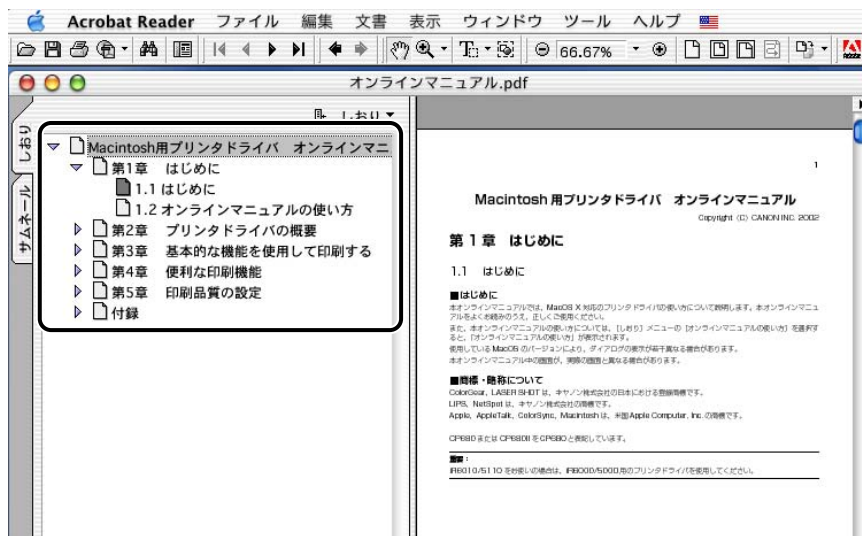
プリンタドライバの使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。

1 デスクトップのハードディスクドライブを表示します。

2 [ライブラリ]([Library])-[Printers]-[Canon]-[LIPS2]-[Manual]フォルダを選択します。

3 [オンラインマニュアル.pdf] アイコンをダブルクリックします。

オンラインマニュアルが起動します。

4 ［しおり］メニューから参照するトピックを選択します。

選択したトピックに関する説明が、画面に表示されます。

4
CHAPTER

DOS から印刷するには

PC-98 シリーズ日本語 MS-DOS Version 3.30 以降、または DOS/V Version 5.0 以降で印刷する方法について説明しています。

印刷するときに必要な作業

「設置ガイド」、または「ユーザーズガイド」に従ってプリンタの設置が完了したら、次は印刷に必要な設定作業を行う必要があります。
ここでは、アプリケーションソフトウェアから印刷するために必要な作業を説明しています。

プリンタを設置したあとに行う作業

■ **使用するプリンタの機種名を選択する**

DOS アプリケーションソフトウェアから印刷するには、各アプリケーションソフトウェアに用意されているプリンタ設定メニューで、使用するプリンタ名を選択します。この作業は、印刷を実行するすべてのアプリケーションソフトウェアで行ってください。

印刷のたびに行う作業

■ **印刷設定を行う**

プリンタの用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷部数などを設定します。この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります。

プリンタの設定は、アプリケーションソフトウェアから行います。

■ **ページフォーマットを設定する**

使用するプリンタの機種名を LIPS プリンタ以外（PC-PR201/80A や ESC/P プリンタなど）に設定した場合は、アプリケーションソフトウェアの用紙設定に合わせたページフォーマットの設定が必要です。

■ **印刷する**

アプリケーションソフトウェアから印刷します。この操作はアプリケーションソフトウェアごとに異なりますので、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

アプリケーションソフトウェアから印刷する

DOS アプリケーションソフトウェアから印刷する場合には、アプリケーションソフトウェアで使用するプリンタの機種を選択して、印刷のレイアウトなどの設定を決める必要があります。

印刷の前に、以下を参考にしてプリンタの機種を選択してください。

重要
- DOSアプリケーションソフトウェアから印刷する場合には、付属のWindows用プリンタドライバは使用できません。
- 本プリンタとキヤノン BJ プリンタは、印刷機構の違いのため互換性はありません。BJ プリンタ、LIPS IVc プリンタなどは選択しないでください。

メモ
プリンタの機種の選択方法、印刷の手順については、お使いのアプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書の、印刷に関する部分を参照してください。

■ 本プリンタの機種名が表示される場合

本プリンタの機種名を選択します。

■ 他の LBP の機種名しか表示されない場合

本プリンタの機種名がないときは、以下の表に記載した、互換性がある他の LBP の機種名を選択します。

優先順位	機種名	LIPS のバージョン
1	LBP-730、720、450 など、LIPS IV	LIPS IV
2	LBP-A309GII、A304GII、A304E、B406GII、B406G、B406EII、B406E、B406S (LIPS III)、B406D (LIPS III)、A404F、A404GII、A404E、A404 (LIPS III)	LIPS III
3	LBP-B406S (LIPS II+)、B406D (LIPS II+)、A404(LIPS II+)、B406、A408	LIPS II+
4	キヤノン LBP、LASER SHOT、LIPS など	

重要
これらのプリンタの機種名を選択したときは、印刷には支障ありませんが、機能が制限されることがあります。

メモ
- 優先順位が高いほど、本プリンタとの互換性が高くなります。
- プリンタ設定の方法や表示される機種名は、アプリケーションソフトウェアによって違います。正しく設定するには、アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

■ アプリケーションソフトウェアが日本電気（株）製プリンタにしか対応していない場合

NEC 製 PC-PR201/80A プリンタなどを選択して、N201 エミュレーションモードで使用します。

メモ　N201 エミュレーションモードの設定方法や注意事項については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

■ アプリケーションソフトウェアが DOS/V パソコン（ESC/P）用のプリンタにしか対応していない場合

ESC/P のプリンタを選択して、ESC/P エミュレーションモードで使用します。

メモ　ESC/P エミュレーションモードの設定方法や注意事項については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

5
CHAPTER

付属のユーティリティソフトウェアをインストールする方法について説明しています。

NetSpot Job Monitor をインストールする

NetSpot Job Monitor をインストールして、プリンタの管理を行う方法を説明します。

必要なシステム環境

NetSpot Job Monitor を利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ NetSpot Job Monitor

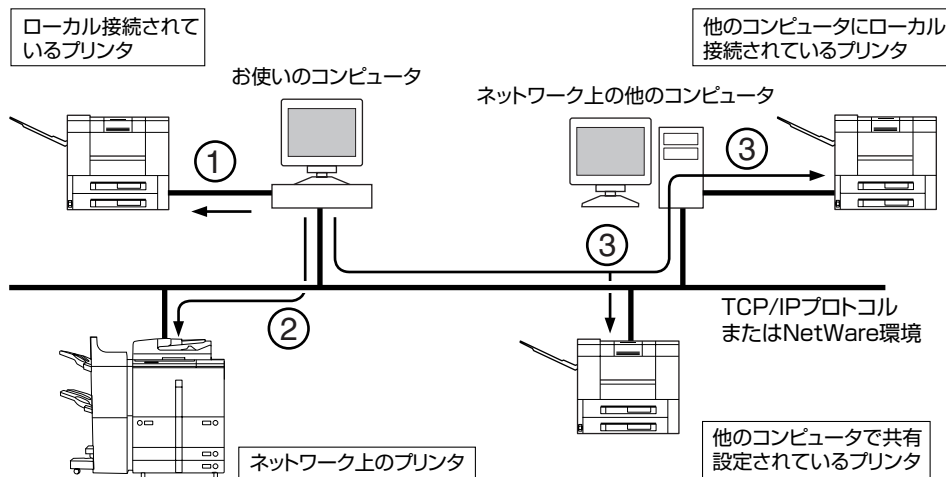
NetSpot Job Monitor は、以下のシステム環境でご利用になれます。

- OS
  - ･Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
  - ･Microsoft Windows NT/Workstation 4.0 日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000/Professional 日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- コンピュータ
  - ･intel486/Pentium 系 CPU で上記 OS が動作するコンピュータ
- メモリ
  - ･16MB 以上
- ハードディスク
  - ･10MB 以上（インストール時）、10MB 以上（動作時）
- 画面
  - ･640 x 480 ドット、256 色

重要

- Windows NT 4.0 には、Service Pack 6 以降をインストールしてください。
- NetSpot Job Monitor を使用するには、コンピュータとプリンタで双方向通信が行える必要があります。双方向通信が可能なプリンタケーブルで接続して、プリンタとプリンタドライバともに双方向機能を使用する設定にしてください（初期状態では、双方向機能を使用するように設定されています）。

印刷状況を確認できるプリンタの種類

NetSpot Job Monitor は、プリンタの現在の状態や印刷状況を確認するためのユーティリティソフトウェアです。デバイスボードまたはステータスモニタを使って、プリンタの状態確認、印刷ジョブの停止や削除などが行えます。
NetSpot Job Monitor は、以下のような接続形態のプリンタの印刷状況を確認することができます。

■ **ローカル接続されているプリンタ（上図 ①）**

コンピュータのパラレルインタフェースにセントロニクスケーブルで接続されたプリンタや USB 接続されたプリンタの印刷状況が、確認できます。ただし、シリアルポートに接続されているローカルプリンタの印刷状況は、確認できません。

■ **お使いのコンピュータから TCP/IP プロトコルまたは NetWare 環境で接続されているプリンタ（上図 ②）**

TCP/IP プロトコルの場合は、ネットワークボードが対応している LPR ソフトウェアを使用して、プリンタの印刷状況が確認できます。

NetWare 環境の場合は、NetWare のプリントキューを使用して、プリンタの印刷状況が確認できます（プリントサーバモード、リモートプリンタモードのどちらにも対応しています）。

■ **共有設定されているプリンタ（上図 ③）**

上記、「ローカル接続されているプリンタ」、または「お使いのコンピュータから TCP/IP プロトコルまたは NetWare® 環境で接続されているプリンタ」を共有設定している場合は、その共有プリンタに印刷できるコンピュータからも、共有プリンタの印刷状況が確認できます。

この場合は、共有設定しているコンピュータに、NetSpot Job Monitor（共有設定しているコンピュータが Windows NT 4.0/2000/XP の場合は、NetSpot Job Monitor 管理者モード）がインストールされている必要があります。

NetSpot Job Monitor のインストール

NetSpot Job Monitor のインストール手順を説明しています。

メモ

- Windows NT 4.0/2000/XP 用の NetSpot Job Monitor には、管理者用の NetSpot Job Monitor と一般ユーザ用の NetSpot Job Monitor があります。どちらの NetSpot Job Monitor をインストールするかにより、インストール方法が異なります。

NetSpot Job Monitor の種類	インストールに必要な権限	印刷状況を確認できるプリンタの種類
管理者用	Windows NT 4.0/2000/XP の Administrators	NetSpot Job Monitor が対応する全プリンタ（下記参照）
一般ユーザ用	特に必要ありません	共有設定されているプリンタのみ

- 管理者用の NetSpot Job Monitor では、以下のプリンタの印刷状況を確認できます。
  - ･ローカル接続されているプリンタ
  - ･お使いのコンピュータから TCP/IP プロトコルまたは NetWare 環境で接続されているプリンタ
  - ･共有設定されているプリンタ
- 一般ユーザ用の NetSpot Job Monitor では、共有設定されているプリンタ（→印刷状況を確認できるプリンタの種類：P.5-3）の印刷状況のみ確認できますので、他の Windows NT 4.0/2000/XP をサーバとして使用している場合などにお使いください。そのとき、サーバとして使用している Windows NT 4.0/2000/XP には、管理者用の NetSpot Job Monitor をインストールしてください。

1 コンピュータを起動します。

重要

- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

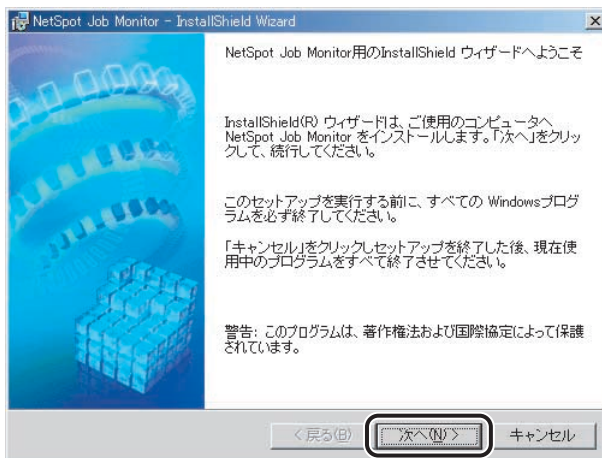
CD-ROM メニューが自動的に表示されます。

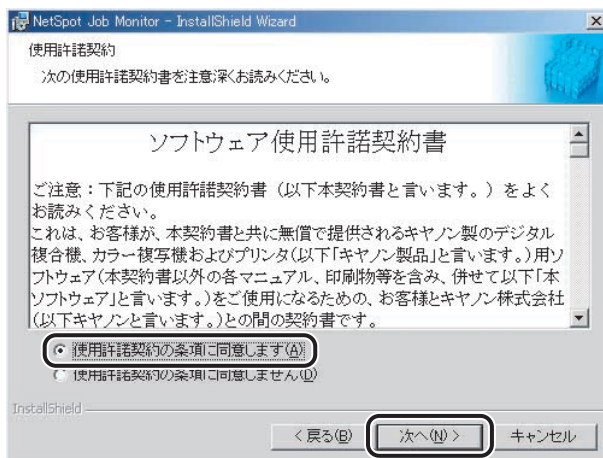
メモ

CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 CD-ROM メニューの [NetSpot Job Monitor インストール] をクリックします。

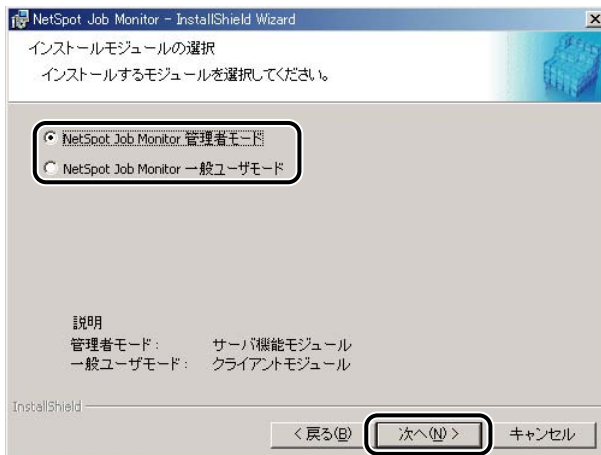
ウィザードが表示されます。

4 [次へ] をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

5 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

メモ　お使いの環境によっては、インストーラの起動時にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

6 インストール先を確認したあと、［次へ］をクリックします。

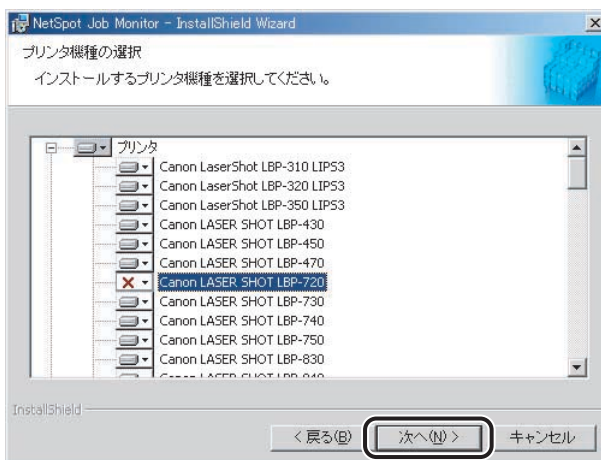
［参照］をクリックして、インストール先のディレクトリを任意に指定することもできます。

7 Windows NT 4.0/2000/XP で Administrators の権限がある場合は、[NetSpot Job Monitor 管理者モード] または [NetSpot Job Monitor 一般ユーザモード] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

モジュールの種類

- 管理者モード：
  プリンタ管理などのサーバ機能モジュールをインストールします。
- 一般ユーザモード：
  プリンタの状態表示などのクライアントモジュールをインストールします。

メモ　Windows 95/98/Me の場合や、Windows NT 4.0/2000/XP で一般ユーザ用のインストールを行った場合は、上図の画面は表示されません。次の手順に進んでください。

8 [次へ] をクリックします。

5 プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

標準では、すべての機種がインストールされます。インストールが不要な機種がある場合は、機種名を選択したあと、［この機種を使用できないようにします。］を選択します。

9 設定内容を確認したあと、［開始］をクリックします。

NetSpot Job Monitor のインストールが開始されます。

インストールが終了すると、［インストールの完了］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　設定を変更したい場合は、［戻る］をクリックして、再度設定しなおしてください。

10 ［終了］をクリックします。

以上でインストールの作業が終了しました。

5 プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

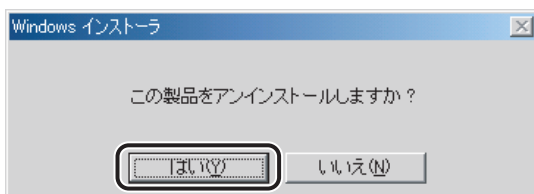
NetSpot Job Monitor のアンインストール

NetSpot Job Monitor が不要になった場合は、以下の手順でアンインストールします。

1 **すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。**

2 **[スタート] メニューから、[プログラム] − [NetSpot Job Monitor] − [NetSpot Job Monitor のアンインストール] を選択します。**

メッセージが表示されます。

3 **[はい] をクリックして、アンインストーラを起動します。**

4 **画面の指示に従ってアンインストールします。**

その他の補足説明

補足事項について説明しています。

■ OS 共通項目について

- NetSpot Job Monitor についての詳細は、ヘルプファイルを参照してください。
- 「お使いのコンピュータからTCP/IPプロトコルまたはNetWare環境で接続されているプリンタ」をお使いの場合は、プリンタにプリントサーバ（ネットワークボード）が装備されている必要があります。

■ Windows 95/98/Me をお使いの場合

- NetWare 環境で、クライアントソフトウェア（プロトコルスタック）に Windows 95/98/Me 付属の NetWare ネットワーククライアントをお使いの場合は、「Canon Port Setting Tool」（→ P.7-6）を使ってプリンタのネットワークアドレスの設定を行ってください。
- TCP/IP プロトコルを使用して接続されているプリンタを使用する場合、お使いの LPR ソフトウェアによっては、NetSpot Job Monitor で印刷状況を確認できないことがあります。

■ Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合

- NetWare 環境で、クライアントソフトウェア（プロトコルスタック）に IntranetWare Client をお使いの場合は、以下の制限があります。
  - · 他の Windows NT 4.0 コンピュータで共有設定されているプリンタの状態を調べることはできません。（Windows 95/98/Me で共有設定されているプリンタの状態は、調べられます。）
- NetWare 環境で、クライアントソフトウェア（プロトコルスタック）に Windows NT 4.0/2000/XP に付属の NetWare クライアントをお使いの場合は、以下のような制限があります。
  - · Administrators の権限がないときは、他のコンピュータで共有設定されているプリンタの状態を調べることはできません。
  - · Administrators の権限があるときは、「Canon Port Setting Tool」（→ P.7-6）を使ってプリンタのネットワークアドレスの設定を行ってください。

使用方法

全デバイスの状態を一覧表示する（デバイスボード）

デバイスボードは、インストールしたデバイスの状態を一覧表示するためのソフトウェアです。印刷ジョブの一時停止、削除などが行えます。

デバイスボードを起動するには、Windows の［スタート］メニューから、［プログラム］-［NetSpot Job Monitor］-［NetSpot Job Monitor デバイスボード］を選択します。

メモ

- Canon Port Setting Tool を使って、NetSpot Job Monitor の、デバイス情報取得の更新間隔や機種チェック機能を設定するには、「Canon Port Setting Tool でポートを設定する」（→ P.7-6）を参照してください。
- デバイスボードの［オプション］-［デバイスボードの自動起動］をあらかじめ選択すると、コンピュータの起動時に自動的にデバイスボードが起動します。
- デバイスボードの詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、デバイスボードの［ヘルプ］-［ヘルプ］を選択すると表示されます。

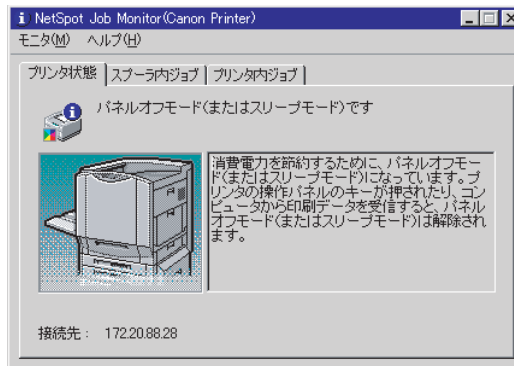
特定デバイスの詳細な状況を表示する（ステータスモニタ）

ステータスモニタは、特定のデバイスの詳細な状況を確認するためのユーテリティソフトウェアです。紙詰まりなどのエラーの表示や対処方法が表示されます。また、印刷ジョブの一時停止や削除、保存ジョブの印刷なども行えます。

ステータスモニタを起動するには、デバイスボードで確認するデバイスを選択したあと、[オプション] - [モニタの起動] を選択します。

メモ　ステータスモニタの詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、ステータスモニタの [ヘルプ] - [ヘルプ] を選択すると表示されます。

■ 各ページでの表示内容

各ページでの表示内容は、以下のとおりです。デバイスにより、表示されるページは異なります。

- [プリンタ状態] ページ
  デバイスの状態を示すアイコンやメッセージなどが表示されます。エラーの対処方法も表示されます。
- [スプーラ内ジョブ] ページ
  まだデバイスに送信されていないジョブ（コンピュータ内のジョブ）やデバイスに送信されたジョブについての情報が表示されます。コンピュータ内のジョブに対して、印刷処理の一時停止やジョブの削除も行えます。
- [プリンタ内ジョブ] ページ
  デバイス内にある送信されたジョブについての情報が表示されます。
- [保存ジョブ] ページ
  デバイスに保存されているジョブについての情報が表示されます。ここでは保存ジョブの印刷や削除、また部数や排紙先のジョブの属性変更も行うことができます。

NetSpot Device Installer を使用する

NetSpot Device Installerを使用してデバイスのネットワークプロトコルの初期設定を行う方法について説明しています。

必要なシステム環境

NetSpot Device Installer を利用するには、次のシステム環境が必要です。

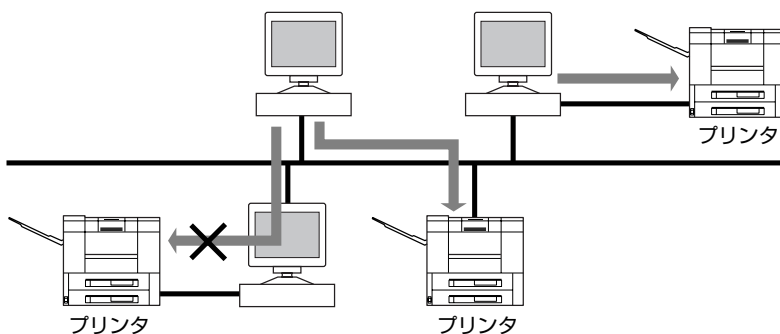
■ NetSpot Device Installer Windows 版を使用する場合

- OS
  - ･Microsoft Windows 98 日本語版+ Service Pack 1 以降
  - ･Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
  - ･Microsoft Windows Me 日本語版
  - ･Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0 日本語版+ Service Pack 4 以降
  - ･Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
  - ･Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- コンピュータ
  - ･上記 OS が動作するコンピュータ
- ハードディスク
  - ･15MB 以上の空き領域（本ソフトウェアをコンピュータにインストールして使用する場合）
- プロトコル
  - ･TCP/IP
  - ･IPX
- プロトコルスタック
  - ･Windows に付属の TCP/IP プロトコル（TCP/IP 版）
  - ･Novell Client for Windows（IPX 版）

■ NetSpot Device Installer Mac OS X 版を使用する場合

- OS
  - · Mac OS X 10.1.1 以降
- コンピュータ
  - · 上記 OS が動作する Macintosh
- ハードディスク
  - · 10MB 以上の空き領域（プログラムをハードディスクにコピーして使用する場合）
- プロトコル
  - · TCP/IP
- プロトコルスタック
  - · Mac OS X に付属の TCP/IP プロトコル

設定できるデバイスの種類

NetSpot Device Installer では、TCP/IP、または IPX のネットワークに接続されているデバイスのネットワークプロトコルの初期設定を行うことができます。それ以外の接続形態のデバイスは、NetSpot Device Installer では設定できません。

NetSpot Device Installer のインストール

NetSpot Device Installer は、次の手順でインストールします。お使いの OS により、インストール方法が異なります。

メモ
- NetSpot Device Installer は、インストールせずに使用できるユーティリティソフトウェアです。インストールせずに使用する場合は、「使用方法」（→ P.5-18）をお読みください。
- NetSpot Device Installer（TCP/IP 版）にプラグインを追加すると、機能を拡張することができます。プラグインの機能を使用する場合は、NetSpot Device Installer とプラグインの両方をコンピュータにインストールしてください。プラグインの詳細については、NetSpot Device Installer の Readme を参照してください。

Windows 上にインストールする

Windows 上にインストールする手順を説明しています。

重要
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニュー画面が自動的に表示されます。

メモ
CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM メニューの［NetSpot Device Installer］をクリックします。

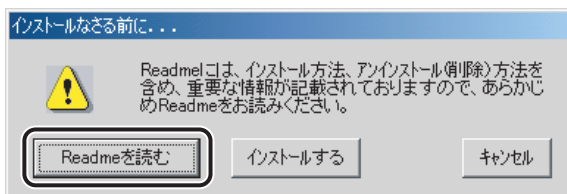
5

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

3 ［インストール］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 使用許諾契約書の内容を確認したあと、［同意します］をクリックします。

5 ［Readme を読む］をクリックします。

Readme には、重要な情報が記載されています。また、プラグインに関する情報も記載されています。インストールする前に Readme をお読みください。

6 ［インストールする］をクリックします。

インストールプログラムが起動します。

7 インストール先を指定します。

［スタートメニューに追加する］を選択すると、Windows の［スタート］メニューに NetSpot Device Installer を追加できます。

8 ［OK］をクリックします。

NetSpot Device Installer のインストールが始まります。NetSpot Device Installer のインストールが完了すると、プラグインのインストールプログラムが起動します。

9 **インストールしたいプラグインを選択し、[インストール開始] ボタンをクリックします。**

プラグインの詳細については、NetSpot Device Installerの Readmeを参照してください。

メモ　プラグインは、後でインストールすることもできます。後からプラグインをインストールする手順については、Readmeを参照してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

Mac OS X 上にインストールする

1 **すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。**

2 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

3 **CD-ROM アイコンをダブルクリックして、[NetSpot_Device_Installer] フォルダを開きます。**

4 **[MacOSX] フォルダの中の [NetSpot_Device_Installer.dmg] アイコンをダブルクリックします。**

画面上に [NetSpot Device Installer] アイコンが表示されます。

5 **[NetSpot Device Installer] アイコンをダブルクリックします。**

6 **手順 5 で表示されたウィンドウの中の [NetSpot Device Installer] アイコンを、インストールしたい場所にドラッグ& ドロップします。**

これで NetSpot Device Installer のインストールが完了しました。

7 **プラグインを追加する場合は、手順５で表示されたウィンドウの中の［plugin］フォルダを開きます。次に、インストールしたいプラグインのインストーラアイコンをダブルクリックします。**

インストーラはプラグインごとに分かれています。プラグインの詳細については、NetSpot Device Installer の Readme を参照してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

使用方法

ここでは、付属のCD-ROMからNetSpot Device Installerを起動する方法を説明しています。

メモ　NetSpot Device Installerをコンピュータにインストールした場合の起動方法は、以下のとおりです。
- Windowsの場合、インストール時に［スタート］メニューに追加したときは、［スタート］メニューから［プログラム］－［NetSpot Device Installer］－［NetSpot Device Installer］を選択します。［スタート］メニューに登録しなかった場合は、インストール先のフォルダにある［nsdi］アイコンをダブルクリックします。
- Macintoshの場合は、インストール先のフォルダにある［NetSpot Device Installer］アイコンをダブルクリックします。

Windows上で使用する

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

CD-ROMメニュー画面が自動的に表示されます。

メモ　CD-ROMメニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］のCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROMメニューの［NetSpot Device Installer］をクリックします。

5

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

3 TCP/IP ネットワークで初期設定する場合は[CD-ROM から起動(TCP/IP 版)]、IPX ネットワークで初期設定する場合は［CD-ROM から起動(IPX 版)］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 使用許諾契約書の内容を確認したあと、[同意します] をクリックします。

NetSpot Device Installer が起動します。

5 デバイスの初期設定を行います。

設定手順は、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプは、［ヘルプ］メニューの［ヘルプ］をクリックすると、表示されます。

Mac OS X 上で使用する

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2 CD-ROM アイコンをダブルクリックして、［NetSpot_Device_Installer］フォルダを開きます。

3 ［MacOSX］フォルダの中の［NetSpot_Device_Installer.dmg］アイコンをダブルクリックします。

画面上に［NetSpot Device Installer］アイコンが表示されます。

4 ［NetSpot Device Installer］アイコンをダブルクリックします。

5 手順４で表示されたウィンドウの中の［NetSpot Device Installer］アイコンをダブルクリックします。

NetSpot Device Installer が起動します。

6 デバイスの初期設定を行います。

設定手順は、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプは、［ヘルプ］メニューの［ヘルプ］をクリックすると、表示されます。

NetSpot Console を使用する

NetSpot Console を使用してデバイスの管理を行う方法について説明しています。

必要なシステム環境

NetSpot Console を利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ サーバ

- OS
  - · Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - · Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0 日本語版＋ Service Pack 6a 以降
  - · Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - · Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
  - · Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Web サーバ
  - · NetSpot Console 専用 Web サーバ（NetSpot Console のインストール時に自動的にインストールされます。）
- コンピュータ
  - · IBM PC およびその互換機、NEC PC-98 シリーズ
- ハードディスク
  - · 50MB 以上の空き領域（デバイスマップを作成する場合は、上記の空き領域に加えて、インストール先フォルダにデバイスマップの背景イメージを保存するための十分な空き領域が必要です。）
- プロトコル（Web サーバとデバイス間の通信に使用するプロトコル）
  - · TCP/IP
  - · NetWare（NetWare サーバとして、Novell NetWare 3.2J/4.2/5/5.1/6 のいずれかが必要です。）

- プロトコルスタック
  - ･TCP/IP
    Windows に付属の TCP/IP プロトコル
  - ･NetWare：Windows 98/Me の場合
    Novell Client for Windows 95/98/Me Ver 3.3 以降、または Windows 98/Me に付属の NetWare クライアント（Novell Client を推奨）
  - ･NetWare：NT/2000 の場合
    Novell Client for Windows NT/2000 Ver 4.71 以降、または Windows NT/2000 に付属の NetWare クライアント（Novell Client を推奨）
  - ･NetWare：Windows XP の場合
    Novell Client for Windows NT/2000/XP Ver 4.83 以降、または Windows XP Professional に付属の NetWare クライアント（Novell Client を推奨）
  - ･NetWare：Windows Server 2003 の場合
    Windows Server 2003 に付属の NetWare クライアント

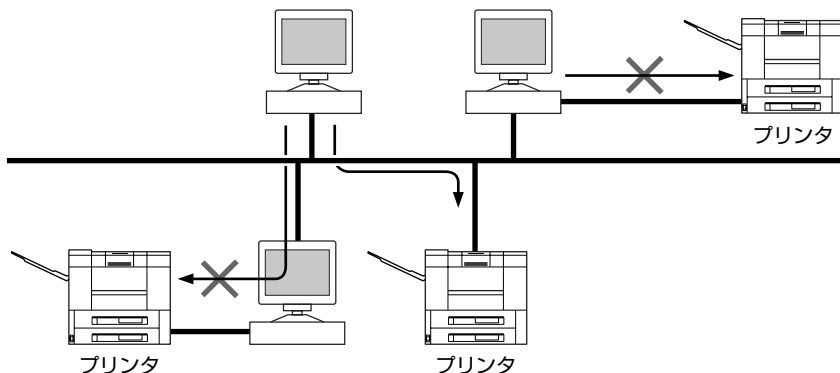
■ クライアント

- Web ブラウザ
  - ･Microsoft Internet Explorer 4.01 以降
  - ･Netscape Navigator 4.0 以降

- NetSpot Console の NetWare ログイン機能、デバイスマップ機能、Web ブラウザ通知機能を利用する場合は、クライアントコンピュータに Java ソフトウェアをインストールしてください。Netscape 6 では、これらの機能は使用できません。Netscape 7 でこれらの機能を使用する場合は、Netscape 7 をインストールするときに Java 2 のインストールを指定してください。
  Windows 上で Internet Explorer をお使いの場合は、以下の点にご注意ください。
  - ･Windows XP、Windows Server 2003 には、Java ソフトウェアは含まれていません。Java ソフトウェアを入手して、インストールしてください。
  - ･Microsoft VM（Microsoft Virtual Machine）の Build 3309 より古いバージョンがインストールされている環境では、デバイスマップを正しく表示できないことがあります。その場合は、最新の Java ソフトウェアを入手して、インストールしてください。
    （Microsoft VM の build 番号を確認するには、DOS のコマンドプロンプトで「jview」と入力してキーボードの［ENTER］キーを押します。最初の行に表示されているバージョン番号の最後の 4 桁の数字が、Microsoft VM の build 番号です。）
  - ･最新の Java ソフトウェアは、サン･マイクロシステムズの Web サイトからダウンロードできます。
- NetSpot Console を NetWare 環境で使用する場合は、プロトコルスタックとして Novell Client をお使いになることをおすすめします。Novell Client 以外の NetWare クライアントソフトウェアを使用する場合は以下のような制限があります。
  - ･NetSpot Console でプリントサーバ、ファイルサーバ、NDS ツリー、コンテキスト、ボリュームを設定するには、テキストボックスにそれぞれの名称を入力する必要があります。（Novell Client を使用すると、各項目をリストから選択することができます。）
  - ･NetWare のログイン／ログアウト機能、オブジェクト（プリントサーバ、プリンタ、キュー）の生成機能は使用できません。
  - ･SAP テーブルを使用した探索は行えません。

- Macintosh 版の Internet Explorer で NetSpot Console を使用する場合は、以下のような制限があります。
  - NetSpot Console がインストールされているコンピュータのプロトコルスタックが Novell Client であっても、NetWare のログイン／ログアウト機能、オブジェクト（プリントサーバ、プリンタ、キュー）の生成機能は使用できません。
  - NetWare 3.2J を使用している場合、プリントサーバ、ファイルサーバなどをリストから選択して設定することができません。これらを設定するには、テキストボックスにそれぞれの名称を入力する必要があります。
  - デバイスマップ機能は使用できません。

管理できるデバイスの種類

NetSpot Console では、ネットワークに接続されているデバイスの管理を行うことができます。それ以外の接続形態のデバイスは、NetSpot Console では管理できません。

NetSpot Console のインストール

NetSpot Console は、ネットワーク上の 1 台のコンピュータにインストールします。（各コンピュータにインストールする必要はありません。）

- Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

1 NetSpot Console をインストールするコンピュータに、Version 3.00 より古いバージョンの NetSpot Console がインストールされている場合は、古いバージョンの NetSpot Console を削除します。

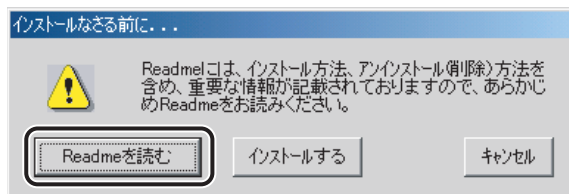
削除する手順は、Readme の「削除方法」を参照してください。Readme ファイルの表示方法は、「その他の補足情報」（→ P.5-26）を参照してください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニュー画面が自動的に表示されます。

メモ　CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 CD-ROM メニューの［NetSpot Console インストール］をクリックします。

4 ［Readme を読む］をクリックします。

Readme には、重要な情報が記載されています。インストールする前に Readme をお読みください。

5 ［インストールする］をクリックします。

インストールプログラムが起動します。

5

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

6 画面の指示に従ってインストールします。

インストールの途中で、NetSpot Console 専用 Web サーバの HTTP ポート番号を設定します。

メモ
- HTTP ポート番号は、他のアプリケーションソフトウェアと競合しない番号を設定してください。
- HTTP ポート番号は、インストール後に NetSpot Console、NetSpot Console Manager、またはコマンドラインで変更することができます。詳細は、Readme ファイルを参照してください。Readme ファイルの表示方法は、「その他の補足情報」（→ P.5-26）を参照してください。

7 NetWare環境でNovell Clientを使用する場合は、Novell Clientを設定します。

NetWare 環境で使用するときの Novell Client の設定手順は、Readme に記載されています。Readme ファイルの表示方法は、「その他の補足情報」（→ P.5-26）を参照してください。

NetSpot Console のアクセス方法

ネットワーク上のクライアントコンピュータから、NetSpot Console にアクセスする方法について説明しています。

1 Web ブラウザを起動します。

2 ［アドレス］または［場所］に、以下の URL を入力します。

http:// < NetSpot Console をインストールしたコンピュータ名または IP アドレス>
:<HTTP ポート番号 >/nsc/index.html

入力例： http://nsc_server:8080/nsc/index.html
http://172.20.88.123:8080/nsc/index.html

メモ
NetSpot Console をインストールしたコンピュータでは、［スタート］メニューに NetSpot Console へのインターネットショートカットが追加されます。［スタート］メニューの［プログラム］－［NetSpot Console］－［NetSpot Console］を選択すると、NetSpot Console にアクセスできます。

使用方法

NetSpot Consoleの詳しい使用方法は、オンラインマニュアルとヘルプを参照してください。

■ **オンラインマニュアル**

NetSpot Console で行うことができるさまざまな機能の概要と操作手順について説明しています。NetSpot Console をお使いになるときに最初にお読みください。

NetSpot Console の画面の左側に表示される［マニュアル］をクリックすると、オンラインマニュアルの目次が表示されます。

■ **ヘルプ**

現在表示されている画面の説明が表示されます。表示されている画面でわからない項目があるときにお読みください。

NetSpot Console 画面の右上に表示される ? (ヘルプ）をクリックすると、画面に応じたヘルプが表示されます。

その他の補足情報

NetSpot Console のアンインストール方法や、補足情報については、Readme に記載されています。Readme ファイルの表示方法は次のとおりです。

1 **NetSpot Console をインストールしたコンピュータで、［スタート］メニューから、［プログラム］－［NetSpot Console］－［お読みください］を選択します。**

Readme が表示されます。

FontGalleryをインストールする

FontGalleryには、TrueTypeフォントとして和文20書体、欧文100書体が収められています。また、Windowsをお使いの場合は、かな31書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。Macintoshをお使いの場合は、あらかじめ和文書体とかな書体を組み合わせた43書体が収められています。
FontGalleryおよびFontComposerのインストール手順について説明しています。ご使用になる前に、「FontGallery製品使用許諾契約書」（→P.5-28）を必ずお読みください。

必要なシステム環境

FontGalleryおよびFontComposerを使用するには、次のシステム環境が必要です。

重要
- かな書体およびFontComposerは、Windowsをお使いの場合にご利用いただけます。Macintoshをお使いの場合は、ご利用いただけません。
- FontGalleryは、1台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途FontGalleryライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。

メモ
FontGalleryのユーザ登録を、キヤノン販売(株)のホームページで行うことができます。登録いただいたお客様には、今後のFontGalleryに関する新製品情報やキャンペーンのご案内などをお知らせいたします。
ホームページアドレス　http://www.canon-sales.co.jp/Product/appli/appli.html

■ Windows版を使用する場合

- OS
  - ･Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
  - ･Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0 日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- コンピュータ
  - ･上記OSが動作するコンピュータ

■ Macintosh版を使用する場合

- OS
  - ･Mac OS 7.6/8/8.1/8.5/8.51/8.6/9/9.2.1/9.2.2/X（10.1.5/10.2/10.2.1/10.2.2/10.2.3/10.2.4/10.2.5/10.2.6/10.2.7/10.2.8）、漢字Talk7.1/7.5
- コンピュータ
  - ･上記のMacOSが動作するコンピュータ

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書とBITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

（1）お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

（2）お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

（3）お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置1台のみに1コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

（1）キヤノンおよびキヤノン販売株式会社（以下、キヤノン販売といいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。

（2）キヤノンおよびキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

（1） 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

（2） お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させせることができます。

（3） キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させせることができます。

（4） 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノン販売に請求できません。

（5） お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

（1） 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。

（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。
2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。

3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書、Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

以上

キヤノン 株式会社

Windows 上にインストールする

メモ

- 取扱説明書を CD-ROM に収録しています。詳しくは、次のファイルに記載されていますので参照してください。
  - ・FontGallery 取扱説明書：　¥Fgallery¥Manual¥Font¥Fgmanual.wri（ライト形式）
  - ・FontComposer 取扱説明書：¥Fgallery¥Manual¥Composer¥Fcmanual.wri（ライト形式）
- フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1 書体につき 10 秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。
- 欧文書体は、英語版 LIPS プリンタドライバでもご利用いただけます。

FontGallery のインストール

Windows 版 FontGallery を、以下の手順に従ってインストールしてください。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニューが自動的に表示されます。

重要
- Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

メモ
CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

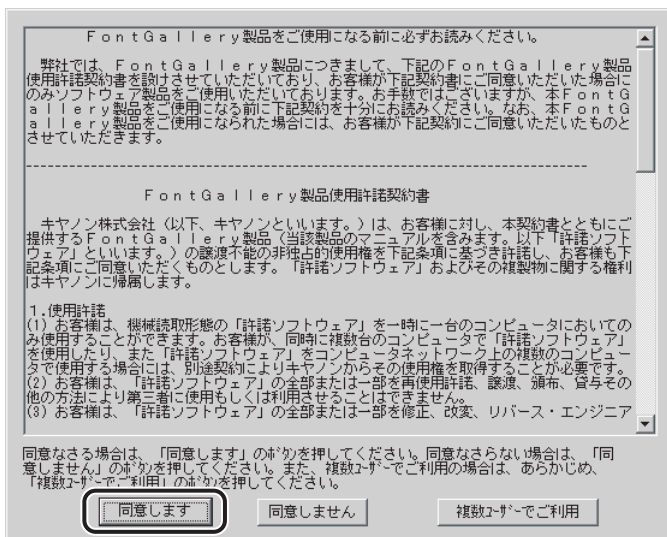
2 CD-ROM メニューの［FontGallery/FontComposer］をクリックします。

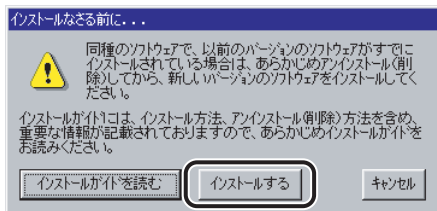
5

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

3 [FontGallery インストール]をクリックします。

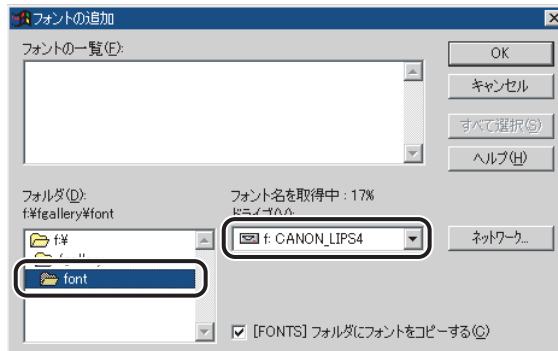
使用許諾契約書が画面に表示されます。

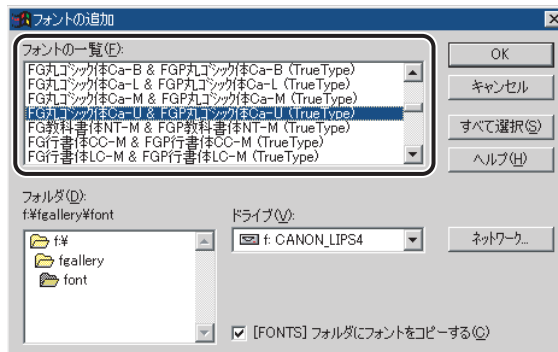
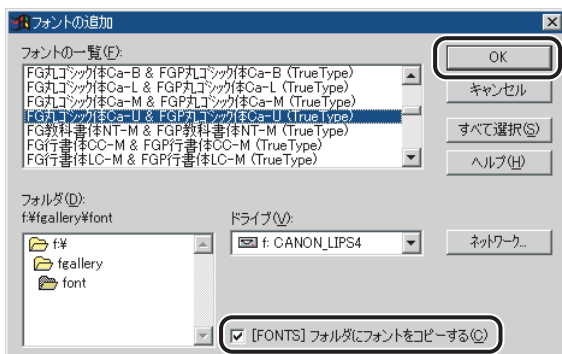
4 内容を確認したあと、[同意します]をクリックします。

メッセージが表示されます。

5 [インストールする]をクリックします。

［フォント］フォルダが自動的に開きます。

6 ［ファイル］メニューから、［新しいフォントのインストール］を選びます。

［フォントの追加］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［ドライブ］から CD-ROM を選び、［フォルダ］の一覧から、［fgallery］フォルダにある［font］フォルダを選択してダブルクリックします。

選んだフォルダにあるフォントが、［フォントの一覧］に表示されます。

8 ［フォントの一覧］から、追加したいフォントを選びます。

9 ［[FONTS] フォルダにフォントをコピーする］にチェックマークが付いているのを確認したあと、［OK］をクリックします。

［font］フォルダにフォントが追加されます。

メモ　お使いの OS によっては、［フォントフォルダにフォントをコピーする］と表示されます。

FontComposer、かな書体をインストールする

Windows 版 FontComposer を、以下の手順に従ってインストールしてください。かな書体は、Windows 版 FontComposer をインストールすることによって、同時にイントールされます。

重要　FontComposer を使用するには、約 10 〜 20MB のハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニューが自動的に表示されます。

重要
- Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

メモ　CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM メニューの［FontGallery/FontComposer］をクリックします。

3［FontComposer インストール］をクリックします。

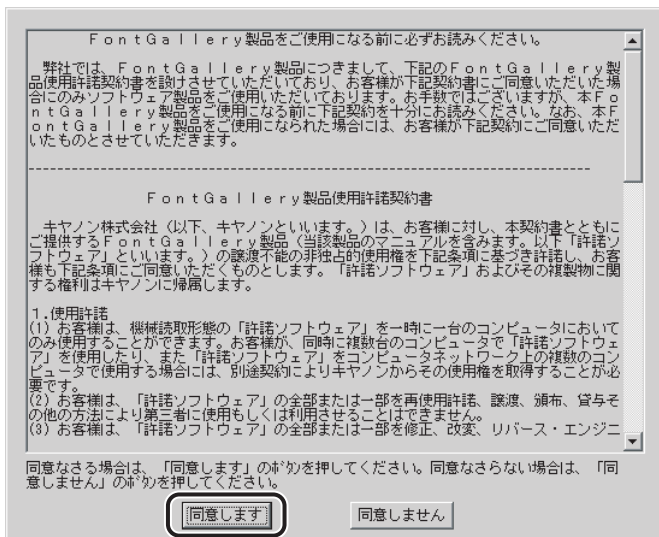
使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認したあと、［同意します］をクリックます。

メッセージが表示されます。

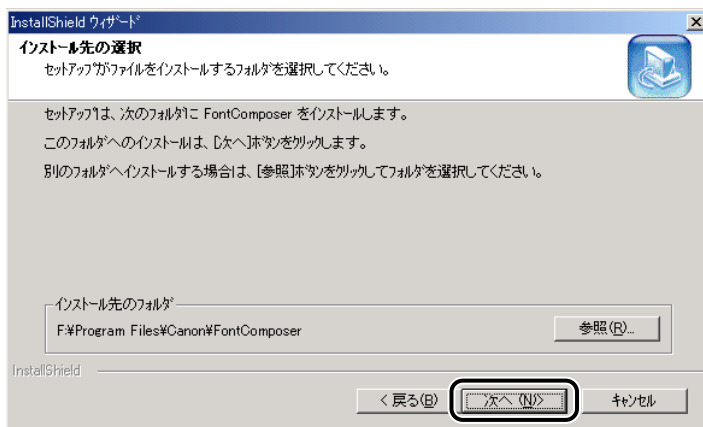
5 ［インストールする］をクリックします。

インストールプログラムが起動します。

5

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

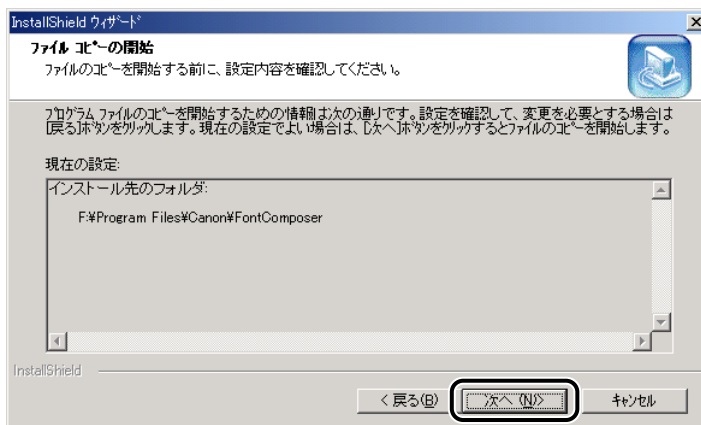
6 ［次へ］をクリックします。

［インストール先の選択］ダイアログボックスが表示されます。

7 インストール先を確認して［次へ］をクリックします。

［ファイルコピーの開始］ダイアログボックスが表示されます。

メモ

インストール先を指定する場合は、［参照］をクリックして、インストール先のフォルダを選択します。

8 設定内容を確認して、[次へ] をクリックします。

インストールが開始されます。
インストールが終了すると、インストール完了のメッセージが表示され、自動的に閉じます。

以上でインストールの作業が終了しました。

Macintosh 上にインストールする

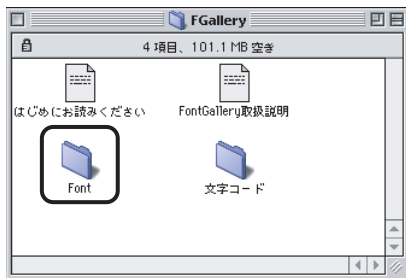
Macintosh 版 FontGallery を、以下の手順に従ってインストールしてください。

- 取扱説明書を CD-ROM にファイルとして収録しています。詳しくは、次のファイルに記載されていますので参照してください。
  - FontGallery 取扱説明書:Fgallery フォルダ内の「Fgallery 取扱説明書」ファイル(シンプルテキスト形式)
- お使いのシステムが漢字Talk7リリース7.1の場合、和文フォントをインストールする際、システムフォルダに「Asian Font Arbitrator」もインストールしてください。ただし、すでにシステムフォルダに「Asian Font Arbitrator」がインストールされている場合は、「Asian Font Arbitrator」を重ねてインストールしないでください。インストールすると、フォント情報に悪影響を及ぼす可能性があります。お使いのシステムが漢字 Talk7.5 以降の場合は、「Asian Font Arbitrator」は必要ありませんので、インストールしないでください。詳しくは、CD-ROM に付属の取扱説明書を参照してください。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

重要　インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

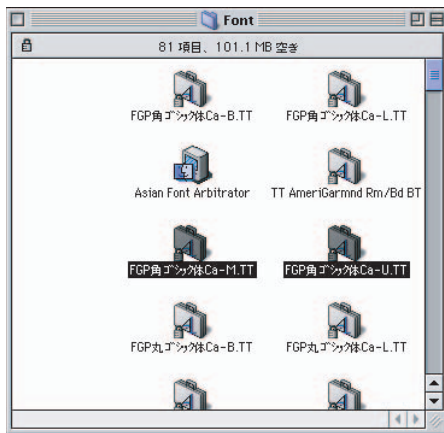
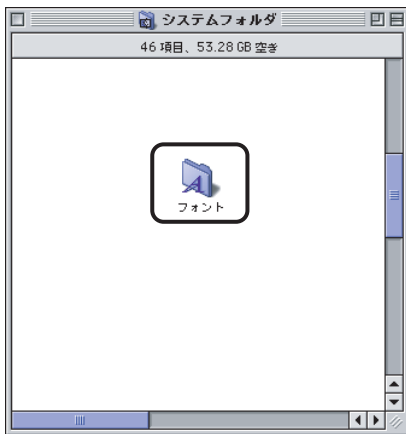
2 デスクトップ上の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックします。

3 [FGallery] フォルダをダブルクリックしたあと、[Font] フォルダをダブルクリックします。

[Font] ウィンドウが表示されます。

上図は Mac OS 9 の画面です。

4 インストールするフォントを選択します。

5

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

5 選択したフォントを［システムフォルダ］－［フォント］フォルダ（Mac OS X の場合、お使いのハードディスクの［ホーム］－［ライブラリ］（[Library]）－［Fonts]）にドラッグ＆ドロップして、コピーします。

以上でインストール作業は終了しました。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をご利用いただけます。

■ **和文書体**

和文書体の見本を以下に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ かな書体

かな書体の見本を以下に示します。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

*Windows NT 4.0 では、2、4 ページ印刷のみ可能です。

■ 和文書体とかな書体の組み合わせ

和文書体とかな書体の組み合わせ見本を以下に示します。

平成明朝体　Ｗ３＋からたちＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋こでまりＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋さんざしＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋てっせんＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋からたちＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋こでまりＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋さんざしＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋からたちＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋こでまりＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋さんざしＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋てっせんＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋からたちＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋こでまりＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋さんざしＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋てっせんＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
丸ゴ　Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１	夢のある多彩なフォント
楷書体　ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
行書体　ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名	夢のある多彩なフォント

メモ

- Windowsをお使いの場合は、FontComposerを使用して組み合わせ書体を自由に作成できます。
- Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ上記の組み合わせ書体が収録されています。

■ 欧文書体

欧文書体の見本を以下に示します。

American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Bold	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Bold	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Light	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Bold	ABCDEF abcdef 12345
* Cataneo Light Swash	ABCDEF a_bcde-f 12345
* Cataneo Regular Swash	ABCDEF a_bcde-f 12345
* Cataneo Bold Swash	ABCDEF a_bcde-f 12345
Cooper Black	ABCDEF abcdef 12345
Cooper Black Italic	ABCDEF abcdef 12345
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Bold	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Black	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	±°′″∅+ ©®©®™™ ●●▪■■
Commercial Script Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Bold	ABCDEF abcdef 12345

*「Cataneo Swash」には、一部文字が収容されておりません。これは、「Cataneo」と組み合わせて使用される書体のためです。

Dutch 801 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Poster Bodoni Italic	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Regular	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Black	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Bold	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Black	ABCDEF abcdef 12345

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 555	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ αβχδεφ 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	ABCDEF abcdef 12345

6

CHAPTER

困ったときには

プリンタの使用中に生じたトラブルへの対処方法について説明しています。

Windows でのトラブルの対処法

トラブルを解決する方法について説明しています。

プリンタから意味不明の文字が印刷される

原　因　プリンタドライバが正しくインストールされていない。

処　置　以下の手順で、プリンタドライバを正しくインストールしてください。
［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタとFAX］フォルダ）に、お使いのプリンタ名のアイコンが表示されているか確認します。

メモ

- プリンタ名のアイコンが表示されているとき：
プリンタ名のアイコンをダブルクリックして、［プリンタ］メニューの［通常使うプリンタに設定］を選択します。
- プリンタ名のアイコンが表示されていないとき：
プリンタドライバをインストールします。（➞プリンタドライバをインストールする：P.2-5）

印刷結果の端がかけてしまう

原　因　アプリケーションソフトウェアの余白の設定が、本プリンタの印刷できる範囲を超えている。

処　置　アプリケーションソフトウェアの余白の設定が、本プリンタの印刷できる範囲に入っているか確認してください。
本プリンタは、上下左右ともに周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には、印刷できません。

メモ

封筒に印刷する場合、郵便番号などが周囲 10mm の範囲にあることがあります。そのときは、プリンタドライバの［とじしろ］を設定して、印刷範囲全体を、郵便番号などを印刷したい方向にずらして印刷してください（ただし、周囲 10mm の範囲の印刷品位は保証されません）。

オーバレイ印刷時に、出力結果が「Canon LIPS3 プリンタドライバ」と異なる

原　因　「Canon LIPS3 プリンタドライバ」で作成したフォームファイルを本プリンタドライバで印刷すると、印刷結果が異なることがあります。

処　置　プリンタドライバの［オーバレイ］ページで、［オーバレイの種類］から［互換オーバレイ］を選択してください。

オーバレイ印刷時に、以前作成したフォームファイルが利用できない

原因 1 オーバレイ印字の設定が正しくされていない。

処　置 オーバレイシートの［オーバレイ印字］が選択されていることを確認してください。

原因 2 LIPS III、LIPS IV プリンタドライバ以外で作成したフォームファイルを使用している。

処　置 「BJC-880J 用プリンタドライバ」、「BJC-680J 用プリンタドライバ」、「LBP-A405Jr. 用拡張フォトグラフィックドライバ」で作成したフォームファイルは、本プリンタから印刷できません。本プリンタドライバで作成したフォームファイルを使用してください。

オーバレイ印刷時にフォームファイルがずれて印刷される

原　因 LBP-2030 用に作成したフォームファイルを使用して印刷している。

処　置 LBP-2030 用に作成したフォームファイルを使用して印刷すると、アプリケーションソフトウェアによっては、ずれて印刷されることがあります。本プリンタ用のプリンタドライバで、フォームファイルを作成してください。

カラーイメージデータの印刷に時間がかかる

原因 1 プリンタドライバの［ホスト展開］が設定されている。

処　置 プリンタドライバの［印刷品質］ページの［印刷品質］で、［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックします。［ユーザ設定］ダイアログボックスの［ホスト展開］で、［しない］を選択します。

原因 2 印刷データが複雑で処理に時間がかかる。

処　置 イメージモードで印刷してください。プリンタドライバの［印刷品質］ページの［印刷品質］で、［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックします。［ユーザ設定］ダイアログボックスの［グラフィックモード］で、［イメージモード］を選択します。さらに、［モード詳細］から［高速］を選択します。

スーパーファインモード／ファインモードで正常に印刷できない

原因 1 アプリケーションソフトウェアによっては、ファインモード、スーパーファインモードで正常に印刷できないことがあります。

処　置 ファインモードはクイックモードで、スーパーファインモードはファインモードで印刷してください。

原因 2 ファインモード／スーパーファインモードで印刷したとき、原稿とプリンタドライバの設定によっては、正常に印刷できないことがあります。

処　置 ファインモードはクイックモードで、スーパーファインモードはファインモードで印刷してください。

印刷に時間がかかる／メモリフルと表示される

原　因 Microsoft 製のプリンタドライバがインストールされている。

処　置 「プリンタドライバをインストールする」（→ P.2-5）にしたがってキヤノン製のプリンタドライバをインストールしなおしてください。

7

CHAPTER

付録

知っておいていただきたい情報や、参考となる情報について説明しています。

USB クラスドライバをインストールできない場合は

USB クラスドライバのインストールが正常にできない場合について説明しています。

Windows 98/Me の場合

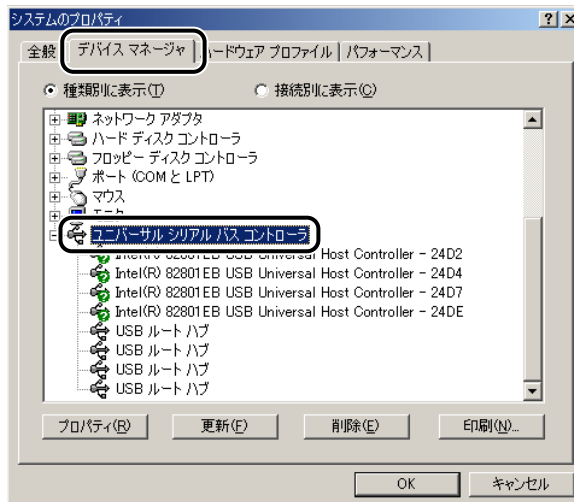
1 パソコンとプリンタが USB ケーブルで正しく接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認します。

2 [スタート] メニューから [設定] − [コントロールパネル] を選択して、[システム] アイコンをダブルクリックします。

[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

3 [デバイスマネージャ] タブをクリックしたあと、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ] をダブルクリックします。

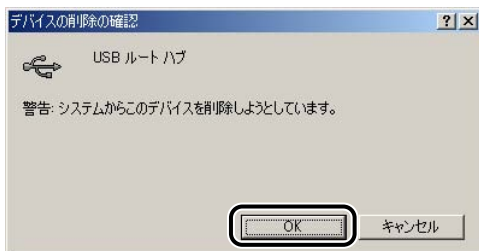
7

付録

4 ［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下に表示されているUSBクラスドライバを削除します。

❏ ［Canon LIPS USB Printer］、またはお使いのプリンタ名を選択したあと、［削除］をクリックします。

注意 USB クラスドライバ以外の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合は、Windows が正常に動作しなくなることがあります。

重要 USB クラスドライバの項目が［その他のデバイス］の下に表示されている場合も、正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、USB クラスドライバの項目を選択したあと、削除してください。

5 ［デバイス削除の確認］ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。

6 ［閉じる］をクリックします。

7 ［コントロールパネル］を閉じます。

8 USB ケーブルをパソコンから外したあと、Windows を再起動します。

9 「プリンタドライバをアンインストールする」（→ P.2-74）を参照してドライバをアンインストールしたあと、「USB　環境をお使いの場合（Windows 98/Me の場合）」（→ P.2-15）を参照して USB クラスドライバをインストールします。

重要 ドライバのインストールを正常に終了できなかった場合は、ドライバをインストールしなおす前に、必ずドライバをアンインストールしてください。

7 付録

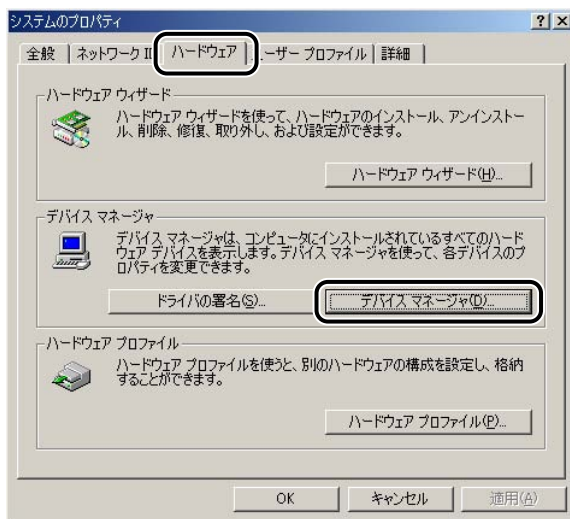
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

1 パソコンとプリンタが USB ケーブルで正しく接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認します。

2 [スタート] メニューから [設定] － [コントロールパネル]（Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] ）を選択して、[システム] アイコン（Windows XP/Server 2003 の場合は、[パフォーマンスとメンテナンス] を選択したあと [システム] アイコン）をダブルクリックします。

[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

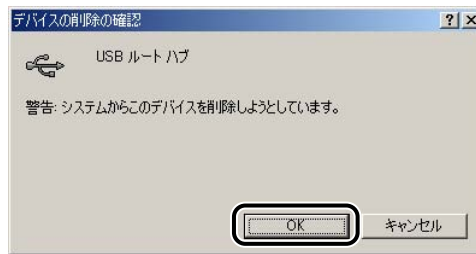
メモ　Windows 2000 Professional の場合は、[設定] － [コントロールパネル] － [システム] を選択してください。Windows 2000 Server の場合は、[設定] － [コントロールパネル] を選択して、[システム] アイコンをダブルクリックします。

3 [ハードウェア] タブをクリックしたあと、[デバイスマネージャ] をクリックします。

4 [USB（Universal Serial Bus）コントローラ］の下に表示されているUSB クラスドライバを削除します。

❏ [Canon LIPS USB Printer］、またはお使いのプリンタ名を選択したあと、[削除］をクリックします。

注意 USB クラスドライバ以外の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合は、Windows が正常に動作しなくなることがあります。

重要 USB クラスドライバの項目が［その他のデバイス］の下に表示されている場合も、正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、USB クラスドライバの項目を選択したあと、削除してください。

5 [デバイス削除の確認］ダイアログボックスが表示されたら、[OK］をクリックします。

6 [閉じる］をクリックします。

7 [コントロールパネル］を閉じます。

8 USB ケーブルをパソコンから外したあと、Windows を再起動します。

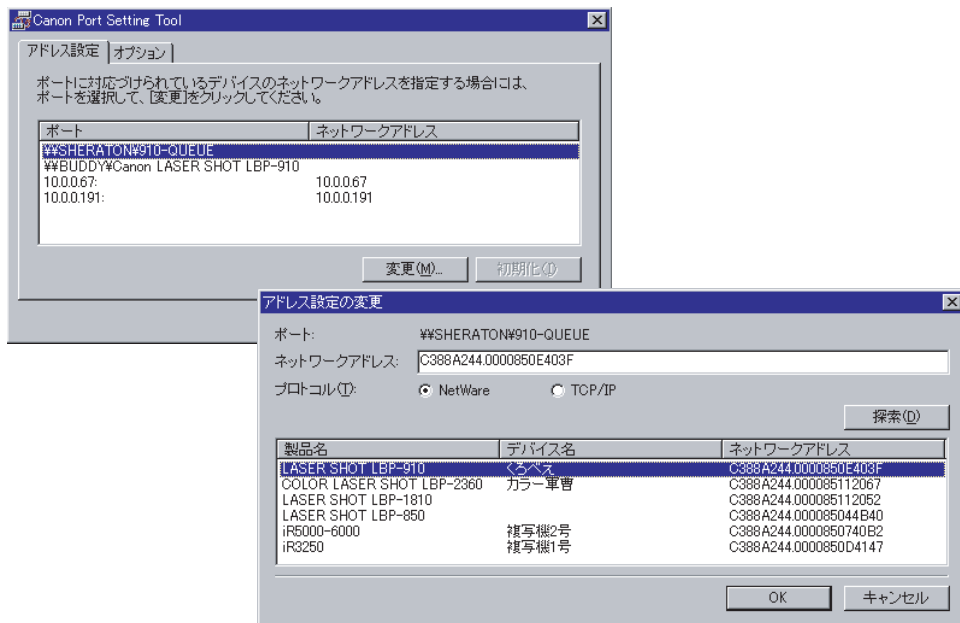
9 「プリンタドライバをアンインストールする」(→ P.2-74) を参照してドライバをアンインストールしたあと、「USB　環境をお使いの場合（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合)」(→ P.2-45）を参照して USB クラスドライバをインストールします。

重要 ドライバのインストールを正常に終了できなかった場合は、ドライバをインストールしなおす前に、必ずドライバをアンインストールしてください。

Canon Port Setting Tool でポートを設定する

Canon Port Setting Tool は、コンピュータにインストールされているデバイスと、デバイスのネットワークアドレスの対応付けを行うことができます。ドライバのデバイス情報取得が正しく動作していないときや、NetSpot Job Monitor のデバイスボードやステータスモニタが正しく動作していないときなどにお使いください。

NetSpot Job Monitor をインストールしている場合は、NetSpot Job Monitor の、デバイス情報取得の更新間隔や機種チェック機能の設定なども行うことができます。

Canon Port Setting Tool を起動するには、お使いのドライブ内の［Program Files ¥Canon¥Portset］フォルダにある［Portset.exe］をダブルクリックします。

重要 本ソフトウェアは、Macintosh 環境では使用できません。

メモ
- 本ソフトウェアは、インストーラ使用時にドライバと同時にインストールされます。
- Canon Port Setting Tool の詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、Canon Port Setting Tool を起動して[ヘルプ]をクリックすると表示されます。

7
付録

索引

英数字

7
付録

あ

か

さ

た

な

は

ら

わ

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

■ **CD-ROM の代引き配送サービス**

プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

ナビダイヤル **0570-01-9000**（商品該当番号：42）

※全国64か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従って、商品該当番号<42>または「エルビーピー」とお話しください。
[受付時間]　<平日> 9:00〜20:00
<土日祝日>10:00〜17:00 (1/1〜3は休ませていただきます)
※PHSまたは海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合は案内窓口にお繋ぎいたします。
※音声応答システム･受付時間･該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■アクセスポイント
札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・水戸・つくば・さいたま・千葉・東京・立川・横浜・厚木・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・甲府・沼津・静岡・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・金沢・富山・和歌山・福井・京都・大津・大阪・神戸・姫路・岡山・広島・福山・山口・鳥取・松江・高松・徳島・高知・松山・北九州・福岡・久留米・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

FA7-5357　(000)